第6353号　本文

官報

省令

◉農林省令第二十七号

鮮魚介配給規則の一部を次のように改正する。

昭和二十三年三月二十二日　農林大臣　永江　一夫

第七條第二項中「乙級陸揚地」の次に「（農林大臣が特に指示した場合には甲級陸揚地を含む。）」を加える。

第四章を第五章に改める。

第二十二條の次に左の一章を加える。

第四章　沖買

第二十二條の二　農林大臣は、大都市その他の主要な消費地域で消費される主な鮮魚介の種類であつて、当該地域に対して計画的に供給を確保することを必要とするものについて、漁獲時期、漁獲地域その他必要な事項を定めて鮮魚介の種類を指定することがある。

第二十二條の三　前條により農林大臣が指定した種類の鮮魚介（以下指定鮮魚介という。）であつて未だ陸揚地に搬入されないものを業として買い受け又は販賣の委託を受けて、これを販賣し又は販賣の委託をするものは、鮮魚運搬業者として農林大臣により登録を受けたものでなければならない。

前項の登録を受けることができるものは、第四項により農林大臣が指示する最低買付運搬数量を完遂するに必要な能力及び設備を有するものでなければならない。

第一項の登録を受けようとするものは、氏名（團体にあつては團体名及び代表者名を記載し、定款その他之に準ずる書類を添附すること）、住所、船名、魚種別買付運搬計画その他農林大臣が必要と認めた事項を記載した鮮魚運搬業者登録申請書を農林大臣に提出しなければならない。

農林大臣は、登録に際して、買付運搬の最低責任数量その他指定鮮魚介の買付及び運搬に関し必要な事項を指示することがある。

二以上の鮮魚運搬船について第一項の業務を営もうとするものは、各鮮魚運搬船ごとに登録を受けなければならない。

農林大臣は第四項により指示する事項を凡てのものに対し平等に決定し且つ公示の方法でこれを指示しなければならない。

第二十二條の四　前條第一項の登録を受けたものは、買付運搬数量その他農林大臣の指示する事項を農林大臣に報告しなければならない。

前項の報告の方法、様式、期日その他必要な事項は農林大臣がこれを定める。

第二十二條の五　農林大臣は、第二十二條の三第一項の登録を受けたものに対し、その買付運搬計画を基準として買付先、買付運搬数量、買付時期その他買付運搬に関し必要な事項を指示することがある。

農林大臣は前項の指示をしたときはその旨関係都道府縣の知事に通知する。

附　則

この省令は、公布の日から、これを施行する。

告示

◉建設院告示第三十号

昭和十七年五月内務省告示第三百二十八号兵庫縣小浜都市計画土地区画整理を次のように内閣総理大臣が変更した。

その関係図面は兵庫縣廳及び川辺郡小浜村役場に備え置き縦覧に供する。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

（「次のよう」及び「図面」は省略）

◉建設院告示第三十一号

一宮特別都市計画地域指定の件を次のように内閣総理大臣の決定があり昭和二十三年四月十一日から施行される。

その関係図面は愛知縣廳及び一宮市役所に備え置いて縦覧に供する。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

（「次のよう」及び「図面」は省略）

◉建設院告示第三十二号

岡崎特別都市計画地域指定の件を次のように内閣総理大臣の決定があり昭和二十三年四月十一日から施行される。

その関係図面は愛知縣廳及び岡崎市役所に備え置いて縦覧に供する。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

（「次のよう」及び「図面」は省略）

◉建設院告示第三十三号

都市計画法第一條の規定により、奈良縣宇陀郡榛原町を、内閣総理大臣が指定した。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

◉建設院告示第三十四号

都市計画法第二條第一項の規定により、奈良縣宇陀郡榛原町の区域を以て、奈良縣榛原都市計画区域と、内閣総理大臣が決定した。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

◉建設院告示第三十五号

都市計画法第一條の規定により、奈良縣宇陀郡大宇陀町を、内閣総理大臣が指定した。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

◉建設院告示第三十六号

都市計画法第二條第一項の規定により、奈良縣宇陀郡大宇陀町の区域を以て、奈良縣大宇陀都市計画区域と、内閣総理大臣が決定した。

昭和二十三年三月二十二日　建設院総裁　一松　定吉

◉農林省告示第五十号

昭和二十二年農林省令第二十八号鮮魚介配給規則の規定により次のように定める。

昭和二十三年三月二十二日　農林大臣　永江　一夫

一　鮮魚介配給規則（以下規則という。）第二十二條の二の規定により鮮魚介の種類を次のように指定する。

昭和二十三年三月二十一日より同年五月三十一日までの期間において、北海道渡島國惠山岬より函館市、北見國宗谷岬を經て知床岬に至る沿岸において漁獲されるにしん及びほっけ

二　規則第二十二條の三第三項の規定による鮮魚運搬業者登録申請書の記載要領は概ね別紙一によるものとする。

三　規則第二十二條の三第四項の規定により、買付運搬最低責任数量を各鮮魚運搬船ごとに一回二千貫とする。

四　規則第二十二條の四の規定により、規則第二十二條の三第一項の登録を受けたものが提出する報告の様式及び期日を次の通り定める。

様式	規則第二十二條の四第一項の報告は月報とし別紙二の様式によること
期日	規則第二十二條の四第一項の月報は翌月十日までに農林大臣に到達するよう報告すること

（別紙一）

鮮魚運搬業者登録申請書

一　申請者の住所及び氏名（團体にあつては主たる事務所の所在地、團体名及び代表者の氏名、なお定款その他これに準ずる書類を添附する。）

二　鮮魚運搬船の船籍港

三　鮮魚運搬船の船名積載力、馬力、総屯数

四　月別魚種別買付運搬計画に関する詳細且つ具体的な説明

五　その他参考となる事項

年　月　日

申請者（團体にあつては代表者）の氏名

農林大臣宛

（別紙二）

鮮魚運搬船名　買付運搬月報　月分

1. 買付成績

魚種	買付計画		買付実績		計画ニ対スル実績ノ比率	備考
	買付地	買付数	買付地	買付数		
		貫		貫	%	
合計						

2. 運搬成績

運搬先	販賣又ハ販賣ノ委託ヲシタ出荷機関又ハ受荷機関名	運搬計画	運搬実績	計画ニ対スル実績ノ比率	備考
				%	
合計					

註 1. 備考欄には買付運搬上の特殊事情等を記入のこと。買付又は運搬の成績が特に良好又は不良の場合にはその理由を詳細に記入すること。

本文

第6353号　本文

◎遞信省告示第七十二号

明治三十八年十二月遞信省令第八十四号の規定によつて、次の鉱業特設電話所を下記の日から設置した。

昭和二十三年三月二十二日　遞信大臣　冨吉榮二

名称	位置	設置年月日
茂倉鉱山鉱業特設電話所	山梨縣南巨摩郡三里村	昭和二十二年十一月十九日
大嶽鉱山鉱業特設電話所	靜岡縣安倍郡玉川村	同十二月一日
妙法鉱山鉱業特設電話所	和歌山縣東牟婁郡色川村	昭和二十三年二月十日

正誤

昭和二十三年三月十八日総理廳告示第二十号中「同　年三月二十四日まで」は「同　年三月二十二日まで」の誤植

敍任及辞令

◎昭和二十三年二月十六日

法務廳事務官　大平丑之丞

二級に陞敍する

◎昭和二十三年二月十七日

大藏事務官　秀島種久

二級に陞敍する

◎昭和二十三年三月十六日

厚生事務官　葛西嘉資

厚生次官に任命する

一級に敍する

（各通）

苦米地和雄

大塚　憲

國務大臣秘書官に任命する

二級に敍する

総理廳事務官　藤稿善太郎

國務大臣秘書官兼総理廳事務官に任命する

二級に敍する

厚生大臣秘書官　宮崎政善

総理廳事務官兼國務大臣秘書官に任命する

二級に敍する

飯塚長一

総理廳事務官兼内閣総理大臣秘書官に任命する

総理廳事務官　高木直治郎

外務事務官に任命する

二級に敍する

外務書記生　山中駿一

外交官補に任命する

二級に敍する

（各通）

九鬼左馬之助

横井　稔

中尾政喜

中川　保

厚生技官に任命する

二級に敍する

（各通）

外務事務官　服部五郎

大藏事務官　德宣一郎

石田長利

田中千秋

小竹健次郎

辻田　巖

吉良健彦

商工事務官に任命する

二級に敍する

遞信技官　小川鐃治

商工技官に任命する

二級に敍する

遞信事務官　小林スヱ

二級に陞敍する

◎昭和二十三年三月十七日

（各通）

文部教官　荻原貞夫

同　近藤鋭矢

同　松本　彰

同　林　惠海

農林事務官　上松憲一

一級に陞敍する

商工事務官　日下英夫

商工技官に任命する

一級に敍する

遞信技官　仁科　存

一級に陞敍する

菊地清三郎

判事兼簡易裁判所判事に任命する

簡易裁判所判事　吉田仲治

判事に兼ねて任命する

安藤隆雄

判事補に任命する

簡易裁判所判事　大倉道由

判事補兼簡易裁判所判事に任命する

（各通）

裁判所事務官　山本　茂

齋藤三郎

大竹與六

岡崎　勇

簡易裁判所判事に任命する

判事　中井富藏

簡易裁判所判事兼判事に任命する

（各通）

判事補　姉川捨巳

田村　寛

簡易裁判所判事兼判事補に任命する

（各通）

判事補　藤田哲夫

同　坂口公男

簡易裁判所判事に兼ねて任命する

大藏大臣秘書官　三ッ木常彦

國務大臣秘書官に任命する

二級に敍する

（各通）

神保鳳三郎

河村愼一

総理廳事務官に任命する

二級に敍する

（各通）

大藏技官　荒木長一

商工技官　堀　純郎

総理廳技官に任命する

二級に敍する

総理廳事務官　廣瀬達夫

外務事務官に兼ねて任命する

二級に敍する

運輸大臣秘書官　北村一也

大藏大臣秘書官に任命する

二級に敍する

商工事務官　小田原登志郎

大藏事務官に任命する

二級に敍する

文部教官　秦　忠夫

二級に陞敍する

瀧谷元雄

商工技官に任命する

二級に敍する

（各通）

大藏技官　安田與七郎

國家地方警察本部警察技官　濱野元繼

同　坂井芳雄

商工技官に兼ねて任命する

二級に敍する

商工技官　和田貞政

二級に陞敍する

川崎喜郎

運輸大臣秘書官に任命する

二級に敍する

遞信教官　松田榮吉

遞信事務官に任命する

二級に敍する

遞信事務　渡辺　順平

官　杉山　正

同　加世田廣實

同　日原信利

同　高橋勝次

同　寺島平造

同　相沢忠治郎

同　宮崎彌一

同　寺川　寶

同　逸見勝之

同　小林忠夫

同　平　喜郎

同　市川藤一郎

同　水野　留

同　武澤　忠

同　笠原傳作

同　伊藤虎慶

同　岡島京藏

同　林　和郎

同　吉野金治

同　一宮兵太

同　藤原嘉七

同　寺井豐藏

同　友光仁三郎

同　杉村秀夫

同　吉澤幸重

同　家田　寶

同　児玉縫吉

同　中島貞次

同　三輪桂太郎

同　清水惠四郎

同　田尻秋介

同　熊谷　好

同　森川龜喜知

（各通）

同　江指幸四郎

同　加藤玄房

同　松浦由一

同　白波瀬孝道

同　宇野彌吉

同　笠井辰次郎

同　植田榮二

同　板村源一

同　塩田常三郎

同　久島辰雄

同　小谷甚市

同　三宅虎市

同　植木　智

同　山崎忠次

同　佐和榮一

同　佐藤藤太郎

同　鈴木照家

同　相馬鐵士

同　今河文治

同　根本靜夫

同　向井忠雄

同　川村平三

同　小尾秀勝

同　小谷富二

同　安本樋彌

同　岩間　忠

同　吉岡正巳

同　川上理三

遞信教官　宮崎傳作

同　落合爽二

同　塚野　清

同　辻　義滿

正　三浦忠義

同　牛島富雄

同　葛西吉郎

同　岸本久吉

同　林　久次郎

同　宮武茂隆

同　齋藤正義

同　小林富三郎

同　鎌田貞治郎

同　松尾　茂

同　橋本英二

同　三田廣次

同　井垣睦藏

同　瀧川正巳

同　久米豐二

同　山崎鹿太郎

同　姫野時馬

同　庄司文七

同　渡邊清藏

同　高山孝治

同　中村貞義

同　丸山美子義

同　清水民祐

同　佐藤達也

同　橋本　清

同　本橋清數

同　染岡保一

同　尾嶋勘藏

同　富田豐秋

同　小倉　樹

同　奧山敏忠

同　上條博人

同　落合　清

同　松山久藏

同　大井德一

同　中井長敏

同　伊香一郎

同　石黒久平

二級に陞敍する

（各通）

文部教官　井口直次郎

同　羽淵正夫

地方教官に任命する

二級に敍する

（各通）

地方教官　神谷達源

同　服部一夫

同　高橋平四郎

同　榊原正美

同　宮島嘉作

同　高須安英

同　菊池春治郎

同　池田港治郎

二級に陞敍する

（各通）

内閣官房次長　有田喜一

同　福島愼太郎

連絡調整中央事務局事務官　曾禰　益

総理廳事務官　都村新次郎

大藏事務官　日下部　滋

同　松尾俊次

同　原田富一

第二回國会政府委員を命ずる

厚生次官　伊藤謙二

願に依り本官を免ずる

國務大臣秘書官　藤稿善太郎

二十二号俸を給する

野溝國務大臣附を命ずる

同　大塚　憲

二十一号俸を給する

船田國務大臣附を命ずる

同　苦米地和雄

十八号俸を給する

苫米地國務大臣附を命ずる

同　宮崎政善

一松國務大臣附を命ずる（以上三月十六日内閣）

（各通）

文部教官　柴田榮一

同　太田哲三

判事　大西和夫

同　花房多喜夫

願に依り本官を免ずる

（各通）

大藏事務官　福田趙夫

同　舟山正吉

農林次官　笹山茂太郎

農林事務官　平川　守

同　三堀參郎

安井誠一郎

秋山孝之輔

飯田又右衛門

石川智次

植田扇八

木原秀三

久慈正造

小山政也

鈴木文二

塚本文作

那須改潔

三田村四朗

八木惣吉

渡邊祥夫

赤羽根貞雄

相澤　猛

岩間造酒之助

稻垣傳次郎

大内鋼太郎

桑原能男

小林繁次郎

鈴木鐐助

瀬尾俊三

七井信二郎

濱口吉右衛門

彌谷醇平

横山鹿次

和田寛次郎

食料品配給公團設立委員を免ずる

（各通）

大藏事務官　福田超夫

同　舟山正吉

農林次官　笹山茂太郎

農林事務官　平川　守

同　遠藤三郎

商工事務官　最上章吉

石崎芳吉

川添種一郎

小林繁次郎

田口教一

中濱龍鷹

畠山勝郎

林　萬作

植松正久

鑑田嘉照

齋藤廣三

中村榮助

永松陽一

濱口文二

福田清三郎

福島四一郎

三田村四朗

山口　立

宮部一郎

村上龍太郎

飼料配給公團設立委員を免ずる

國務大臣秘書官　三ッ木常彦

二十一号俸を給する

栗栖國務大臣附を命ずる（以上三月十七日同）

総理廳事務官兼國務大臣秘書官　吉瀬　轄

願に依り本官並びに兼官を免ずる

総理廳事務官　藤稿善太郎

新聞出版用紙割当事務局勤務を命ずる

同　圖師憲一郎

賠償廳勤務を命ずる

同　菊山嘉男

臨時行政機構改革審議会幹事を命ずる

宮澤俊義

臨時行政機構改革審議会幹事を免ずる

髙野　實

中央経済再建整備委員会委員を命ずる

（各通）

厚生次官　伊藤謙二

商工事務官　和田太郎

中央経済再建整備委員会委員を免ずる

（各通）

文部次官　有光次郎

文部事務官　柴沼　直

赤木朗治

城戸芳彦

古垣鐵郎

江草四郎

山田三良

川端康成

高村　潔

島田貞二

著作権審査会委員を命ずる

文部事務官　柴田小三郎

著作権審査会幹事を命ずる

農林事務官　稻垣元宣

官吏分限令第十一條第一項第四号に依り休職を命ずる

（各通）

農林技官　佐藤運一郎

同　濱田　朋

官吏分限令第十一條第一項第二号に依り休職を命ずる

（各通）

木下清次郎

加藤勝太郎

近藤銕次

貿易廳顧問を命ずる

（各通）

運輸事務官　湯木忠藏

同　王貞克己

同　福岡喜平

同　村山　忠

運輸技官　穴山五郎

同　小柳盛成

同　中村英吉

同　近江和太郎

願に依り本官を免ずる

（各通）

商工事務官　小出榮一

長澤　三

吉田秀太郎

志村　勇

鉄道輸送中央協議会幹事を命ずる

（各通）

商工事務官　齋藤正年

同　杉浦義陳

鉄道輸送中央協議会幹事を免ずる

（各通）

遞信大臣秘書官　篠原與四郎

遞信技官　高根　章

労働基準監督官　大園英雄

願に依り本官を免ずる

地方教官　芳田武雄

官吏分限令第十一條第一項第四号に依り休職を命ずる

（各通）

特定郵便局長　山田冷次

同　佐藤　泰

同　玉置永彦

二級官を以て待遇する（以上三月十六日総理廳）

（各通）

國務大臣秘書官　寺田政男

総理廳技官　畔上貞治

願に依り本官を免ずる

（各通）

総理廳事務官　神保鳳三郎

同　河村愼一

総理廳技官　堀　純郎

経済安定本部部員を命ずる

（各通）

内閣官房次長　有田喜一

國家地方警察本部長官　齋藤　昇

瀧川末一

中央行政監察委員会委員を命ずる

内閣官房次長　有田喜一

臨時行政機構改革審議会幹事を命ずる

（各通）

大藏事務官　坂　正俊

文部教官　松井英雄

同　岡井四郎

同　仙田平正

商工事務官　原田輝圀

運輸事務官　佐藤正光

同　奥田憲一

遞信事務官　小林スヱ

地方教官　古井喜三郎

同　原田岡夫

願に依り本官を免ずる

同　蒲田藤一

昭和二十三年政令第六十二号第三條第一項に依り本官を免ずる（以上三月十七日同）

彙　報

○産　業

◎日本規格　さきに工業標準調査会の調査審議を経て左記の規格が制定された。（昭和二十二年十二月二十八日特許標準局）

日本鉄道規格	ビータ	鉄道一七〇一
〃	スパイキハンマ	〃　一七〇二
〃	クローバー	〃　一七〇三
〃	レールホーク	〃　一七〇六

（内容省略）

國　会

○衆議院

◎議案提出　三月十五日内閣から提出した議案は次の通りである。

軽犯罪法案

中小企業廳設置法案

◎内閣総理大臣任命式に列席　三月十日午後二時三十分松岡議長は内閣総理大臣の任命式に列席した。

◎通知受領　三月十日内閣総理大臣から本院議長宛内閣総理大臣及び國務大臣の任命があつた旨の通知を受領した。

◎質問書提出　三月十五日議員から提出した質問主意書は次の通りである。

供米問題に関する質問主意書（木村榮提出）

◎政府委員承認　三月十五日松岡議長は、芦田内閣総理大臣申出の、次の者を政府委員に任命することを承認した。

大藏事務官（專賣局煙草部長）　日下部　滋

同（專賣局塩脳部長）　松尾　俊次

同（專賣局経理部長）　原田　富一

又同三月十六日松岡議長は、芦田内閣総理大臣申出の、次の者を政府委員に任命することを承認した。

内閣官房次長　有田　喜一

同　福島慎太郎

連絡調整中央事務局事務官　曾禰　益

総理廳事務官（[illegible]委員会事務局長）　都村新次郎

地方行政

◎縣会　廣島縣において三月十六日縣会を招集した。（廣島縣）

廣　告

◎公示送達

東京都中央区日本橋橘町九番地四
アース光学株式会社

右の者に送達する昭和二十一年十一月三十一日附昭和十九年商標登録願第八一七号拒絶査定謄本

大阪市西区新町南通五丁目二九番地　南川喜太郎

右の者に送達する昭和二十二年七月二十四日附昭和十六年商標登録願第九〇八六号拒絶査定謄本

大宮市宮町一丁目四〇八二番地　藤尾孝仁

右の者に送達する昭和二十二年十一月二十四日附昭和二十一年商標登録願第七九五九号拒絶査定謄本

東京都中央区銀座西二丁目三番地　富樫豐治

右の者に送達する昭和二十二年十二月十日附昭和二十一年商標登録願第一〇六三号拒絶査定謄本

大阪市生野区生野田島町一丁目九二番地　佐々木　進

右の者に送達する昭和二十二年十一月二十五日附昭和二十年商標登録願第一五七号拒絶査定謄本

同右　佐々木　進

右の者に送達する昭和二十二年十月二十九日附昭和二十年商標登録願第一九二九号拒絶査定謄本

東京都千代田区大手町二丁目二番地　日本雑貨輸出株式会社

右の者に送達する昭和二十二年九月二十七日附昭和二十年商標登録願第二三一号出願公告の決定謄本

同右　日本雑貨輸出株式会社

右の者に送達する昭和二十二年九月二十六日附昭和二十年商標登録願第一九一一号出願公告の決定謄本

東京都港区芝浜松町二丁目二五番地　興和電器産業株式会社

右の者に送達する昭和二十二年十一月十七日附昭和二十二年商標登録願第七〇九八号出願公告の決定謄本

大宮市宮町一丁目四〇八二番地　藤尾孝仁

右の者に送達する昭和二十二年三月三十一日附昭和二十一年商標登録願第七九五八号出願公告の決定謄本

東京都千代田区神田元佐久間町四番地　株式会社防災施設工業所

右の者に送達する昭和二十二年十一月二十五日附昭和十八年商標登録願第三二九号出願公告の決定謄本

東京都千代田区湊町三丁目十番地
共和水産株式会社

右の者に送達する昭和二十二年十一月三十一日附昭和二十一年商標登録願第三一九号出願公告の決定謄本

大阪市東区安土町二丁目十五番地佐々木ビル三階　濱田　武

右の者に送達する昭和二十二年十一月二十日附昭和二十一年商標登録願第二〇一九号出願公告の決定謄本

大阪市阿倍野区阿倍野筋七丁目九八番地　山口豐太郎

右の者に送達する昭和二十二年十一月二十五日附昭和二十一年商標登録願第一一二八号出願公告の決定謄本

右の書類は何時でも送達を受ける者にこれを交付する。

右商標法施行規則第十六條により準用する特許法施行規則第二十一條の規定により公告する。

昭和二十三年三月二十二日

特許標準局

◎資拂公告

一、資拂物件名及び数量

各船の要目

船種	公称番号	隻数	総屯数	機関種別	馬力	船体構造	所在地	用途
機帆船	一九八、一三四、一五七	五	九〇	一[illegible]ヂーゼル	四〇〇	木	中国海運局	輸送
	一六〇、一六四、一三三	三	〃	〃	〃	〃	近畿海運局舞鶴支部	〃

現狀については所管財務局と打合せられたい。

第6353号 本文

号外（一）（資格審査仮指定）

（三）異議申立先

馬場健次郎　大陸経営

馬場　文翁　皇民道徳原論

日高瓊々彦　支那事変と民族原理　東亜建設の指導原理　統合　東

事情　東亜新経済論　東亜経済政策　経済学上よ

二、賣拂申請書提出先
東京都新宿区市ヶ谷本村町二番地　当省國有財産局、
大阪市東区杉山町一番地　大阪財務局國有財産部
廣島市霞町　廣島財務局國有財産部

三、提出締切期日　昭和二十三年三月三十一日

四、契約方法　國有財産調整委員会特別幹事会で賣拂申請書（別表様式による。）審査の上指名競争契約による。

五、入札期日、入札場所・追て指名者に対し通知する。

右公告する。

昭和二十三年三月二十二日　大蔵省

（別表）
賣拂申請書様式

賣拂申請書

昭和二十三年　月　日
申請者　住所、会社名
氏名　㊞

大蔵大臣　北村徳太郎殿

左記船舶賣拂下さるよう参考資料添附の上申請いたします。

記

一、申請船舶

船種	船名	総噸数	所在	状態

二、申請事由

三、申請物件による事業計画の概要

四、その他

五、添附参考資料
イ、申請者の経理内容
ロ、申請船舶に対する購入資金計画
ハ、事業内容
ニ、過去の業績
ホ、将来の事業計画
ヘ、昭和二十二年度所得税決定額及び納入額（税務署の証明添附のこと）

◉公示催告

解散公告

当組合は商工組合法第五十條同法施行令第三十二條の規定により昭和二十二年二月二十六日解散せり。当組合に債権ある方はこの公告の日から六十日以内に申し出でられたい。申出でのないときは清算から除斥せられる。

昭和二十三年三月二十二日
東京都港区芝新橋二丁目三〇番地
日本厚型スレート工業統制組合
清算人　佐藤　讓

解散公告

当会社は昭和二十三年一月十九日株主総会の決議により解散しました。就いては当会社に債権を有せらるる向は本公告掲載の日から二箇月以内に申し出でられたい。若しこの期間内に申し出で無きときは清算より除斥致します。

昭和二十三年三月二十二日
京都市中京区二條通西洞院東入正行寺町六六三番地
福寿鉱山株式会社
清算人　葛川　龍三

解散公告

当会社は昭和二十三年一月三十一日の臨時株主総会の決議により解散致候に付き当会社に対し債権を有せらるる方は本公告掲載の翌日より二箇月以内にその債権の御申出無之ときは清算より除外可致此段公告候也

昭和二十三年三月二十二日
京都市河原町通今出川下る梶井町一六七
京都物産貿易株式会社
清算人　吉田　榮造

有限会社組織変更公告

昭和二十三年三月一日当会社の臨時社員総会に於て全社員の一致を以て有限会社の組織を変更し大阪市北区老松町二丁目四番地大阪ドレス株式会社と為す事に決議した。就いては組織変更に異議ある債権者は本公告掲載の翌日から二箇月以内に申し出でられたい。

昭和二十三年三月九日
大阪市北区老松町二丁目四番地
有限会社大阪ドレス

解散公告

当社は昭和二十三年二月二十日株主総会の決議で解散した。当社に対して債権のある者はこの公告の日から二箇月以内に申し出でられ度い。若しこの期間内に申し出でのないときは清算から除斥せられる。

昭和二十三年二月二十日
大阪市西区西長堀南通二丁目一二番地
株式会社新和商行
清算人　橋　新三郎

債権申出公告

当会社は昭和二十三年一月二十九日株主総会の決議により解散致候に付き当会社に対し債権を有せらるる方は本公告後二箇月以内にその債権の御申出相成度若し期間迄に御申出無之ときは清算より除斥可致此段及公告候也

昭和二十三年三月一日
大阪市港区三通町一八番地
大阪造船木材株式会社
清算人　柄崎　傳藏

解散公告

当会社は昭和二十三年二月五日株主総会の決議により解散致しましたから当会社に債権を有せらるる向は本公告掲載の翌日から二箇月以内に御申し出で下さい。若し右期間中に御申し出のないときはその債権は清算より除斥します。

昭和二十三年三月八日
大阪市大正区船町三三番地
中山製鋼株式会社
清算人　竹内　秀雄

解散公告

本組合は昭和二十二年二月二十八日を以つて商工協同組合法第七十五條第四項の規定により解散しましたから本会に対し債権を有せられる向は本公告掲載の日より二箇月以内に申し出で下さい。若し申し出でのないときはその債権は清算より除斥します。此段民法の規定により公告致します。

昭和二十三年三月八日
大阪市生野区勝山通七丁目八番地
全國刷子刷毛統制組合
清算人　沼野　泰二

解散公告

本組合は昭和二十二年二月二十八日を以つて商工協同組合法第七十五條第四項の規定により解散しましたから本組合に対し債権を有せられる向は本公告掲載の日より二箇月以内に申し出で下さい。若し申し出でのないときはその債権は清算より除斥します。此段民法の規定により公告致します。

昭和二十三年三月二十二日
大阪市生野区勝山通七丁目八番地
大阪府刷子刷毛統制組合
清算人　榎木　友吉

解散公告

当社は昭和二十三年三月六日株主総会の決議で解散した。当社に対して債権のある者はこの公告の日から二箇月以内に申し出でられ度い。若しこの期間内に申し出でのないときは清算から除斥せられる。

昭和二十三年三月六日
大阪市阿倍野区天王寺町三〇五〇番地
千本金属工業株式会社
代表清算人　千本　政太

債権申出公告

当会社は昭和二十二年八月二十一日株主総会の決議により解散致候に付当会社に対し債権を有せらるる方は本公告掲載の日より二箇月間内に其債権の申出相成度若し右期間内に御申出無之ときは清算より除斥可致此段及公告候也

昭和二十二年九月三十日
名古屋市西区樋の口町三二番戸
愛知縣知多郡野間町大字奥田字御茶銭一一三番地（清算事務所）
好生館株式会社
清算人　横井　済

債権申出公告

当会社は昭和二十三年三月八日株主総会の決議により解散致候に付き当会社に対し債権を有せらるる方は本公告掲載の翌日より二箇月以内に其債権の御申出相成度若し右期間内に御申出無之ときは清算より除斥可致此段公告候也

昭和二十三年三月八日
熱海市上宿八〇五番地
田中産業株式会社
清算人　田中喜一郎

有限会社組織変更公告

当会社は、昭和二十三年二月二十九日開催された社員総会で、総社員の一致に依る決議を以てその組織を変更して日山化工株式会社とすることに決定致しました。ついては、債権者の中でこれに異議のお有りの方は、この公告掲載の日から二箇月以内にその旨を当会社に申し出て下さい。

昭和二十三年三月一日
岡山市網浜七一二番地の一
有限会社日山商会化製所

債権申出公告

当会社は、昭和二十三年二月二十九日開かれた社員総会の決議により解散致しましたから、当会社に債権を有せられる向は、本公告掲載の翌日より二箇月以内に申し出で下さい。若し右期間内に申し出でないときは、清算より除外致します。

昭和二十三年三月六日
岡山市中之町一〇番地
松浦電気商事有限会社
清算人　松浦　忠直

◉失踪に関する届出の催告

本籍及最後の住所千葉縣安房郡千倉町南朝夷千百六十四番地
不在者　實方　政吉
明治四十二年三月二十六日生

右不在者に対し利害関係人實方せんより失踪宣告の申立を為したるに付不在者は昭和二十三年九月五日午前九時迄に当家事審判所に生存の届出を為すべく若し其の届出を為さざるときは失踪を宣告すべし又不在者の生死を知る者は右期日迄に其の届出を為すべし。

昭和二十三年二月五日
館山家事審判所
審判官　植田秀夫

本籍香川縣小豆郡福田村大字吉田甲三百四十九番地の一、最後の住所右同所同番地
不在者　港　傳吉
明治九年七月十一日生

右不在者に対し利害関係人港小品から失踪宣告の申立があつたから不在者は昭和二十三年八月三十一日午前九時迄に当家事審判所に生存の届出をされたい。もしその届出をしなければ失踪を宣告する又不在者の生死を知つてゐる者は右期日迄にその届出をせられたい。

昭和二十三年二月二十九日
高松家事審判所

本籍並最後の住所弘前市大字富町五十五番地
不在者　松山末次郎
明治二十六年七月二日生

右の者に対して利害関係人松山宮義から失踪宣告の申立があつたので不在者は昭和二十三年八月二十六日午前九時までに当審判所に生存の申出をしなければならない若し其の届出がなかつたときは失踪を宣告する。又不在者の生死を知る者は右期日迄に其の届出をして貰ひたい。

昭和二十三年二月九日
弘前家事審判所
審判官　豊川博雅

◉号外　二十二年十二月十日発行衆議院会議録第七十五号附録（二）の三、三二頁（参議院会議録十七号八頁●同三月十二日発行予備費使用（一）、公報、広告四頁）●二十三年三月五日発行

定価	一ヶ月	五十円
	一部	二円
広告料	一本公告　八ポイント　一行　十七字詰	三十円
	一般広告　八ポイント　一行　十四字詰	二十五円

発行所　東京都新宿区市ヶ谷本村町　印刷局
電話九段五三〇一　振替東京一九〇〇〇　図書課

（國定規格A4判）

第6353号　物価号外

官報

号外（一）（資格審査仮指定）

廣告

◎資格審査（仮指定）結果公告

第八号

昭和二十三年三月二十二日

内閣総理大臣　芦田　均

一、この表には、昭和二十二年勅令第一号第七條の二第一項及び同年閣令内務省令第一号第五條第一項但書の規定により中央公職適否審査委員会の審査の結果に基き仮指定を行つた者の氏名及び仮指定の事由を掲載する。

二、この表は、最も廣く公表するものである。市区町村役場がこの公報を受けたならば、直にこれを掲示する。この掲示は少くとも一箇月間継続し、次回の公報を受け取つたときはこれと取換えるものである。取換えた公報はこれを破棄することなく、公衆の参照に供し得るように、市区町村役場に編綴保存する。

三、この表に掲載された者で仮指定の事由に関し、誤があると認めるものは、昭和二十三年三月二十二日から三十日以内に内閣総理大臣に対し調査表（日英両文のもの）二通を添え異議申立をすることができる。

四、注意事項

（一）異議申立の方式は書面（正副二通）による。申立書には異議の理由を詳細且明瞭に記載しなければならない。

（二）添附書類

イ、調査表の用紙は中央公職適否審査委員会事務局若しくは各都道府縣当該係に請求されたい。

ロ、証明書その他の立証書類正副二通

ハ、該当と見做された図書（現本のない場合はその理由及び内容に関する説明書正副二通）

（三）異議申立先

異議申立は内閣総理大臣に対してこれを行う。

提出先　東京都千代田区永田町内閣総理大臣官邸内　中央公職適否審査委員会事務局

（四）異議申立書及び添附書類に対する英文は事務局から特に要求のない限り必要はない。

（五）その他詳細な事項については右事務局へ照会されたい。

五、仮指定された者の氏名及び仮指定の事由等は次のとおりである。

六、仮指定された者の氏名中には筆名、通称等によるものも含まれている。この場合は、これらの名称を使用した本人が仮指定を受けたものとする。

○著述家（第一次）　二七〇名

氏名	仮指定の事由（著書名）
足立　松陽	大陸建設の理想　亜細亜大陸第一歩
相葉　忠功	肇國大和魂を西海に
粟野　傳二	随神道は世界最高の宗教道徳学なり
安達　巖	新体制と全体主義　國民運動の再出発
安藤榮三郎	英國の世界侵略史
東　岩美	國民学校体制及精神解明
天野　弘一	何故大日本は神國か　惟新の大道
赤松　克麿	新らしい野蛮主義　何故齋藤隆夫君は懲罰に附せられるか　憲政再建論
天野　徳也	皇國憲法學　祖先崇拝と國体及び法則　道徳の淵源
浅香　末起	南方交易論　南洋經済研究　大南方經済論
秋山　謙藏	日本の歴史　國史の回想
浅野　晃	時代と運命　古典の精神　歴史の精神　岡倉天心論攷　対支文化工作論
渥美　勝	日本の宣言　日本の生命
浅野利三郎	滿洲國外蒙古併合論　第二次世界大戰と日本帝國　興亜聖戰の目標　興亜聖戰と世界大戰　日独ソ大陸ブロック論　世界大戰前後と我が対ソ策　第二次大戰の爆發点　ソ聯邦のアジア中心政策　第一次世界大戰の眞相と教育
馬場健次郎	大陸経営
馬場　文翁	皇民道徳原論
江南千代松	実践時局と教育経営
江澤　譲爾	南方地政論　ハウスフオーファーの太平洋地政学
福永　春吉	独逸を興す人々
福宮　一郎	創造の倫理
福井　久藏	やまとこゝろ
福来　友吉	日本精神の核心　惟神敬神大日本帝國々体
古谷　晉松	明徴天理人道眞髄解明、科学宗教談譯解明
福岡　醇祐	興亜丸の舵機をとる　汪精衛に與ふ　非常時局に立つ近衛公　地球への宣言
古谷　榮一	支那を如何にすべきか　外交の危機、國策に挑戦する親英派、漢口陥落に備へよ　日本を如何にすべきか　防共強化か三國同盟か　戰はずしてソ聯を倒す道　外務省革新組の運動　英國に東洋撤退を要求すべし　外務省改革論
藤澤　親雄	新民主義の哲学的基礎　日本を中心とする國際思想の動向　近代政治思想と皇道　日本的思惟の諸問題　日本民族の政治哲学　戰時下のナチス独逸　日本國家学　全体主義と皇道　大陸経綸の指導原理　日本人間学　日本政治学の基礎概念
平泉　澄	傳統　國民の眼目（二）　新田義貞公を偲ぶ　其の他
八條　隆孟	ナチス政治論
早坂　義雄	南方共榮圏とその性格　新生支那と明朗北支
花見　達二	長期戰爭と國内改造
林　秀	新世紀の思想
橋本傳左衛門	滿洲建國の使命　東亜の開発と皇國精神
長谷川　正	対立せる戰爭論　闘爭の思索
筈見　一郎	ユダヤ禍の世界　全体への闘爭、動乱を指揮する者の頭脳
日高瓊々彦	支那事変と民族原理　東亜建設の指導原理　統合智に立脚しての國防の思想観
林　房雄	上海戰線を語る　戰爭の横顔　東洋の満月　長駆強行五百粁、上海戰線残花一輪、飛行基地警備記
淵　蕭明	学としての東洋政治学は如何にして可能なりや　日本統制経済の将来　東洋政治学
橋本　晉之	大東亜化圏建設大綱
耕田　工	國民大衆からみた支那事変と國内改革　新体制と商人　新体制の本義と実践　國民建設の理念と実際
肥田　琢司	支那事変解決論
本莊　可宗	國家と個人　戰爭と思想　変革　現代人の課題
原　嘉章	近代戰の國防
原　圭二	石油争奪世界戦
橋本　文壽	日本精神の要諦と惟新の大道
萍　葉登	支那侵略者英米財閥
原　勝	抗戰支那と列強　世界危機と日本　新世紀の思想　東亜解放論序説　東亜共同体と太平洋戰爭　支那社会政治思想史（上・下）
石山　正夫	世界資源分割論
伊藤六十次郎	世界維新の曙鐘　皇民読本　対ソ思想戰論　東亜聯盟結成論
今野　幸助	太平洋は叫ぶ
伊藤　裕	日本精神原論
石丸　梧平	日本的教養
一井　修	東亜國土計画
井伊　亜夫	東亜の理念
池浦　孝忍	日本精神の体系的闡明
岩垂　憲徳	國民精神の大本
伊藤　劍南	天地の正道と防共日本・
近藤　春雄	國防國家と文化　ナチスの青年運動　文化政策論
加藤　玄智	日本精神と文化の問題　大神宮参詣と敬神尊皇
清原　貞雄	立國の精神と我が文化　國体論文　日本の使命と國民の覚悟
木村増太郎	皇道主義経済の理論と経済統制原理　支那の経済事情　東亜新経済論　東亜経済政策　経済学上より見たる支那事変の本質　日満支経済の基礎知識
國弘　進一	皇道経済の要諦
北松　小松	燃ゆる大空　世紀の除夜　龍巻　海軍爆撃隊
黒木　勇吉	米國東亜侵略史、
景山　鹿造	國民精神総動員教程
河原　萬吉	五大革新史論（下）
金井　眞澄	國体明徴講話資料
神原信一郎	高天原
黒田　正	魂の全村教育経営
金子　定一	日本民族の大陸還元
川崎　利市	八紘一宇の教育
草場　弘	皇民鍊成の哲理
木村武一郎	國体の本義
能代　青彦	日本反共運動の展望　新体制に前進する翼賛議会同盟の全貌
木原　通雄	現代政治の危機　日本政治の新秩序　新政治への展望
甲斐　勝実	日本神話の本義、高天原の信仰　日本は神國なり
小島　精一	東亜重工業論　日満支新興経済　日本戰時経済論　戰時日本重工業　ナチス統制経済読本　日満経済五ヶ年計画　欧州大戰と日本産業の将来　戰時経済と機械工業　日本戰時産業統制論
加藤　完治	皇國農民の道　皇國農民精神　民族協和と満洲國開拓民の使命
小島　威彦	ナチスの世界政策　哲学的世界建設
河村　東洋	東亜新秩序の建設と対独伊関係　ドイツ民族の動向　東亜共同体観念
亀井貫一郎	大東亜民族の途　東亜の前途　ナチス國防経済
加田　哲二	政治経済民族　興亜経済の原理　太平洋経済戰争論　日本國家主義の発展　現代の植民政策　東亜協同体論　転換期の政治経済思想　戰時経済講座（一）　世界経済の体制
河野　省三	神道と日本精神　明治維新と皇道　日本精神史講

物価号外

第6353号　物価号外

話　すめらせかい　神道学序説　日本精神文獻叢書(七)　時局と國民精神　日本國民の道　神社神道　神道文化史　中臣祓と民族精神　近世の國体論

小林知治
紀平正美
鹿島守之助
加藤仁平
片倉藤次郎
木村孫八郎
桑原三郎
桑原晋
加藤一夫
熊崎健翁
木崎爲之
加藤喜孝
金生喜造
木島一光
近藤栄蔵
小林騏一郎
栗下喜久治
喜多壯一郎
兒玉誉志夫

軍部と新支那の建設　板垣征四郎　激動日本人物群像　新支那の中心人物は誰か　大陸戦論　爆弾支那を語る　躍進日本、日独伊同盟と再建世界　ソ聯極東軍の向背　日本的なるもの　國体と哲学　國体と時局　修理固成の論理　その他　皇紀二六〇〇年を顧みて　最近の日本の國際的地位　世界新秩序を繞る外交　防共協定とナチス　ファッショ革命　帝國外交の過去現在及將來　三種神器観よりみたる日本精神史　菅家遺誡和魂漢才　新興亜教育論　日本新聞報徳の實行力　イタリーの決意　國防経済の基礎知識　アジア侵略秘史　東亜共栄圏経済理念　日本國民経済学　宗教新体制草案　日本の新方向　惟神皇道、心大義　一民の力　八紘一宇の進軍　欧洲の現勢(下)　皇民訓　國防國家と臣道實践　日本主義認識　断末魔の支那　支那大陸を舞台とする日英ソ戦争　日支事変の次に来るもの、日英戦はんか　実際時局と教育経営　國民精神総動員と小学教育の実践　生活新体制の心構　支那事変は如何にして解決せらるべきか

鹿子木員信
金平幹夫
小穴毅
片山透
菊田秀雄
加治木文雄
金子力三
木村武雄
上村文三
松田勝太郎
三井甲之
正頂正義
御手洗辰雄
水島修
松永材
松岡林造
室伏高信

すめらあじや　皇國学　皇國々体原理　帝國大学肅正問題　皇法学概論　戦争経済と商工会議所　ナチス経済と欧洲の新秩序　ナチス戦争経済政策　海南島はどんな処か　佛領印度支那の重要性、日米果して戦ふか　浅間丸事件の陰謀　英國とソ聯をうつ　危機ロシアの肺腑を抉る　皇軍奇襲のバイアス湾と海賊　一億一心天皇に皈一し奉り高度國防國家建設を期す　支那事変と皇國の使命　時局縦横談録　齋藤隆夫君の演説は何故除名に値するか　昭和維新論　日本の推進力は陸軍か海軍か　岐路に立つ支那　北支爆発の真相　國内改革問題を軍部はどうする　準戦時体制下の軍部と政治経済　廣東攻略と日英抗争の新展開　皇道主義経済（統制経済の指針）　天皇親政論　綜合帰一の新日本の創造　此一戦、世紀の始め　時局と朝鮮　米國に於ける日本観察の論調　ソ聯國防経済の現勢　内外諸状勢の展望と批判　佛紙に表れた全面的戦争の企図と日本の経済力　世界の将来と全体主義的戦争　対日関係問題抄訳　皇國体制　時局の論理　興亜青年和合聯盟　大日本の使命　興亜問題を語る　日本創世紀　我が闘争（訳）　一億人の新体制　新体制と思想の問題　東亜の世紀に序す　土に還る農民の書　新体制講話　太平洋の夢　革新論　日本南進論　時局打開論　時局知識(事変)　室伏高信全集　世紀の倫理　日本予言　戦争と青年

武藤貞一
水谷清
三浦藤作
三島康夫
三島助治
前原光雄
森清人
南村清二
水野正次
水谷吉蔵
三武鋭史
松浦忠平
野依秀市

日本興廃の岐路　無敵日本軍　日ソ戦に備ふる書　日本革新の書　日本の変貌　皇民の書　支那事変と次にくるもの　英國をうつ　世界大戦乱に捧ぐ日本　世界戦争はもう始つてゐる　天皇修宗本義　戦陣訓精解　欧洲動乱と次に来るもの　軍部の目標　世界新秩序建設の爲に　皇國の書　日本臣道論　純正法理論　ナチス思想謀略の研究、総力戦と宣傳戦　ドイツ的戦略とは　國際政局と雄大なる皇國の使命　五十ケ年を顧みて　守れ権益北方の生命線　大日本帝國の進むべき道　佛教思想と信仰を戦場の將兵弟に贈るの書　佛教心に映じた支那事変　戦時生活と真宗信仰　前進佛教　青年諸君に與ふるの書　池田成彬縦横談　鉄と日本経済の将来　東亜ブロック中心勢力、日本資本主義の再出発　世界戦争と日本の行動　英國打倒欧洲参戦の主張　事変最後の段階に突入　南北支那現地要人をく　新党樹立と國難打開　日本はどうなる　日独伊同盟と日本の将来　楽土激土　真剣勝負　戦時戦後の見方　正義は遂に勝てり　日本に頼つ　齋藤問題の疑問解決　世に知られざる問題の眞相　支那事変の前途は楽観か悲観か　日本挙國の大精神

中野登美雄
難波田春夫
西谷弥兵衛
蜷川新
中村孝也
仲小路彰
長沢九一郎
中山忠直
梨木裕平
中河與一
中根環堂
西山庸平
丹羽生州
中村伸康
中山優
中川裕
小野田正一
大野慎
奥村喜和男

戦時の政治と公法　日本翼賛体制　日本経済の諸問題　國家と経済　ナチスの商業政策　戦ふ日本経済　満洲に於ける帝國の勝利　九ケ國條約無効　國史教授講話(前)　肇國の精神　世界戦争論　東洋戦史(II)　南洋民族侵略戦　人類政治闘争史　肇國日本政治論　日本経済論・日本精神論　大皇國(上、中)　日清戦争戦闘記録　日清戦争(下)　南洋白人搾取史侵寇　イギリス革命戦争史　欧洲戦史(III)　欧洲大戦(上、中2・3、下1・2)　天皇親政論　至高府樹立に伴ふ皇道興隆　地球を弔ふ　我が日本学　新生支那経営論　支那経済史研究　北支農民政策の重要性　日本と全体主義　日本の理想　全体主義の構想　國体本位の宗教々育　東亜民族の指標　敬神と祭祀　敬神の本義　國家の興亡と海上権力　東亜聯盟問答　飛躍日本の運命を握る青年運動「純協」とは如何なる團体か　赤誠翼賛運動の前進　革新日本精神の根源　藤田東湖の生涯と思想　日英戦争の危機　大川周明の二千六百年史を駁す　〃新論〃の研究・ユダヤの陰謀に踊る蔣介石　ユダヤの陰謀を嗤く　戦時議会と政局の新動向　爆発する世界政治の発火点　呉佩孚将軍出馬と時局の新動向　武漢三鎮陥落後戦争はどうなるか　日本政治の革新　國防國家とナチス独逸

大久保弘一
太田悌蔵
小倉虎治
小野正康
奥沢福太郎
小浜重雄
小倉鏗爾
大崎勝澄
岡崎文勲
大倉邦彦
大串兎代夫
大谷光瑞
鬼倉重次郎
大岩和嘉雄
大久保龍之[illegible]
大谷竹雄
大石利徳
蠟山政道
白根孝之
佐治謙譲
柴田敬
菅原兵治
佐藤通次
齋藤晌
坂本勝
下位春吉
作田荘一

近代國防について　知識階級に與ふ　陸軍読本　國体の認識に向へる現代思想の批判　日本精神の自覚と禅の修養　戦争文化叢書(八)　日本学の根本問題　質問應答によつてなされたる教育勅語の本義闡明　みそぎ行教本　惟神の大道　高度國防経済学　日本の全体主義　日本倫理学　青壮年の書　日本産業道　戦時日本の食糧問題　日本の勃興と政治の轉換　戦争と國家　帝國憲法について　わが國体と世界法　國家権威の研究　支那の將来と我が帝國の使命　大谷光瑞興亜計画　日本生命の雄叫び　戦後の方策と陸軍の動向　軍部問答書　東亜建設日本三年史　新体制日本の政治経済文化　ロシヤは來るか　経済戦は之からだ　東亜協同体の理論的構造　聖戦の書　戦争のロゴスとパトス　日本学としての日本國家学　日本経済革新案大綱　神勅の農業的翼賛　皇道哲学　日本文化の諸問題　日本思想の将来性　新世界観の構想　産業報國青年隊組織方針要綱　農村青年に與ふ　現下の國際情勢に於けるイタリーの立場　ムッソリーニ全集(八・九)　イタリヤの参戦を回る世界政局の動向　支那事変の意義　支那事変の実相　國家論　経済の道

佐藤清勝
孫田秀春
齋藤忠
佐藤隆徳
澤田謙
澤島正治
三枝茂智
清水宣雄
杉原正巳
櫻澤如一
佐々木三治郎
柴田俊三
齋藤直幹
杉浦晴男
関屋龍吉
重松宣雄
十河信二
志田延義
園山豐
篠森爲孝
鈴木良
杉浦武雄
新庄紘治郎
砂田久政
鈴木一馬
柴田賢一
坂本正義

大日本政治思想史(上・下)　支那事変の世界的意義　國民精神総動員の意義　國体の本義通釈　臣民の道解説大成　國体の本義解説大成　太平洋戦略序論　英米包囲陣と日本の進路　國民精神総動員と戦時戦後の学校経営　集團勤労作業教育の実際　ヒットラー傳　ムッソリーニ傳　心の道場　見神の哲学　雄邦日本の東亜政策　戦ひの目標と政局　新東亜建設の綱領　アジア宣戦　植民地解放論　大東亜建設の指導本位　ナチスのユダヤ政策　國民組織の政治力　東亜共同体の原理　日本を亡ぼすものはだれだ　現代日本國民史　日英外交裏面史　次の戦争を予想する　東亜聯盟建設綱領　昭和維新論　非常時局下に於ける青少年教育(中、下)　戦時に於ける國民の覚悟　支那事変と防共体制　北支那経済の開発　宗教の方向　青年は想ふ　國体物語　現代日本対外戦史　北支事変の本質とその対策　新東亜を阻む世界の驕兒米國　心の國日本と物の國英國　新東亜建設の要諦　日露戦勝の回顧と考察　次に来るべき極東大戦の展望　白人の南洋侵略史　独逸國防軍　近代海軍と海戦　大和魂をくらふもの　國体とキリスト教及び西洋思想討整　欧米宣撫軍　日本精神にかへれ

菅勇
田辺宗英
田中澤二
谷口雅春
田村德治
田中直吉
竹岡勝也
竹下文隆
平貞蔵
田畑爲彦
田中巳之助
寺山弥吉
鷹橋聖一
高橋亀吉
田中喜四郎
土屋修
津田光造
高木元谿
高野弘
田村謙次郎
竹中吉郎
高松敏雄

戦後に於ける日本と支那　行け南へ　太平洋上の制覇　支那をどうする　海南島　日英はもう戦つてゐる　宗教政治の提唱　帝大肅正問題　一億一心に就て　日本改造の具体策　躍進日本の心と力　日本の世界的使命　戦線消息　信の力　天皇絶対論とその影響　戦争と日本精神の倫理　新政治体制の目標　欧洲大動乱と東亜聯盟　世界政局と東亜新秩序　國際政治から見た日支の抗争　日本思想の研究　現代の問題としての復古思想　新東亜の建設　既成政党を離れ　新体制とは何か　共栄圏の北と南　事変処理の理念　南方経済政策　驚異の独逸　独逸の勝利の基礎　神武天皇の建國　日本國体の研究　日本哲学への道　日本総力戦の体系　日本総力戦夜話　総力戦教書　日英戦争は何時始るか　日ソ開戦愈々近し　極東を狙ふ英國の魔手　我國の戦時経済とその將来　統制経済の現状と將来　戦時経済講話　経済統制の再編制　東亜経済ブロック論　戦時経済と新経済体制　長期戦下の財政経済　戦争と日本経済力　戦時経済統制の現段階とその前途　東亜建設戦と財政経済の再編成　戦争の神々　常会の理想　神魂　皇道自治精義　國民皇國史　我が國体と國家　日本主義経済学　明日の大陸　眞日本主義　國民改造と道義　大亜建設

辻權作
田村敏雄
辻本正一
津村卓
頭山秀三
高石眞五郎
津久井龍雄
田中耕
田村益喜
立仙淳三
鳥井教子
東海日出雄
高橋荘造
高階順治
田沼征
高木義賢
高橋勇
亘理章三郎
占部直輔
上山廣
宇都宮希洋
宇都宮宝謙
鵜野久吉
渡辺八郎
吉田熊次
吉村作治

必勝(前編)　満洲と満洲國　日本哲学及日本法理学(中、下)　動乱下の世界　皇國十訓抄　日本は正しい　事変と米國　欧洲の動乱と國民の覚悟　世界の再建と東洋の理想　日本の運命　革新と建設　戦後の背後のもの　新体制の構想　現下政治の動向　文化と政治　重大時に際して爲政者の根本的反省を促す　時局に対する根本的指導精神　誰にもわかる翼賛会の話　日本経済学大意　皇道精神の[illegible]　鐘がなる米英亡國の宿命　祖國と大陸　教育者のみたる祖國と大陸　日本精神の根本問題　われらの経済学　戦時経済と生産増強策　臨時財政経済の動向　海の荒鷲奮戦記　無敵海の荒鷲　亜細亜侵略史　聖訓と國民　天壌無窮の神勅　皇國紀元論　援蒋諸國の矛盾をつく　價値轉換と次代日本　遂に戦はざるべからざるなり　新東亜建設と民族問題　戦場より帰りて　りんふん戦話集　帰還作家の手記　続建設戦記　ユダヤ問題と日本　八紘一宇の精神　支那事変と無敵皇軍　建設に甦へる新支那大観　戦時学生読本　戦時婦人読本　戦時サラリーマン読本　國体と教育　皇國体の本義　國体明徴の思想原理　思想國防と思想國是　皇道資本主義

山崎又次郎
吉田賢一
安井郁
吉田三郎
山川直夫
由良哲次
山本幹夫
山中峯太郎
山口重治
山田忠正
山本饒
山崎博
山田太郎
吉田由造
矢野政二
山田光遊
山梨芳隆
矢吹一夫

新体制の基礎帝國憲法論　天皇機関説の憲法的批判　國体明徴を中心として帝國憲法を論ず　新東亜建設原理研究　新体制と教学　欧洲広域國際法の基礎概念　國際法の再轉換　日本建設史論　東亜と英吉利　教育と方向　日ソ開戦の時機　國防國策よりみた二大敵國　日ソ開戦論　日英開戦論　風か雨か日米外交多難　興亜の理念と民族教育　現代道徳思想　独逸民族とその教育　決然佛教と我國体思想　國体倫理と構造　倫理と青年　ナチス思想論　日出る國の子　泥の担架　皇兵　見えざるスパイ狙日第五列　三百里　見えない飛行機　敵中横断　大陸非常線　亜細亜の曙　太陽の凱歌　日本を予言す　戦に次ぐもの　聖戦一路　鉄か肉か　大陸動員令　空と陸との秘密戦　偉人二等兵　満洲國協和会指導要綱案　一國軍営　大政翼賛運動の方向　天皇政治　戦時体制の学校教育　十七條憲法よりみたる大日本國体観　日本精神の顕揚と創造教育　支那論　東洋國家倫理の原理と大系　日英必戦論　準戦時下の労働問題

◎除権判決

昭和二十一年(ヘ)第二一八八号

岐阜県本巣郡北方町一三一八の一

申立人　松野隆子

右代理人弁護士　横山茂

同　根本好夫

別紙目録表示の株券に付申立人の申立によつて公示催告を爲した処昭和二十二年五月二十日午前十時の期日迄に権利を届出て且右株券を提出するものがなかつたから申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日

東京地方裁判所

判事　古山　宏

（別紙）

失権すべき株券目録

一、株式銘柄　浅野セメント株式会社
二、株券種類及び数量　十株券二枚
三、株金額　金五百円（全額払込済）
四、記番号　ぬ乙自第四一四七号至第四一四八号
五、発行年月日　昭和十四年十一月二十日
六、発行者　浅野セメント株式会社取締役社長浅野総一郎
七、発行当時名義人　松野隆子
八、最終名義人　松野隆子

昭和二十一年(ヘ)第四二一〇号

東京都杉並区方南町八〇番地

申立人　古門恒彌

別紙目録表示の株券に付申立人の申立によつて公示催告を爲した処昭和二十二年七月十七日午前十時の期日迄に権利を届出て且右株券を提出するものがなかつたから申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日

東京地方裁判所

判事　古山　宏

（別紙）　目　録

一、理研工業株式会社株式五十株券二枚
記号番号　ぬ乙第四二〇一号、ぬ乙第四二〇二号
株券額面　金二千五百円也
二、同会社株式十株券十五枚
記号番号　ぬ丙自第一五四二九号至第一五四四三号
株券額面　金五百円也
右一、二株券は
払込金額　全額払込済
発行日　昭和十六年十二月一日
発行者　理研工業株式会社取締役社長吉見静一
最終株主　古門恒彌
最終所持人　同人

第6353号 物価号外

官報
号外（二）（資格審査）

廣告

◉資格審査結果公告

（自昭和二十三年三月一日至同年三月十五日）

第二十七号

昭和二十三年三月二十二日　内閣官房長官　苫米地義三

一、この表は、昭和二十二年勅令第一号乃至第三号及び同年閣令内務省令第一号の規定による中央公職適否審査委員会の資格審査の結果である。

二、この表は、最も広く公表するものである。市区町村役場がこの公報を受けたならば、直ちにこれを掲示する。この掲示は少くとも一ケ月間継続し、次回の公報を受け取つたときはこれと取換えるものである。取換えた公報はこれを破棄することなく、公衆の参照に供し得るように、市区町村役場に編綴保存する。

三、この表に掲載された者の調査表は中央公職適否審査委員会事務所又は関係都道府県若しくは市の公職適否審査委員会事務所において公衆が閲覧できる。

何人でも、要求すれば前項の調査表を自由に閲覧することができる。

四、結果

中央公職適否審査委員会（東京都千代田区永田町二の一）

審査人員数　五、九九一名

非該当決定人員数　五、九〇四名

審査を受けた公職及びその氏名

○中央各省公職者

総理廳関係

山口　敏之　直原　久夫　飛延京太郎
岡田　正規　林　喜作　八十田正治
島田　秀雄　牛之濱政吉　西　七兵衞
河野　正記　中村　正己　上田　正明
佐藤　善作　神部　寅夫　仲村規矩雄
兵頭　敬三　野添　淺吉　小笹木彫藏
津曲　清次　當永芳太郎　本間　啓
宮地　京藏

外務省関係

德永　太郎　武川　碁

大藏省関係

辻　健三　吉田　敏郎　吉川　盛

法務廳関係

永野　俊英　園部　早苗　佐藤　勝美
大竹晋之助　長谷川　勝　原田　寛
石川重次郎　馬場　長明　高田　久盛
摺塚金四郎　佐藤　善雄　田中　義美
高山　善　梅本　宗吉　大日向義男
竹内　諄平　茂木　盛行　田代　照雄
須田　衞　佐々木要三郎　最相　公平
鵜澤　惣一　大谷　晴敏　大竹　昇
関　之　本橋　豊八　岡崎　格
稲川　龍雄　田中　政義　林　又平
中村　正成　佐々木　巖　宮野　廣正
佐藤　武

厚生省関係

西片　武治　榊原　毅　藤原　嘉夫
亀海　清　岸　壽太　河野不二男
栃木　重雄　永野　秀雄　小河原正太夫
藤瀬乙比古　堀江　正雄　富川　銈治
亀谷　敏治　木村　長平　佐藤　清雄
庄田　二郎　柳澤　安治　谷澤　湊
山城源治郎　三宅　豊一　中村　寅雄
小山内義雄　仲佐川武四郎　味方　正吉
高木　寛　狩野　謙重　東郷　謙
武田　秀治　石津　久　北口　平市
須藤　泰昌　松浦　峯作　岡村　悟郎
川田兼三郎　福井　清作　土谷和一郎
淺見　治平　藤根不二夫　鯛瀨　國一
高尾　宗雄　福田　靖　嶋田　孝
杉本　英樹

○衆議院議員立候補者

廣島縣

松島　彌

○縣会議員立候補者

福島縣

酒井　一雄　風間與左衞門　渡部文三郎
芳賀　百一　酒井　和吉　湯田　幸吉
邊見　文助　星　馬左司　羽染　秀夫
白井源一郎

靜岡縣

望月　眞一　魚住　松巖　望月　佐一
佐野　博一　望月　肇　鈴木　敏一

○別表第二の第六項関係

鎌倉志づ江

秋田木工(株)公職者

山脇茂太郎

日本発送電(株)公職者

小林　盡　藤岡　芳藏

東北振興車輛(株)公職者

鈴木　治吉

○昭和二十二年勅令第一号第四條第二項の規定に基く者

九州日日新聞社編輯局次長（元）　粟田嘉太郎
日本油脂（株）取締役（元）　吉田　文熊

○仮指定に対する異議申立の認められた者の仮指定の事由及びその氏名

大日本武徳会香川縣支部理事長（元）　細谷　喜一
同石川縣支部理事（元）　向井　久雄
同愛知縣支部支所長（元）　杉浦　榮錄
同山形縣支部支所長（元）　石川　喜祐
同宮城縣支部支所長（元）　千葉　亨
同神奈川縣支部支所長（元）　重田　巖
同茨城縣支部支所長（元）　飛田勘次郎
同群馬縣支部支所長（元）　堀越喜久二
同京都府支部支所長（元）　小谷喜代治
同石川縣支部支所長（元）　洞庭　信夫
同愛媛縣支部支所長（元）　森川喜代市
同高知縣支部支所長（元）　淺野　茂
同長崎縣支部支所長（元）　福島　芳一
同　井崎　勘六
同　川野不二男
同熊本縣支部支所長（元）　村木　繁男
同　森川　直紀
同鹿児島縣支部支所長（元）　藤元藤兵衞
同　鮫島　孫十
同山形縣支部支所長（元）　大瀧　龍藏
同大分縣支部支所長（元）　池田　武夫
同三重縣支部支所長（元）　中瀬等之助
同　藤下　和雄
同愛媛縣支部支所長（元）　宮内　勇
同長崎縣支部支所長（元）　村田　末毅
同宮城縣支部部会長（元）　紺野　雅二
同岐阜縣支部部会長（元）　大関　滋水
同高知縣支部部会長（元）　伊藤　隆康
同福岡縣支部部会長（元）　久永　貞男
同宮崎縣支部部会長（元）　尾崎　伊助
同京都府支部部会長（元）　岩崎　六郎
同徳島縣支部部会長（元）　板東　康雄
大政翼賛会本部文化部副部長、本部調査局第三副部長（元）　鈴木　十郎
同錬成局思想部副部長（元）　玉井　茂
同調査局第一部副部長（元）　近藤　儀一
同会計部副部長（元）　両角　信也
同庶務部副部長、協力会議部副部長（元）大日本翼賛壯年團本部理事（元）　粂村　長孝
朝日新聞社取締役編集局長、編集局次長（元）　野村　秀雄
同盟通信社編集局次長（元）　大平　安孝
いはらき新聞社常務取締役、総務部長、経理部長（元）　関　孤円
伊予新報社副社長（元）　大本　俊平
大阪中外商業新報社編集長（元）　横山　甚一
大日本少年團本部編集部長（元）　増谷　文雄
大日本勧學会編集人（元）　武川重太郎
古今書院「地理学」編集責任者（元）　松谷　繁明
誠文堂新光社取締役営業部長（元）　飛田　義正
同雑誌「世界知識」編集長（元）　平野　等
生活社取締役編集主任（元）　前田　廣紀
新潮社出版部長（元）　鎌川與五郎
太平洋協会企画部長、弘報部長名義人（元）　平野義太郎

○陸軍

短期現役出身将校であつた者

階級	氏名	階級	氏名
中尉	藤島　章	少尉	足立　元治
少尉	岡本　俊一	少佐	小島　一男
中尉	折口　忠	少佐	西林　晉
中尉	館　守信	大尉	澤村　寳
中尉	坂本　光彦	少尉	仲上　廣吉
大尉	堀　浩平	少佐	奧園　信義
中尉	大河内健吉	中尉	久田　貢
少佐	宮崎　鉄也	少尉	佐藤　成男
大尉	早川　篤郎	中尉	小柳　寅雄
大尉	延藤　和男	少尉	山添　正雄
中尉	後藤　則夫	中尉	安部　俊作
大尉	村井　信三	少佐	荒木　直衛
中尉	丸山　純一	少尉	安部　正志
少佐	松田　健一	中尉	若林　巖
大尉	瀧田　和夫	大尉	増田　清一
大尉	内田　道雄	大尉	五島　溍
少佐	中川　忠雄	少尉	小川　泉
大尉	長尾　正	大尉	宇野　秀郎
大尉	前島　毅	少尉	青木　一雄
大尉	宮部　勇	少佐	矢島　利雄
中尉	尾登　德麿	中尉	森　重史郎
中尉	小林　茂和	少尉	東　侃
大尉	湯淺　一成	少尉	山内　守
大尉	齋藤　錦一	少佐	前田　弘造
大尉	佐藤　良助	少尉	津田　久之
大尉	小嶋　隆	少佐	本田　諄
大尉	金久　禎記	中尉	佐伯　泰男
少佐	岩瀬　美宏	大尉	北川　武夫
大尉	源田啓太郎	少佐	村越　俊一
少佐	和知　航一	大尉	行方貢次郎
少佐	隅田　力	少佐	越川　伸
大尉	今井　榮吉	大尉	島田　俊之
中尉	白川　義則	大尉	櫻井　惇
大尉	中島　健一	少佐	蔭田二三男
少佐	山野　正二	大尉	小橋　正夫
大尉	緒方　民夫	大尉	岡崎　英彦
少佐	辻　理也	大尉	薄井智香夫
少尉	横山　数芳	大尉	木村　廣
大尉	堀　宏	大尉	伊藤　正雄
大尉	高尾　博良	大尉	山本　克起
少尉	北見　哲郎	少尉	小川　一
少尉	瀬川　義夫	少佐	高木　繁之
中尉	石川　辰雄	大尉	池田　幸雄
大尉	鹿子生和夫	少尉	加藤　大六
少佐	日隅　俊一	大尉	阿部　晴夫
大尉	海佐　芳生	大尉	志満　敬二
中尉	岩澤　仁一	少尉	阿部　富男
少佐	明石　憲男	少尉	並河　進
少尉	田澤　文平	大尉	生熊　徹
中尉	長嶺　義弘	大尉	古川　牧一
少佐	砂堀　千秋	少佐	鎌田　政寛
少尉	木村　善道	中尉	齋藤　道雄
中尉	三澤　義行	少尉	今野　東
少尉	川端　恒雄	少佐	立花　要
少尉	伊藤　恒雄	少佐	村上甚千代
少尉	宮川　光弘	少佐	森　富士雄
少佐	宮川　穎二	少尉	齋藤　明也
中尉	崎野　晃一	大尉	齋藤　佳雄
大尉	中　拓磨	中尉	佐々木忠男

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

三、安田火災海上保険株式会社株式五十株券二十一枚
記号番号　乙自第〇六〇〇号至第〇六一五号、乙ろ自第〇七〇三号至第〇七〇七号
株券額面　金二千五百円也
四、同会社株式十株券四枚
記号番号　丙自第三九六七号至第三九七〇号
株券額面　金五百円也
五、同会社株式一株券二枚
記号番号　丁ろ第一七八一号、丁ろ第一七八二号
株券額面　金五十円也
右三、四、五の各株券は
払込金額　一株に付金十二円五十銭
発行日　不詳
発行者　安田火災海上保険株式会社
最終株主　古門恒彌
最後所持人　同人
六、日本フエルト株式会社第三新株式五十株券二枚
記号番号　ほ第〇三一号、ほ第〇三二号
株券額面　金二千五百円也
七、同会社第三新株式十株券五枚
記号番号　そ自第〇三一号至第〇三五号
株券額面　金五百円也
右六、七の株券は
払込金額　一株に付金三十円也払込
発行日　昭和十八年四月二十日
発行者　日本フエルト株式会社取締役社長宮川敬三
最終名義人　古門恒彌
最後所持人　同人
八、都汽船株式会社株式十株券五枚
記号番号　乙種自第一一号至第一五号
株券額面　金五百円也
払込金額　一株に付金五十円也全額払込済
発行日　不詳
発行者　都汽船株式会社
最終株主　古門恒彌
最後所持人　同人

昭和二十一年（ヘ）第三四〇五号
東京都杉並区馬橋二丁目二百二十三番地
申立人　鈴木　公治
右代理人弁護士　有賀　岩己

別紙目録表示の株券に付申立人の申立によつて公示催告を爲した処昭和二十二年七月十五日午前十時の期日迄に権利を届出て且右株券を提出するものがなかつたから申立人の申立に基いて前期株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月二日
東京地方裁判所
判事　佐野　英雄

（別紙）

目録

一株券種類　日産火災海上保険株式会社株式二十株券四枚
一株券記号番号　丙第一〇〇六号、丙第一〇〇七号、丙第九七六号、丙第九七七号
一株券発行者　東京都麹町区丸ノ内二丁目十八番地日産火災海上保険株式会社取締役社長伊吹震
一株券発行年月日　昭和十四年四月二十八日
一額面　金五百円也
一払込金額　金百二十五円也
一最初の株主　鈴木公治、野本豊
一最終株主名　鈴木公治

昭和二十一年（ヘ）第三三四五号
宮崎市堀川町百十二番地永濱信造方
申立人　永濱ヒデ
右代理人弁護士　佐々木廣宣

別紙目録表示の株券に付申立人の申立によつて公示催告を爲した処昭和二十二年七月八日午前十時の期日迄に権利を届出て且右株券を提出するものがなかつたから申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月二日
東京地方裁判所
判事　佐野　英雄

（別紙）

目録

第一　株式会社日本勧業銀行株式
（一）株式発行者　株式会社日本勧業銀行
（二）同種類及数量　十株券一枚
（三）同記号及番号　中波号一〇九五番
（四）額面金額　五百円
（五）一株金額の及払込額　五十円、旧株全額払込済
（六）取得年月日　昭和十二年二月一日
（七）株式名義人　永濱秀

昭和二十一年（ヘ）第三四四三号
廣島市宇品町昭和通り四丁目
申立人　平尾　貞次
右代理人　糸井　利二

別紙目録表示の株券に付申立人の申立によつて公示催告を爲した処昭和二十二年八月十八日午前十時の期日迄に権利を届出て且右株券を提出するものがなかつたから申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月五日
東京地方裁判所
判事　古山　宏

（別紙）

目録

一証券種類　日本鉱業株式会社株式五十株券一枚
株券記号番号　ほ第五五五一号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長竹内維彦
株券発行年月日　昭和八年九月三十日
額面　金二千五百円也
払込金額　金二千五百円也
最初の株主名　第一徴兵保険株式会社
現在名義人　平尾貞次
一証券種類　日本鉱業株式会社株式十株券二枚
株券記号番号　る自第六一〇五二号至第六一〇五三号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十六年十一月十三日
額面　金五百円也
払込金額　金三百七十五円也
最終の株主名　平尾貞次
現在名義人　平尾貞次
一証券種類　日本鉱業株式会社株式一株券五枚
株券記号番号　を自第八八一八六号至第八八一九〇号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十六年十一月十三日
額面　金五十円也
払込金額　金三十七円五十銭也
最初の株主名　平尾貞次
現在名義人　平尾貞次

昭和二十一年（ヘ）第三四四七号
桑名市大字片町百七十四番地
申立人　水谷　久七

別紙目録表示の株券に付申立人の申立によつて公示催告を爲した処昭和二十二年八月十八日午前十時の期日迄に権利を届出て且右株券を提出するものがなかつたから申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月五日
東京地方裁判所
判事　古山　宏

（別紙）

目録

一証券種類　日本鉱業株式会社株式十株券五枚
株券記号番号　よ自第七五六八一号至第七五六八五号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長島田利吉
株券発行年月日　昭和十八年九月十五日
額面　金五百円也
払込金額　金五百円也
最初の株主名　水谷久七
現在名義人　水谷久七
一証券種類　日本鉱業株式会社株式十株券二枚
株券記号番号　と第二八六二二三号、第二八六二二四号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十年三月二十日
額面　金五百円也
払込金額　金五百円也
最初の株主名　満洲重工業開発株式会社
現在名義人　水谷久七
一証券種類　日本鉱業株式会社株式十株券一枚
株券記号番号　と第二九四六〇号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十年三月二十日
額面　金五百円也
払込金額　金五百円也
最初の株主名　株式会社名古屋株式取引所
現在名義人　水谷久七
一証券種類　日本鉱業株式会社株式十株券一枚
株券記号番号　乙第一一七七五号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十四年三月三日
額面　金五百円也
払込金額　金五百円也
最初の株主名　水谷久七
現在名義人　水谷久七
一証券種類　日本鉱業株式会社株式一株券四枚
株券記号番号　た自第一五四五七五号至第一五四五七八号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長島田利吉
株券発行年月日　昭和十八年九月十五日
額面　金五十円也
払込金額　金五十円也
最初の株主名　水谷久七
現在名義人　水谷久七
一証券種類　日本鉱業株式会社新株式十株券二枚
株券記号番号　る第五六七九一号、第五六七九二号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十六年十一月十三日
額面　金五百円也
払込金額　金三百七十五円也
最初の株主名　水谷久七
現在名義人　水谷久七
一証券種類　日本鉱業株式会社新株式一株券五枚
株券記号番号　を自第八二二一七号至第八二二二一号
株券発行者　東京都芝区田村町一丁目二番地日本鉱業株式会社取締役社長伊藤文吉
株券発行年月日　昭和十六年十一月十三日
額面　金五十円也
払込金額　金三十七円五十銭也
最初の株主名　水谷久七
現在名義人　水谷久七

印刷局

大尉 角田正一
少佐 伊藤光彰
少佐 岡部豊作
少佐 高澤源三郎
大尉 伴暢豪
少佐 伊東祐男
中尉 眞期久
少佐 清藤義夫
少佐 長田達郎
大尉 西村一郎
少佐 上田利夫
少佐 志鎌東総明
少佐 河口忠雄
少佐 山田佐
少佐 山本勝貞
大尉 吉田宣賴
少佐 篠崎雄
中尉 秋山博
大尉 村杉富男
少佐 新田韓男
大尉 石原啓
大尉 甲斐比吉
大尉 橋本節夫
大尉 柳澤弘
大尉 高橋正
大尉 福田稔
少佐 小原武吉
中尉 的場常文
大尉 船山清彦
少佐 日根野克壽
大尉 熊谷吉豐
少佐 馬嶋雄一
少佐 大柴五八郎
中佐 安藤修一郎
大尉 山下松弘
大尉 渡部利恭
大尉 井辺夫
中尉 宮本昂
大尉 北良
少佐 坂峻
大尉 吉田一
大尉 服部善甫
少佐 番場一
大尉 岡新晃
少尉 今村健二郎
中尉 脇本護
中尉 松山洌
少佐 中村瑛一
中尉 矢野正已
中尉 吉田五一
少佐 名倉史郎
中尉 山口直文
少佐 北野茂夫

中尉 杉田泰郎
大尉 宇都宮健
少佐 山崎織
大尉 鈴木克已
少佐 林二郎
中佐 坂本豊
中尉 設谷雄平
少尉 今野惣滋
少佐 東海寺四郎
少佐 田村善朗
少佐 折居正一
中佐 鈴木茂
中尉 飯島厳
少尉 竹内秀夫
少佐 蒲吉次
中佐 柳瀬憲一
少尉 河内拾次郎
大尉 西田重衞
大尉 井上孝吉
大尉 西尾一男
大尉 渡辺久
中尉 北豊
大尉 川角正八
少佐 楠瀬浪男
少尉 加藤惠一
大尉 西浦正輝
中佐 木原滋陽
少尉 松林英雄
少佐 井上健兒
大尉 大亀正志
中佐 塚越昇
少尉 太田正治
大尉 飯塚淳二郎
少佐 阿部正直
少佐 石田八郎
大尉 渡辺三郎
大尉 三浦寛
少佐 仙浪義男
大尉 渡辺泰匡
少尉 河合正恭
大尉 山脇英男
大尉 藤原政訓
少佐 山本英夫
大尉 市岡正美
少尉 朝子慶彦
大尉 小林陽太郎
中尉 久田昌明
少尉 前川蕪
中尉 石黒鉄郎
少佐 平田欽逸
中尉 辻忠雄
大尉 加藤信之
少佐 長友浪男

大尉 松木道入
少尉 山田博
大尉 淀川大助
少尉 内野順弘
少佐 砥見逸治
大尉 宮永政英
少佐 氏家基
大尉 岡部宗雄
少尉 米島正一
少佐 黒澤実
大尉 矢端一郎
少佐 堀江祐司
大尉 豊田元樹
中尉 齊藤虎雄
中尉 堀富之助
大尉 小笠原一男
少佐 岡本正元
大尉 照井孝太郎
中尉 荻原賢晴
少尉 櫻井義郎
少佐 南浦嘉郎
中尉 上村博
大尉 駒場栄一
少佐 神田茂
大尉 木村三郎
中尉 濱田澄三
大尉 島居正次
少佐 中村泰造
大尉 山田與
少尉 小野貞久
大尉 谷野謙
少佐 小林喬吉
大尉 西部行雄
少佐 岡本道生
中尉 近藤平一郎
少尉 久保田重則
大尉 一ノ瀬眞平
中尉 寺田二郎
少尉 秋葉豊明
少尉 大野富久
少尉 澤山功
中尉 平久保豊雄
少尉 種田強一郎
中尉 奴田原正一
少尉 水野谷春米
少尉 杉山大是一
少尉 山田太郎
大尉 高瀬太郎
少尉 山下喜正
大尉 伊丹康夫
少尉 秦藤樹
大尉 吉田泰郎
大尉 金原文四郎

大尉 岡香直彦
少佐 篠原勝
少佐 岩本磐
中尉 永田利滿
少佐 早川清人
大尉 池崎種好
少尉 吉條泰夫
中尉 中村次郎
大尉 久田四郎
少佐 藤戸正康
中尉 長谷川廣吉
少佐 中元寺昌俊
中尉 丸岡清
大尉 原二
大尉 木之下文與
大尉 北村義二
大尉 大橋苑徹
大尉 林孝夫
大尉 村國茂
中尉 岡田正治郎
大尉 渡辺正
少佐 手塚良一
大尉 渡辺彰
中尉 江見喜代彦
大尉 米田好三
中尉 荒木乾
少尉 伊丹康人
中尉 都尾幸男
少佐 太田穰
少佐 山本直輝
少尉 奥谷博俊
中尉 橋本壽三男
少佐 奥原政雄
少佐 石橋杏隣
大尉 森松貞利
少佐 大谷芳武
中尉 中村玄
中尉 中山辰雄
少佐 小澤和夫
少佐 稲見吉次
少佐 川口良平
大尉 井上隆介
大尉 石渡宏
少佐 柏木総吉郎
少尉 柴田清人
少佐 星野日出男
少尉 新妻朝夫
大尉 家形修
少尉 吉田清
大尉 八島聖
中尉 田中健治
大尉 市村敏夫
少佐 名古屋十一

大尉 玉川悟
中尉 醍醐玄卓
中尉 久保田凡
中尉 大八木博夫
大尉 渡辺忠健郎
大尉 松木三男
大尉 高橋邦彌
大尉 中村達雄
少尉 吉井達久
少尉 後藤日夫
大尉 永田奈勳
少尉 坪井吉
大尉 矢端慶郎
少佐 井上一德
少尉 額田義夫
大尉 青木須賀夫
少尉 山本和詳
大尉 帖佐霄人
大尉 嘉納泉武
少尉 遠藤正千
少尉 野口三
大尉 廣瀬良甫
少佐 川村美
中尉 望月正夫
大尉 高木策之
少佐 藤野繁幸
大尉 友納良人
少佐 阿久津典勇
少佐 隅田力
大尉 村中俊明
大尉 光武源太郎
少佐 村上仁勇
中尉 與座嘉次郎
大尉 副島順造
中尉 青水保和
大尉 大北速男
中尉 齊藤俊夫
少佐 江藤重文
少佐 和田種久
大尉 壹岐正治
少尉 小池博
大尉 森勉
少尉 小野澤已
少尉 小笠原政武
中尉 福森英一郎
中尉 千葉喜衞
中尉 藤田兵藏
少尉 眞館初吉
大尉 柏原賢肇
少尉 森山廣
大尉 森洋三
大尉 佐藤章次
少佐 永田盛雄

少佐 井原伸二
中尉 齊藤實
大尉 牧澤義德
少尉 小松健
少佐 鈴木克也
少尉 立田光克
少尉 吉井與志雄
大尉 松田善雄
少尉 湯山政夫
中尉 島正也
中尉 内山隆樹
大尉 足利三明
少尉 三浦淑
大尉 中川政信
中尉 山田寬一
大尉 宮本二郎
少尉 廣江道行
大尉 上野信男
中尉 阿部正昭
少尉 川原泰治郎
少尉 上久保康夫
大尉 上島英義
大尉 都尾幸男
少尉 西原貫次
大尉 片岡省策
大尉 栗原彰
中尉 米山寬
中尉 細谷假
少尉 品川淳一
少佐 池崎種好
大尉 村形友治
中尉 加藤重行
少尉 金澤俊之
大尉 長井保
少尉 假家篤彦
少佐 三浦洋
大尉 岡上三
中尉 村井信夫
大尉 原田重行
中尉 竹山盛秀
少尉 金森服藏
少佐 渡辺政雄
少佐 川羽田不二麿
中尉 山口正德
少尉 難波徹
中尉 中村秀三郎
大尉 西澤木衞門
少尉 高橋五十彦
大尉 太田英郎
中尉 田中一二
中尉 島根光明
大尉 木村昇
少佐 星野久次

中尉 藤山昌良
中尉 谷藤栄次郎
少尉 宮路貞孝
大尉 袴田俊彦
大尉 田尻一郎
大尉 尼子忠久
中尉 平賀久雄
少尉 中島勇三
大尉 池左司重正
大尉 大西典生
中尉 岩崎太郎
少佐 大橋登
少尉 内田平
少佐 碓井司
少尉 千葉博厚
大尉 本岡隆雄

少佐 三瓶鈞
少佐 中野潔
中尉 岩下英熙
中尉 高橋一正
大尉 近藤光雄
少尉 奥島弘一
少尉 高木正記
少佐 小林完一
大尉 佐藤純臣
少尉 青野正人
中尉 室屋博
少尉 高橋文三郎
少尉 岡田昭
大尉 伊東雄二
少尉 日和佐秀雄
中尉 日野義遠

一年志願兵出身將校であつた者

階級　氏　名

少佐 岩崎久常
少佐 後瀬二郎
大尉 島崎櫛
大尉 松本文雄
大尉 旗本春一
中尉 森武美
中尉 安保善太郎
大尉 中川栄一
中尉 江嶋吉太郎
少佐 内田一雄
少佐 中原德次
少尉 苅田利彰
大尉 松井敏雄
少尉 山口與四郎
大尉 藤森秀
少佐 松田浩
少佐 秋根久太
中尉 岡田止
大尉 倉田一郎
大尉 浅水遼
中尉 原三郎
少佐 熊谷清三
少佐 橋口喜夫
少佐 赤堀勝夫
少佐 東政吉
少尉 佐佐木源太郎
少尉 末廣虎雄
少佐 渡邊清左エ門
大尉 氏家東一郎

階級　氏　名

少尉 宮里堯禪
少尉 隅元勝雄
中尉 高瀬軍治
大尉 石橋季雄
中尉 松岡直次
少尉 松井一郎
中尉 塩川潤一
大尉 栗原角太郎
大佐 岩中義雄
大尉 小林康介
大尉 村木勇
中尉 向田林哉
大尉 多田隆
少尉 竹尾餘一郎
少尉 森治郎
大尉 川原有美
少尉 幸枝賴二郎
大尉 池田順教
中尉 大槻太郎
少佐 前窪芳貞
大尉 新賢
少尉 北尾貞太郎
大尉 井村右兵衞
大尉 遠藤朴
少尉 田原惑成
少尉 辻正
少尉 猿野十郎
少尉 小島敏夫
少佐 森英二

一年現役兵出身將校であつた者

階級　氏　名

少尉 小池武夫
少尉 入谷正一

階級　氏　名

少尉 南隆
少佐 増田寅作

幹部候補生出身將校であつた者

階級　氏　名

中尉 佐々木照夫
少尉 杉本守
少佐 小川正光
大尉 上野一郎
少尉 直砂稔
少尉 山下昌
大尉 中野隆治
中尉 渡辺幸雄
少尉 八木嘉一
中尉 川村義之
中尉 三並滋郎
大尉 三浦義雄
大尉 橋本誠
中尉 山口仙三
少尉 細谷信一
大尉 河島義鳳
中尉 梅澤勝三
中尉 大森榮一
少尉 富士森浩生
大尉 入江利夫
少尉 寺岡良一
大尉 坂本正利
中尉 山中治右衞門
中尉 篠崎清
少尉 松倉昌雄
大尉 尾駒浩吉
大尉 柳田健
少尉 久保收
中尉 永井由太郎
中尉 岡本安博
少尉 加藤富雄
少尉 松本淳三郎
中佐 有馬瑞穗
少尉 毛利武德
大尉 山崎茂德
中尉 正岡利行
少尉 山瀬東三
大尉 永井充
中尉 横井惠成
中尉 仲田常行
大尉 中原堯雄
大尉 森島孝夫
少尉 菊池正二
中尉 松井良樹
大尉 池田正信
中尉 乾千陽
少尉 西岡隆與
少尉 [illegible]井榮
大尉 梶山直安
少尉 千原德夫
中尉 町井彥四郎
大尉 高橋忠信
大尉 矢野行雄

階級　氏　名

大尉 太田豐
少尉 築瀬勇
大尉 金枝雄
少尉 小出夫
大尉 櫻山治
中尉 高柳雄
大尉 朝日人
少尉 阿武亮
少尉 安藤暢
少尉 稲永馬
中尉 渡辺覺
中尉 強力郎
中尉 松方武
少尉 一瀬治
少尉 楠原彥
大尉 木村洋
中尉 藤井誠
中尉 山崎寧
大尉 本庄哉
中尉 日下宏
中尉 卜部似
大尉 大谷雄
少尉 小川孝
大尉 片山賢
大尉 安藤傳
中尉 河北嶽
大尉 増水博
少尉 矢島忠
大尉 柴田賀
少尉 座親敬
大尉 吉永郎
中尉 長島彥
少尉 木村郎
大尉 山下孟
大尉 醍井一
中尉 野村正
少尉 百瀬次
大尉 佐野勉
中尉 香月雄
中尉 鈴木介
少尉 平石雄
大尉 横山廣
中尉 西辻夫
大尉 清水治
少尉 安盛勲
中尉 葉田一
中尉 島村信
大尉 加藤大
少尉 長井猪
大尉 岡平郎
中尉 和山道
大尉 神崎要

大尉 梶田康明
中尉 遠藤泰永
中尉 高橋義方
大尉 介川常電
少尉 阿部善隆
大尉 島居正一
少尉 堀井孝栄
大尉 小笠健吉
大尉 武田二郎
中尉 古賀義利
中尉 太田博
大尉 川口俊弘
少尉 古川太志
大尉 新村恭郎
中尉 斉郷利伯
大尉 丸岡源見
少尉 神谷輝識
大尉 四谷武久
中尉 八木重夫
大尉 磯好秀成
中尉 森田辛雄
大尉 塚田辰夫
大尉 荒木利生
少佐 中島土生
少尉 大田黒二郎
大尉 田畑陸雄
中尉 藤原正彥
少尉 宮本邦男
少尉 清水寬義
中尉 田辺文行
大尉 藤井條元
少尉 畑和男
中尉 大西吉乘
大尉 越賀義夫
中尉 中安正雄
大尉 岡部俊典
大尉 柴田嘉一
中尉 市枝信男
中尉 前田正
大尉 谷一政
大尉 宮内仁
大尉 高橋孝実
中尉 三谷政一
大尉 米田地一
大尉 浦田將郎
少尉 植村一
大尉 澁谷武
大尉 鈴木新太郎
中尉 高垣久吉
中尉 若月初彥
少佐 黒澤政雄

少尉 大久保隆治
大尉 石井幸夫
少尉 内田大
中尉 竹田鑿滿
少尉 森村忠政
大尉 甘粕恒雄
中尉 佐竹眞滿
少尉 山本保則
中尉 木村菊藏
大尉 伊藤勇
中尉 手島文太郎
大尉 高安忠則
少尉 大門左右郎
中尉 個田利彥
中尉 今田又四郎
中尉 嶋泰吉
大尉 小笠原一二
少尉 橋本正造
少尉 松島譽
少尉 赤沼三一
中尉 工藤米豐
大尉 高橋人
大尉 宮川幸雄
中尉 前田俊人
中尉 木下清大
大尉 永木靜夫
少尉 國塚通仲
中尉 藤田道行
少尉 西田貞勝
少佐 村上作
少尉 吉木幸優
大尉 新林郎
少尉 中野三男
中尉 松森武義
少尉 星野行雄
大尉 上月善夫
大尉 宮田一雄
中尉 北野敬雄
少尉 黒米市左衞門
中尉 入江宥憲
中尉 柳瀬憲治
大尉 岩本智里
少尉 蜂淵辰男
少尉 山口了
大尉 加賀清三
少尉 岩崎忠秋
中尉 三浦勝助
少尉 林五郎
中尉 猪川育藏
大尉 小松貞一
少尉 村松康利
中尉 木村二郎

大尉 新發田勝美
中尉 小川清
少尉 小川憲順
少尉 近藤文久
中尉 泉次雄
少尉 前原太郎
中尉 船坂実
少尉 堀郎
大尉 石橋吉進
中尉 橋本仁
少尉 久保田長次郎
大尉 小山潤一
大尉 川上毅
中尉 早川栄二
大尉 島田元信
少尉 宮川泉
少尉 杉江忠一
大尉 山木浩三
大尉 赤尾勝吉
中尉 久留靖志
大尉 中十愛藏
少尉 國川六雄
大尉 石川俊也
大尉 小磯太郎
中尉 丸山鉄雄
大尉 淵上孝祐
大尉 東勉
少尉 愛甲道善
大尉 藤崎義隆
少尉 水本之助
大尉 日彥
少尉 高橋一郎
中尉 清水泰治
大尉 花小野正
中尉 井手吉壽
大尉 吉田忠夫
少尉 滝森勇
大尉 有元俊大
大尉 師川賢說
中尉 浅尾森二
大尉 中川成長
大尉 堂園秀德
少尉 百瀬洌
中尉 有村準一
中尉 前島孝一
少尉 生田惠造
少尉 木村勝明
少尉 上之園登
少尉 達野忠人
中尉 鴨川嶽司
中尉 高岡潔
大尉 藤井釋生
大尉 木原何男

大尉 關口一栄
少尉 澤田禮保
少尉 蒲原五郎
大尉 奥村秀功
中尉 中川次郎
大尉 土屋太雄
少尉 渡辺角郎
大尉 森郎
中尉 佐藤常節
大尉 中島男
少尉 森下賢浩
中尉 高山照
少尉 寺瀬好実
大尉 長田法民
中尉 山貞信
少尉 旦昌康
中尉 釜山善二三
少尉 赤尾定郎
大尉 西方時行
中尉 寺畑夫
中尉 坂口才操
中尉 堀清次
中尉 中河三之
大尉 吉川敏二
中尉 財間正夫
大尉 油井徹春
大尉 中山郎
少尉 亀塚一平
中尉 赤澤惟郎
大尉 上山徹隆
中尉 生駒達雄
中尉 波川雄
大尉 瀬尾泰造
中尉 正司國宣
大尉 高橋亮夫
中尉 堀内造
大尉 上田諫俸
中尉 立石志介
少尉 角谷康良
大尉 嚴堅
中尉 末永光弘
中尉 松尾正家
大尉 安島一人
中尉 新原兵喜
少尉 中村市衞
少尉 山田柏
少尉 大浦東
大尉 川路國三
大尉 平澤忠夫
少尉 石浦保夫
大尉 三宅正一
大尉 遠藤豐
中尉 坂手健三

中尉 中森一男
中尉 上田芳一
少佐 佐藤芳雄
大尉 八重樫文夫
中尉 堀田富衞
中尉 立川五郎
大尉 高井芳男
大尉 大野達一
中尉 時田一雄
大尉 大湾幸一
少尉 谷水恒男
中尉 清原幸勝
少尉 篠須嘉勝
少尉 黒田正郎
中尉 本田五英
大尉 長尾長清
少佐 市野夫
大尉 大崎忠弘
少尉 坂義弘
大尉 荒木平三
少尉 吉村惣吉
大尉 藤谷亀吉
少尉 細川映一
中尉 山形文哲
大尉 余語正
大尉 木野和
中尉 古田義
大尉 栗原國丸
大尉 高杉秀也
中尉 保木秀陸
大尉 池田達彥
大尉 山本見斷
中尉 大屋宗郎
大尉 千葉太治
大尉 日高章登
少尉 本間一
中尉 佐藤誠健
少尉 近江次
中尉 及川之
少尉 平野孫郎
少尉 西村博彥
大尉 木村次男
少尉 小野武文
中尉 鈴木智論
大尉 鈴木皎孝
大尉 小森雄
少尉 井上忠郎
中尉 丸山一雄
大尉 渡部孫左衞門
少尉 大鷹丸
中尉 大山敏夫
大尉 中村太郎

少尉 篠原信行
中尉 加々美正
大尉 菅原慶喜
大尉 吉田一照
大尉 東山繁登
大尉 加藤一夫
大尉 河越忠郎
少尉 山口信保
少尉 宮下谷藏
中尉 友成玄
中尉 武居太之
少尉 松本仁司
少尉 沖島卯郎
中尉 野崎流次
少尉 新堀正郎
少尉 小野武雄
中尉 有馬五次
少尉 石井隆計
中尉 中屋主郎
少尉 佐藤太廣
大尉 野尻元夫
少尉 常岡唯郎
少尉 高佐太正
中尉 福德益
大尉 赤峰高
少尉 加々見清幸
中尉 江頭久登
中尉 米谷正夫
少尉 中川正一
大尉 高野春力
少尉 恩地郎
大尉 小西一次
中尉 三浦誠吉
大尉 村川正郎
大尉 渡辺太穗
中尉 倉谷孟郎
中尉 鈴木陽次
大尉 日高次志
中尉 伊藤寅雄
大尉 岩辺春
少尉 木船賴雄
大尉 富永忠夫
中尉 木村岩男
中尉 戸塚子務
少尉 松中治
少尉 橋本修郎
大尉 田草五浩
大尉 菅川治
少尉 稲原高收郎
中尉 松淵堅太助
少尉 大注勇雄
大尉 南瀬連康
大尉 若月之鄉

中尉 安部山中勘右エ門
大尉 可兒瀧吉
少佐 澤田一郎
中尉 松島義保
少尉 加賀美靖生
少尉 加藤智尚
大尉 今井文英
少尉 畝原夫
中尉 樋口賢守
少佐 金澤敏治
少尉 吉江嘉郎
中尉 伊勢谷二一
大尉 松井登
中尉 見野典
少尉 木寺正陸
大尉 水口隆
少尉 北原篤
大尉 小夏雄
少佐 阿部夫
大尉 大井秀夫
少尉 水洗博郎
中尉 高橋一榮
少尉 木間宗巳
少尉 櫻井正夫
少尉 小林龍美
中尉 高水賢藏
少尉 金澤孝
中尉 田村一倫
大尉 佐藤正來
中尉 江口朋勝
少尉 渡辺郎
大尉 藤尾五博
中尉 片山典博
大尉 田子男
大尉 古賀重雄
少尉 増田美練
大尉 加藤三郎
中尉 大園治元常
大尉 牧家博
少尉 大野久
少尉 倉橋祐雄
中尉 福澤好偉
大尉 入田光久
少尉 藪部清
中尉 谷口嘉七
中尉 池田彥
中尉 小川直敏
小尉 渡辺文雄
大尉 山口修吉
小尉 野中栄人
中尉 野坂美孝

大尉 清山小野田正男
少尉 小林直
大尉 蛭田大吉
中尉 村田武治
中尉 土井孟
大尉 前澤永淑
大尉 新山貫
少尉 藤田勳
大尉 松崎次
少尉 宮山憲大
少尉 梶山義德
中尉 堀江重夫
中尉 成井靜平
中尉 辻木金猛
少尉 谷原夫
大尉 吉副俊渡
中尉 宮田治
中尉 浜田康進
少尉 黒野郎
中尉 小崎寺四綱
大尉 外川和一
大尉 太田保男
少尉 江中吉
大尉 田口治要
大尉 山上一
大尉 川島博
少尉 滝野夫
中尉 前田典淳
少尉 南田一
大尉 稲田順夫
少尉 紫田松雄
少尉 松尾健雄
大尉 西尾貞一
少尉 矢ノ下昌郎
中尉 林三已
少尉 吉鋪勝淳
中尉 越智夫
少尉 馬淵幸雄
大尉 阿曽沼文逸
大尉 鎌田陸鄉
中尉 鈴木伸樹
少尉 鷹瀬英茂
大尉 岩坪郎
中尉 大矢四雄
大尉 鎌田光雄
小尉 小野川富夫
中尉 内藤達術
大尉 高木九三
中尉 黒川健吉
大尉 松崎幸輔
大尉 林康緻
大尉 橋本政二

中尉 西村鈴木彥
少尉 高田學
中尉 今村博積
中尉 坂井久信
大尉 野井健次
少尉 寺尾利雄
少佐 大亀元実
大尉 梅原國年
中尉 藤村宗茂
少尉 柴山一
中尉 安田喜一
少尉 久世宗清
少尉 川村二郎
大尉 角田彥一
少尉 福林敬嚴
中尉 平岡二
大尉 今谷涉
中尉 大木宏
中尉 鈴木茂
少尉 高橋秀夫
大尉 春野辰之
少尉 星屋純相
中尉 中木正男
少尉 土田達磨
少尉 畑田憲一
大尉 吉原義郎
中尉 笠井龍雄
中尉 西村重雄
少尉 浅井之正
大尉 坂木次郎
少尉 駒宮敬家
大尉 岡野孝夫
中尉 小林竜一
大尉 赤池二郎
中尉 飯塚秀夫
大尉 山田歸
中尉 船越平
中尉 中山智
大尉 林門順治
大尉 土野勉
中尉 牧野武夫
少尉 若月七顆
少尉 島崎之助
大尉 小嶋集一
少尉 辻井靜夫
少尉 藤景忠雄
大尉 日崎飄三
中尉 岩山廣次
中尉 中山隆
少尉 内田恒夫

大尉 稲村三郎
大尉 緒方學
中尉 西村勝太郎
大尉 大丸谷政治郎
少佐 江尻作太郎
中尉 佐藤正行
少尉 薬師寺市郎左衞門
中尉 山岡仁輔
少尉 川上茂
少尉 武石長雄
少尉 山下秀夫
少尉 織田順
大尉 三好二郎
中尉 門脇庸行
中尉 小野寺恭二
中尉 浅生哲雄
中尉 天宮健次郎
中尉 吉田力
少尉 稲田正秋
大尉 高橋惟元
中尉 高多嘉久
少尉 松尾三
少尉 西澤興作
中尉 大村喜治
少尉 松本敏雄
少尉 泉川穰
中尉 松尾健
大尉 正木松
大尉 山本郎
中尉 原貝一
大尉 清水嘉
少尉 川崎正
大尉 一ノ瀬九十九
中尉 大門逸郎
少尉 久保田德三
大尉 渡部光直
大尉 籠内貞美
中尉 久保川山男
少尉 澁沢良
中尉 松木古郎
中尉 星野勇治郎
少尉 吉屋西元
大尉 三井寬
中尉 杉本正久
大尉 佐藤勉
大尉 仙北禮治
中尉 板橋太郎
少佐 小松浅之
少尉 大場政市
大佐 山本雅康
中尉 高橋邦芳

第6353号　物価号外

少佐 包國 正年
中尉 野尻 健夫
大尉 尾鄕 幹夫
少尉 東畑 豊
少尉 田辺 千馬
大尉 田北 富壽
少尉 宮原 万夫
大尉 正垣 齊
大尉 岡田 忠雄
中尉 森田 四一
中尉 高橋 康浩
大尉 高橋 燦
中尉 渡辺 正信
大尉 熊谷 義一
中尉 木田 春行
少尉 平田 藤彦
中尉 吉田 純一
中尉 佐藤 勝作
少尉 細江 丞
少尉 田中 豊穂
中尉 水野 桃吉
中尉 森木 隆次
少尉 安福 虎一
大尉 平谷 典樹
少尉 井上 由之
大尉 笠川 譲次
大尉 村田 正富
中尉 菅沼 常生
少尉 下村 米雄
中尉 林 茂
中尉 長井 重幸
少尉 福岡 清
大尉 山崎 健治
中尉 伊藤 庸
大尉 田原 喜代太
大尉 岩木 新
大尉 佐々木 重惺
少佐 安藤 晴秋
大尉 白川 美代之
中尉 桐原 仙治
中尉 平井 吉
少尉 土田 勇
少尉 菊池 金文一
中尉 伊藤 醇
大尉 木内 研二
中尉 近藤 豊
少尉 松島 五郎
少尉 東馬 秀夫
大尉 小室 正市
中尉 長岡 定夫
大尉 瀧瀬 喜久利
中尉 大山 泰男
大尉 小倉 嘉承

少佐 池田 泰雄
少尉 新谷 巌
大尉 河原 信勇
少尉 木村 浩
大尉 坂本 徳次
少尉 富田 芳弘
大尉 淺脇 勝
大尉 石川 亀
中尉 石井 國幹
大尉 星野 幸一
少尉 山本 庄二郎
大尉 泉館 留八
少尉 池谷 威
中佐 高田 崇徳
大尉 本田 行春
少尉 石崎 重之
中佐 鳥居 秀行
少尉 伊藤 忠夫
少尉 田中 堯
少尉 星 武夫
少尉 後藤 恕
少尉 齊藤 栄一郎
大尉 谷口 春海
少尉 鞘師 順藏
大尉 與川 弘毅
中尉 菅沼 清
少佐 村上 肇美
少尉 安達 振作
大尉 久米 一男
中尉 多田 清
大尉 上松 忠次郎
少尉 三浦 定雄
中尉 今津 修
中尉 神成 孝一
大尉 山根 守吉
大尉 村田 正美
少佐 權藤 正明
中尉 千田 新八郎
少尉 大喜多 正男
中尉 西村 孝平
少尉 一瀬 武治
少尉 山田 博
中尉 田村 速実
中尉 小玉 栄賢
少尉 西坂 浩
少尉 村上 勇
中尉 西戸 弘
少尉 田中 芳雄
少尉 水田 栄
少佐 田中 乗武
大尉 福川 進
中尉 八幡 敏雄
大尉 稻木 正夫

少尉 千田 清次郎
中尉 野口 恭治
中尉 松田 齊
少尉 浜崎 司
中尉 藤丸 壽
少佐 中 武雄
大尉 澤本 恒雄
少尉 鈴木 純一
大尉 柳田 重郎
少尉 山口 碩
中尉 櫻井 通男
少佐 都築 吉衞
中尉 原 富士雄
中尉 湯淺 庄一
大尉 林 信雄
少尉 小林 茂
大尉 成田 積一
少尉 池井 德藏
少尉 諏訪 一此
大尉 毛利 正範
大尉 太田 作都武
少尉 筒井 六郎
大尉 丸井 要治
中尉 井坂 千明
中尉 武吉 國彦
少尉 池田 正
少尉 種子野 亘
中尉 井木 立也
大尉 勝又 正光
中尉 田島 與志男
中尉 工藤 儀助
大尉 大石 武敏
少尉 杉田 守
大尉 中田 茂夫
中尉 中野 哲次
大尉 石原 貞
中尉 土屋 愛之助
大尉 鐙 四助
少尉 崎村 賢悟
大尉 佐藤 精也
大尉 山添 禎三
大尉 重野 平治
少尉 宮脇 三巳
少尉 浜山 初雄
中尉 庖刀 宗久
大尉 林 太陀雄
少尉 兒玉 省吾
中尉 磯部 実
中尉 鈴木 照雄
少尉 藤田 盛
大尉 佐伯 一美
少尉 稻葉 浩
中尉 石松 和彦

大尉 池田 健三
大尉 柏田 敵雄
大尉 蛯川 傳平
大尉 加藤 定雄
大尉 志田 一
少尉 米元 喜一
中尉 内山 公一
大尉 近持 茂三雄
少尉 青山 弘
大尉 塚谷 熊
少尉 土屋 信作
中尉 中村 春三
少尉 吉野 保男
中尉 金田 隆明
中尉 橋本 安次
少尉 岐 須了
大尉 三浦 銈五郎
少尉 伊藤 準藏
中尉 石井 光德
少尉 坂井 山次郎
大尉 藤原 猛
少尉 大家 正敏
少尉 伊藤 昌吉
大尉 黒岩 若雄
中尉 大場 一郎
大尉 大嶽 作又
中尉 新郷 霞
中尉 内田 善親
大尉 小山 光孝
大尉 小長谷 春次
大尉 勝間 源二
少尉 伊藤 泰
少尉 森 正雄
大尉 松村 昌一
大尉 新村 太郎
中尉 渡辺 敏明
大尉 橋 佐登
大尉 大角 幸一郎
少尉 力武 則
大尉 朝井 清泰
少尉 小川 善雄
中尉 中嶋 栄助
少尉 山下 昇
少尉 林 增三
大尉 岩本 利秋
少尉 永井 敏弘
中尉 阿部 清一
中尉 泉 巳代次
大尉 手坂 彪郎
大尉 鐙 四助
中尉 吉宮 勝
大尉 板東 継
大尉 八木 繁樹

少尉 木皿 哲郎
大尉 遠藤 太郎
中尉 菅野 定雄
中尉 古清水 貞男
中尉 長 正光
少尉 和泉 一郎
中尉 板橋 登
少尉 宍戸 清
大尉 落合 貞
中尉 有木 正雄
大尉 原田 敏行
中尉 近藤 治左エ門
大尉 杉浦 弘一
少尉 中村 英男
大尉 佐藤 誠
中尉 外山 桂朗
中尉 庄子 善三
大尉 小野 久米二
少尉 高橋 秀逸
中尉 上田 正博
大尉 田辺 拓三
大尉 藤栄 徹念
少尉 古賀 勝平
少尉 長猪 熊
大尉 原田 安市
中尉 岩木 菊藏
大尉 蒲岡 栄一郎
大尉 中島 猛夫
少尉 羽場 克
大尉 長瀬 澄夫
少尉 早田 仁
大尉 高守 重司
少尉 田中 正造
中尉 坂手 可甫
大尉 竹内 忠実
大尉 小山 正志
中尉 島津 福一
中尉 塚本 博利
大尉 山本 権次郎
中尉 好宮 滿
大尉 平田 正次
中尉 片山 義郎
大尉 瀧谷 久雄
大尉 山本 恒夫
大尉 山崎 卓
少尉 小谷 美次
少尉 岩本 栄悟一
中尉 田村 亮一郎
大尉 渡部 太郎
中尉 加治 壽一
大尉 高谷 正妙
中尉 篠原 東
大尉 小林 宏

大尉 廣瀬 都
中尉 佐藤 富夫
中尉 長澤 武一
中尉 遠藤 才二
中尉 佐藤 勇
大尉 石原 治夫
中尉 松元 時則
中尉 高坂 義一
[illegible] 西尾 重美
[illegible] 竹林 貞義
少尉 石原 英生
大尉 有田 平
少佐 滿水 三生
大尉 小安 勝雄
少尉 田村 敏夫
少尉 中島 和臣
中尉 千葉 國治
大尉 嚮 義照
大尉 宗片 誠司
少尉 松永 和馬
大尉 槇松 守親
大尉 山木 明
少尉 大喜多 正男
少尉 中瀬古 正則
中尉 黒澤 義明
大尉 曾谷 勝治
中尉 中川 勉
少尉 中島 憲一
少尉 岡部 次男
中尉 蛭子井 茂
少尉 吉田 次郎
少尉 山内 國雄
中尉 槇木 幸泰
中尉 岡本 誠一
少尉 櫻井 和夫
中尉 野中 利三
大尉 阿久井 正治
中尉 成田 敬一
大尉 早川 剛一郎
中尉 豊田 巧
大尉 小松 鎮夫
中尉 千葉 一貫
大尉 上田 國太郎
少尉 内田 宏一
大尉 辻谷 勝雄
少佐 鈴木 政司
中尉 古川 隆昌
中尉 上橋 八郎
中尉 岡崎 憲城
大尉 竹尾 賀邦
中尉 有馬 三則
大尉 河野 俊三
大尉 石井 善文

中尉 佐藤 進
大尉 日高 義公
大尉 木原 正直
大尉 桐村 繁行
少尉 田中 重綱
中佐 城市 豊三郎
大尉 杉浦 豊
中尉 田辺 雍彦
大尉 弓場 竹次郎
中尉 牧山 新次郎
少尉 增田 一男
大尉 江原 達夫
中尉 恩知 正
少尉 阿部 康男
大尉 岩崎 武
少尉 登本 公夫
少尉 水野 富夫
中尉 千種 弘
中尉 西井 宏隆
中尉 宇都宮 毅
大尉 田屋 久男
少尉 小島 文哉
中尉 芹田 要之助
大尉 村岡 一也
中尉 堀田 泰助
大尉 三浦 友三郎
大尉 橋本 順
大尉 進藤 純
中尉 西尾 稔
中尉 柏 恒雄
少尉 三井 一郎
中尉 熊野 [illegible]
少尉 河野 通治
少尉 桑原 透
少尉 柏木 喬
中尉 青木 重治
少尉 吉岡 芳雄
中尉 林 遂
大尉 金井 忠義
少尉 岡崎 忠夫
大尉 曾我 定
少尉 関屋 正美
中尉 外園 源
少尉 長谷川 靜夫
[illegible] 秋田 正典
中尉 水岡 大司
大尉 高杉 清也
少尉 田中 六三
少尉 鬼頭 友夫
少尉 成田 幸一
少尉 森中 健次
大尉 黒田 孝治
少佐 和合 庄二

[illegible] 田中 鉄市
大尉 林 知巳
大尉 大谷 達見
中尉 吉田 茂
大尉 西井 勉
中尉 各務 善雄
中尉 和田 蕭
少尉 田尻 武司
大尉 鷲見 文二
中尉 浦部 壽
大尉 寺岡 良一
中尉 伊藤 忠治
大尉 裏出 太一郎
少尉 河野 裕信
大尉 大川 三良平
中尉 戸坂 忠一
大尉 清水 速雄
大尉 木原 義忠
大尉 間 武麿
中尉 山口 文雄
大尉 吉村 金信
少尉 菅原 宏
中尉 稲葉 秀夫
少佐 高橋 健夫
中尉 目瀬 哲夫
中尉 永井 篤三郎
中尉 石井 立夫
中尉 後藤 喜知
少尉 田中 義人
中尉 山吉 清
少尉 井坪 光一
大尉 酒井 正之
少尉 佐藤 輝夫
大尉 尾尻 天外
中尉 森田 一衛
大尉 松倉 十一
中尉 宮崎 忠雄
中尉 豊田 芳邦
大尉 櫻尾 正
中尉 黒田 蕗
少尉 亘理 誠五郎
大尉 和久田 英雄
少尉 堀江 良哉
中尉 山口 義臣
少尉 山崎 昇
少尉 村松 廣人
少佐 松延 幹夫
中尉 大河内 主計
少尉 白土 一彦
中尉 渡部 博之
中尉 小松 一郎
中尉 垣内 幸次
中尉 須藤 英一

少尉 野間 一男
大尉 行徳 正春
大尉 山本 貞夫
大尉 澤田石 正雄
大尉 花田 寥
中尉 鹿内 軍男
大尉 藤村 隆輔
中尉 秋永 巳之助
大尉 阿部 九電
中尉 村主 源造
中尉 吉本 幸作
中尉 秋岡 純
少尉 和久野 俊三
中尉 大和 泰助
少尉 江口 彦十郎
大尉 田崎 傑
大尉 浦久保 有亮
中尉 上村 三郎
大尉 池田 恒治郎
中尉 鵜飼 信義
少尉 篠原 光雄
[illegible] 堀田 敵安
[illegible] 梁島 清治
大尉 川島 修博
中尉 橋本 秀雄
中尉 箕輪 八郎
中尉 岩本 菊藏
中尉 辻 正
少尉 富岡 健祐
少尉 小岩井 昌彦
少尉 佐々木 良八
大尉 和田 彰
大尉 串田 隆治
中尉 辻岡 茂德
中尉 野々部 義人
大尉 今井 栄一郎
中尉 中村 善衞
大尉 宮木 学
少尉 加藤 護次郎
少尉 見並 民也
大尉 末澤 博
大尉 福岡 安治
大尉 藤坊 喜久三
少尉 佐々木 登
中尉 金野 忠一
中尉 橋川 正嘉
少尉 宗 恒雄
少尉 磯田 兆弘
少尉 佐波 耕平
中尉 飯野 良吉
中尉 菊池 久男
中尉 木原 利夫
大尉 樋之口 榮治

中尉 松本 健次
少尉 大谷 茂藏
中尉 宮川 泉
中尉 立町 芳行
少佐 鹿内 信男
少尉 藤村 正典
大尉 古川 襄
少尉 田中 正隆
少尉 高原 萬壽夫
少尉 松浦 賢作
少佐 佐藤 任一
大尉 富重 実
中尉 清水 浩
少尉 中尾 金秀
少尉 太田 史雄
中尉 浜村 清美
大尉 伊藤 武晴
少尉 酒井 和雄
大尉 中村 篤弘
中尉 疋田 隆平
中尉 久保川 助作
少尉 上松 傑昌
[illegible] 大坂 三郎
[illegible] 梅原 保
少尉 片岡 澤治
少尉 倉田 昌造
少尉 川上 光男
中尉 松中 竹次郎
少尉 寺下 猛
大尉 御堂 龍
中尉 鎌田 英雄
少佐 橋本 博
大尉 中西 勝
少尉 牛島 良次
少尉 樋泉 議稔
少尉 服部 義
大尉 郷 良一郎
中尉 中埜 治成
大尉 吉森 文郎
中尉 内山 弘吉郎
少尉 井川 一臣
大尉 小笠原 正一
中尉 藤野 雄平
中尉 北山 昇里
大尉 丸山 芳門
大尉 井上 太一
大尉 宮松 清幸
大尉 高野 正佐
中尉 津田 哲滋
大尉 岩立 勤
少尉 溝尾 藏
少尉 佐藤 喜代夫
大尉 奥山 敏齊

少佐 樋口 欣二
大尉 福江 守朝
大尉 山田 六郎
大尉 武本 忠康
大尉 吉島 勇三
中尉 大浦 健一
中尉 武石 圭
少尉 相良 一
中尉 川村 秀明
少尉 小松 緑寛
中尉 藤澤 雄
大尉 小檜山 俊夫
少尉 興野 傳一
中尉 高羽 義雄
中尉 深谷 春吉
中尉 壬生 宗臣
大尉 白井 忠保
大尉 後藤 直之助
大尉 古川 一
中尉 福富 九夫
少尉 小川 久健
大尉 高山 久
少尉 嬉山 大平
少尉 岩崎 孝
少佐 高橋 敏夫
中尉 柏木 辰夫
中尉 大塚 正信
中尉 山崎 康閑
中尉 石松 良久
大尉 長谷川 恭二
大尉 中井 清
大尉 縮 一郎
中尉 中永 金彌
大尉 佐藤 豊
中尉 松下 実
少尉 伊藤 一郎
大尉 山口 猛
中尉 石田 重夫
少尉 根本 信次
中尉 齊藤 信吾
中尉 大角 純德
少佐 浦原 清
中尉 早乙女 忠仁
中尉 河本 健二
中尉 宇都宮 收
大尉 山元 登
少尉 川下 正男
大尉 平後園 逸郎
大尉 馬場 利幸
大尉 柴山 英夫
少佐 亀澤 義夫
大尉 前山 実
少尉 高橋 稔

少尉 山下 雄三
大尉 川本 一郎
大尉 宮内 悌一
中尉 廣 金七
中尉 江口 敏治
大尉 藤野 貞二郎
大尉 佐藤 廣
少尉 東 正十郎
大尉 宮脇 文雄
大尉 芳地 敏郎
中尉 八嶋 一夫
中尉 青原 調吉
大尉 馬場 正夫
中尉 加賀美 正孝
少尉 柴山 諦純
大尉 上村 篤義
大尉 淺倉 重廣
大尉 中村 駿夫
少尉 佐藤 晴郎
少尉 顯川 直彦
中尉 柴田 正守
大尉 二之宮 堯雄
少尉 山城 太一
大尉 山本 英雄
中尉 酒井 一二
大尉 重山 房雄
大尉 小野 孟
大尉 石松 惠
大尉 保科 年夫
大尉 荒木 良治
大尉 高本 美津雄
大尉 藤井 秀敏
少佐 栗本 宗平
少尉 中山 宮雄
大尉 高木 幹雄
大尉 野田 廣也
少尉 山田 忠夫
大尉 四宮 芳雄
中尉 山田 俊一
中尉 川野 嚴
少尉 茂谷 郎
少尉 石神久 敏二
少尉 白土 壽滿
少尉 日高 武雄
大尉 中村 幸也
中尉 出口 好彦
少尉 市場 和三
大尉 朝隈 正夫
中尉 椎 一重
大尉 平後園 武志
大尉 杉浦 貞郎
少尉 一瀬 一藏
大尉 小林 初寛

少尉 高橋 與三
中尉 長嶋 駿一郎
少尉 上田 敏雄
中尉 新 正勝
大尉 篠原 茂之
少尉 安山 実
大尉 遠山 実
大尉 福田 安直
大尉 前田 一夫
少尉 秋月 悖
大尉 木下 圭三
大尉 和田 光春
中尉 田城 一二
少尉 野平 順三
中尉 土川 康三
大尉 秋松 武志
少尉 青木 正補
大尉 財滿 鎮雄
中尉 仙田 達郎
中尉 岩本 俊夫
大尉 依田 孝雄
中尉 浜口 政美
大尉 藤森 逸
少佐 秋庭 太郎
少尉 宮城 孝行
中尉 津田 賢三
少尉 大塚 義雄
大尉 德村 忠孝
中尉 柴山 英信
大尉 宮田 寛藏
大尉 松原 福一
中尉 藤田 茂
少尉 大野 義壽
中尉 須川 清一郎
大尉 青塚 正也
少尉 太田 一
中尉 北村 安生
大尉 石崎 僞之
少尉 池田 拾巳
大尉 奥田 喜章
中尉 村田 明生
大尉 鹿田 正剛
中尉 原 末久
大尉 岡田 清治
少尉 田中 理一郎
大尉 菅田 又之丞
中尉 松崎 正隆
中尉 田中 進
大尉 伊福 秀之
中尉 井上 一夫
少尉 吉田 誠治
少尉 高橋 平三郎
大尉 紋香 清三

大尉 永井 嵩
大尉 上嶋 長実
大尉 西代 義一
少尉 原之園 忠則
中尉 戸苅 秀和
中尉 宮武 勝行
大尉 溝口 英
大尉 前田 勳
中尉 西原口 彪寛
大尉 長崎 富造
大尉 外山 一郎
少尉 頓花 長三郎
中尉 大平 正郎
大尉 前田 正夫
中尉 中島 秋
大尉 堀山 莊迪
少尉 豊島 一
大尉 小林 清
少尉 長谷川 康文
中尉 八木澤 吉男
大尉 十河 清
中尉 大川 俊夫
大尉 須田 忠譽
少尉 寺石 栄達
大尉 松崎 忠
大尉 粟田 數雄
中尉 鳥居 安高
少尉 松浦 干城
中尉 田中 元
中尉 大野 裕史
中尉 岡島 栄太
中尉 石山 德多
大尉 不破 義樹
中尉 川水 義勝
大尉 吉田 力
大尉 石川 栄
少尉 白井 実
中尉 兼久 邦夫
中尉 村田 勳
大尉 大槻 亮
中尉 伊藤 良彦
大尉 竹内 行信
中尉 仁禮 義智
大尉 土木 源太郎
少尉 重山 忠明
大尉 寺山 清
中尉 石渡 義一
大尉 高田 理貞
少尉 利倉 修三
少尉 久野 実
少尉 松田 英一
大尉 大山 清一
中尉 佐藤 正吉

少尉 手塚 美貫夫
少尉 蜂須賀 隆
少尉 一色 英雄
大尉 大野 勇藏
中尉 御子柴 澄男
少尉 荒木 一雄
大尉 神野 導夫
少尉 岩倉 良一
少佐 谷口 善一
中尉 岡島 千秋
少尉 笹尾 邦夫
中尉 片山 義明
少尉 小栗 威雄
中尉 松木 誠
中尉 佐治 健治郎
少尉 橋爪 吉五郎
中尉 青柳 清志
大尉 家島 良治
大尉 本郷 文男
中尉 丸山 忠弘
大尉 杉浦 泰正
大尉 澤 孝
少尉 村上 武貞
大尉 河村 千秋
少尉 上村 貞三
中尉 秋元 寅雄
少尉 岡田 宮之助
中尉 竜田 流
中尉 藤波 義英
少尉 中野 友次郎
大尉 園田 修
少尉 安藤 公夫
大尉 両木 倍造
少尉 牟山 実
大尉 塩澤 正三
中尉 大脇 成一
少尉 戸田 秋夫
中尉 金田 芳美
少尉 高田 三郎
中尉 大出 定夫
中尉 齊藤 金作
大尉 小島 玉二
少尉 丸山 卯勝
大尉 小峯 繁二
中尉 澄川 一郎
少佐 廣瀬 富雄
少尉 三浦 正孝
少佐 中野 俊三郎
大尉 望月 仁三
大尉 山中 史郎
中尉 松岡 修三
中尉 稻見 造
中尉 大崎 調

中尉 馬場 繁雄
少尉 武田 眞哉
中尉 竹下 正三
中尉 大空 茂男
少尉 松田 佐平
少尉 富田 瑞穂
少尉 高井 道輪
少尉 黒山 耕助
大尉 岩滿 武明
中尉 前山 光雄
中尉 北原 耕一
大尉 菅原 明道
中尉 古谷 正寅
中尉 田辺 正雄
大尉 山形 不二男
少尉 岡野 茂
少尉 佐賀 敏一
大尉 伊東 學
少尉 浜野 博
中尉 渡辺 仙治
中尉 吉川 康三
大尉 松本 政徳
少尉 迎 和親
少尉 大山 善治
少佐 中村 末雄
大尉 上田 重春
少尉 肥沼 重義
中尉 横山 達雄
中尉 佐藤 惠
中尉 中野 弘文
中尉 上村 俊一
大尉 久保 宗男
大尉 及川 実
大尉 六車 秀賀
中佐 遠藤 一郎
少尉 向井 恒吉
少尉 宮岡 悠
大尉 長細 宗喜
少尉 松田 芳雄
少尉 山田 信夫
大尉 市村 勇
少尉 村山 幸松
中尉 村元 久雄
大尉 中野 貞雄
大尉 今岡 吉岡
少尉 大久保 義武
少尉 荻原 弘毅
中尉 兼平 竹次郎
大尉 横塚 保
大尉 甘利 賢一
少尉 堀切 隆
少尉 阪井 一吉
少尉 菅原 武彌

少尉 見野 登
大尉 山王 博
大尉 伊藤 重信

特別甲種幹部候補生出身の將校であつた者

階級　氏名
少尉 瀧澤 雅英
少尉 伊藤 正志
少尉 太田 一彦
少尉 猪江 乙二
少尉 中原 庫太郎
少尉 田代 親義
少尉 下田 薫
少尉 兼類 英範
少尉 小林 君夫
少尉 阪口 良平
少尉 小坂 粂造
少尉 日名地 誠
少尉 内藤 大作
少尉 岡山 信一
少尉 竹花 小太郎
少尉 成谷 禎造
少尉 牛澤 光郎
少尉 森中 福松
少尉 胡霧 功
少尉 鈴木 弥市
少尉 青柳 正
少尉 茂木 豊
少尉 柳 富士雄
少尉 小林 芳郎
少尉 吉田 紘一
少尉 宮下 襄
少尉 見並 善忠夫
少尉 蒲田 敬一郎
少尉 山田 稔
少尉 岩井 毅
少尉 瀧谷 次郎
少尉 小倉 文雄
少尉 片山 敏夫
少尉 梶谷 俊藏
少尉 小島 禎次
少尉 安住 善太郎
少尉 高橋 良男
少尉 山下 尚夫
少尉 吉崎 弘
少尉 三輪 信一
少尉 田澤 八十彦
少尉 前山 賢一
少尉 塚崎 進
少尉 中橋 頼田
少尉 石川 勝美
少尉 黒原 猪久夫
少尉 新井 邦夫
少尉 飯塚 義一

階級　氏名
少尉 堀 保
少尉 北面 弘
中尉 下村 一登
少尉 清水 康男
少尉 水野 律
少尉 岩本 哲夫
中尉 御園 修作
少尉 福屋 鉄男
少尉 田中 保
少尉 吉田 省三
少尉 鈴木 康治
少尉 森 保
少尉 大澤 斐夫
少尉 中西 一樹
少尉 松岡 光義
少尉 藤田 价浩
少尉 藤井 純吉
少尉 城谷 義人
少尉 鈴木 繁富
少尉 飯田 九十九
少尉 櫻井 久男
少尉 月岡 仲幸
少尉 白神 敏
少尉 宍戸 繁夫
少尉 前川 三郎
少尉 大澤 亮太郎
少尉 中村 優
少尉 眞島 三郎
少尉 柳瀬 純夫
少尉 小川 正巳
少尉 善槇 薫
少尉 鈴木 実
少尉 中間 幸夫
少尉 三浦 信次
少尉 神竹 清人
少尉 宇都宮 清馬
少尉 岩佐 光郎
少尉 吉田 秀男
少尉 酒井 幸治
少尉 谷治 保
少尉 小泉 三千三
少尉 青山 秀夫
少尉 富永 昌佐
少尉 佐伯 義寛
少尉 石田 俊雄
少尉 東根 清藏
少尉 坂木 友幸
少尉 門脇 智則

少尉	詠村光典
少尉	石川雅男
少尉	藤田季夫
少尉	高橋敏泰
少尉	神谷直稔
大尉	三浦秀逸
少尉	伊藤剛
少尉	佐藤健一
中尉	三輪昌平
中尉	鮫島重和
少尉	指方知彥
中尉	工藤仁
少尉	吉澤貫一
少尉	岸上政明
少尉	中島駿一
少尉	合田正行
少尉	渡辺剛
少尉	臼井一雄
少尉	松木可也
少尉	横田正之助
少尉	阪根定雄
少尉	松本耕助
少尉	杉山汜雄
中尉	田沼喜四郎
中尉	大内健夫
少尉	福島正康
少尉	山田義顯
中尉	松元弘
少尉	森谷春雄
少尉	松木可也
中尉	高橋聖
中尉	佐藤良藏
中尉	堀泰典
少尉	嶺井松榮
少尉	近藤善二郎
少尉	鮫島太洋
少尉	山崎弘教

文官より轉官した現役將校であつた者

階級	氏名
少佐	林三郎
大尉	大柳榮隆
大尉	百溪計助
大尉	山口元雄
大佐	尾山秀雄
大尉	桑內茂
中尉	柳川清
大尉	岡澤基就
大尉	山口達夫
少佐	玉置威德
少佐	山本直成
少佐	長尾六郎
少佐	笹原仁兒
大佐	市野信治
少佐	伊藤一正
大尉	坪井信二
少佐	相馬克已
少佐	宮沢勝次郎
大尉	橋本良樹
大尉	石倉善一
大尉	淺川忠夫
少尉	吉田武雄
中佐	時山孝一
大尉	向坂孝
少佐	大淮忠治
大尉	前田俊彥
少佐	島崎清
少佐	宇田川作太郎
大尉	作木鉄藏
少佐	秋光健一
大尉	中島士郎

階級	氏名
少佐	岩佐勳
大尉	平社武得
少佐	藤山武
大尉	花平祀敏隆
大尉	佐々健夫
少佐	岡修
中佐	塚本東吾
大尉	東醜男
少佐	土肥謙三
中佐	武田修治
少佐	松岡重一
少佐	田中茂
少佐	中瀨潔
中佐	宮原芳興
大尉	林貞雄
少佐	田中簡之助
大尉	小林房次
少佐	小野田潔
大尉	田之上修
大尉	德田光彥
大尉	早瀨茂好
軍曹	杉山淳
大佐	押上昌喬
中尉	田中收
少佐	遠藤富雄
大尉	小松源逸
中佐	川井亮
少佐	大場末男
少佐	斎藤富三
大尉	見城常德
大尉	高野博

中尉	渕上與二
大尉	清水貞夫
少佐	平池省三
少佐	赤岩六二
少佐	小林美登
少尉	向和夫
大尉	鈴木太郎
大尉	辻村肇
大尉	佐藤邦夫
大尉	田上惇
少佐	杉山成充
少佐	作繁雄
少佐	野々山利政
少尉	遠藤長次
大尉	梁瀬仁
大尉	雨宮高知
大尉	野上彥三
大尉	大野顯雄
少佐	澤木弘正
少佐	菱刈実哉
大尉	笹原文雄
少佐	我妻輝夫
大尉	坂田明
大尉	菅久親一
大尉	中村孝次郎
少佐	渡井孔三
大尉	中山肇
少佐	梅木芳雄
少佐	岡野一良
少佐	大内秋三
少佐	中島敏
大尉	内山光雄
大尉	小林又一郎
少佐	坪井隆祐
少佐	原澤東吾
大尉	巨勢寛
大尉	石田秀宏
中尉	吉田春造
少佐	栗原三郎
少佐	杉山和夫
中尉	青垣内正
少佐	難波信一
中佐	金子一次
大尉	長谷倫夫
中佐	日高義則
大尉	室谷秀次
少佐	高橋與四松
少佐	川嶋賢澈
大尉	古賀文二
少佐	藤原主稅
少佐	日根宏
少佐	村瀬達
大尉	小沼廣人

少佐	山數弘一
大尉	瀬下亮德
大尉	岩田進太郎
大尉	山本行寛
少佐	服部久生
大尉	若林享
大尉	田窪忠美
大尉	山本仁
少佐	小林雄次郎
少佐	安藤芳雄
少佐	大塚隆司
大尉	小島守一
大尉	木内雅樹
少佐	小野勝雄
少佐	吉田正
大尉	永末俊二
少佐	近藤良策
少佐	在田勉
大佐	福川秀夫
大尉	亀谷順七
中尉	中川一成
中佐	小川太郎
大尉	山田博次
大尉	高村由基
少佐	加藤秀夫
少佐	深野稔
大尉	永田秀雄
中尉	竹之内為治
少佐	金成利男
大尉	畑軍元
大尉	後藤泰雄
少佐	小山秀
大尉	三村弘
少佐	吉田健雄
大尉	小笠原一男
少佐	藤沢秀雄
少佐	岡崎永久
少佐	高村永喜
少佐	今村清次郎
中佐	石田賢造
大尉	西井勉
大尉	村尾猛
大尉	樽見芳次郎
少佐	山田良民
少佐	櫻井平八郎
大尉	島山実
大尉	田代岩雄
少佐	須藤行義
大尉	澤田鉄雄
少佐	加藤晉輔
少佐	神田倬三
大尉	増島一
少佐	鈴木昌平

大尉	宮川峯雄
少佐	佐藤達也
少佐	吉村昌光
少佐	清川良德
少佐	北園鎮夫
少佐	山崎由一
大尉	松田二郎
中尉	佐藤武
大尉	貝腰一久
大尉	若林元光
少佐	永井博治
少佐	加藤政雄
大佐	稲葉榮
少佐	小谷美一
少佐	松平維石
少佐	加藤和平
少佐	岩上金三郎
大尉	山口文雄
大尉	白石昌美
大尉	高橋勛左右
少佐	堀田勝一
少佐	山口高雪
大佐	村上蔣六郎
少佐	田中敬一
少佐	佐藤秀夫
大尉	西山忠夫
大尉	渡辺義雄
大尉	三中節雄
大尉	渡辺將之
少佐	武藤彥太郎
大尉	遊佐正三
大尉	斎藤鐘次郎
中尉	尾崎弘
大尉	山野内光雄
少尉	佐々木博
少佐	中村仙司
大尉	小谷英男
少佐	牧野恒光
大尉	伊藤整
大尉	松山達雄
大尉	本郷敏
少佐	平岩勇武
中尉	山本一
大尉	石田幸郎
大尉	藤川健次
大尉	黒羽芳男
少佐	上野三郎
少佐	北村秀治
少佐	本多喜市
大尉	橋本正五
少佐	村松康次郎
大佐	山田櫻
大尉	伊藤博通

大尉	白石不繼夫
大尉	纐纈武治
少佐	三好吉忠
少佐	松田清隆
少佐	上山基明
少佐	稲森英治
少佐	吉村正道
大尉	寺門茂
少佐	星野健彥
少佐	酒田文右衛門
少佐	矢野壽一
少佐	高野貞逸
少佐	浮田祐吉
大尉	早川勳
少佐	氏家孝之
少佐	山崎雄三郎
大尉	大崎洋三
大尉	三島一郎
少佐	飯田弘保
中佐	吉山虎彥
大尉	斎藤正英
少佐	小林守
少佐	眞野國夫
大尉	山本恒久
少佐	松村秀松
大尉	中邨健次
少佐	斎藤脩藏
大尉	高橋清一郎
中尉	三田重一
少佐	渡部武
少佐	妹尾篤
少佐	神谷桂一
中尉	大北日出治郎
大尉	早房長幸
大尉	皆川勝慶
中尉	大塚和孝
大尉	松岡直幸
少佐	片岡嘉夫
少佐	夏目五十男
大尉	木村茂男
少佐	松崎宗康
大尉	羽原靖逸
大尉	渡辺一夫
少佐	高橋俊二
大尉	加國利雄
少佐	吉田非一郎
大尉	松野豊
大尉	丸山光夫
大尉	深海忠雄
少佐	長沼正雄
少佐	大槻俊郎
大尉	内山敬夫
大尉	大場安治

大尉	吉村重光
大尉	勝谷時雄
少佐	西田良知
大尉	佐藤正弘
少佐	妹尾良三
大尉	吉田賢吉
大尉	林三郎
少佐	仁藤信次
中佐	内藤豐三郎
少佐	竹下俊雄
少佐	北村秀治
少佐	楠敦彥
少佐	嶋崎伸一
少佐	生熊鐵司
少佐	卑木增藏
少佐	鶴巻義忠
少佐	安藤通一
少佐	鈴木博
少佐	村手安夫
大尉	高城尚孝
大尉	市川綾
少佐	山崎松之進
大尉	深見繁苗
中尉	國友一正
大尉	清水重樹
少佐	川辺哲郎
大尉	岸谷嘉男
大尉	島村信重
大尉	池上輝夫
大尉	福田三輝
大尉	柴山禮太
少佐	秋山二郎
大尉	古林嘉
大尉	大崎保司
少佐	小合康長
大尉	田中靜夫
大佐	津村幹三
少佐	笹井四郎
大尉	渡辺重信
少佐	佐藤雅夫
少佐	青木蔬一
大尉	伊藤務
少佐	高山榮
大尉	北見永三郎
少佐	柴沼昇

大尉	田中昭
少佐	小林光雄
少佐	阿部尚雄
少佐	古澤喜一
大尉	永田旭
少佐	山田新助
大尉	鈴木一央
大尉	瀧脇重信
大尉	金子忠夫
大佐	黒山恒太
少佐	河合正雄
大尉	遠藤弘
少佐	小沢金邦
少佐	浜浦勉
大尉	中西政壽
少佐	藪内一六
大尉	岡山義男
少佐	小崎正武
大尉	松嶋鑑
大尉	大和誠治
少佐	長島義人
大尉	蛭川忠光
大尉	槇田勝
大尉	青柳芳夫
中尉	石井壽藏
大尉	笹川謙次
大尉	中山義丸
少佐	西尾正次
大尉	清水康太郎
大尉	三村忠雄
少佐	武田元美
少佐	沼倉珍彥
大尉	磯田三郎
少佐	難波勝馬
少佐	黒柳作治
大尉	竹本節三
大尉	古橋陳一
大尉	木村博
少佐	斎藤一之
大尉	渡辺理
大尉	本橋啓
大尉	本岡功
大尉	深見繁苗
少佐	外谷富勝
大尉	岡田謙藏

大正九年以前の軍医將校

階級	氏名
大尉	中保恭一
中尉	小柳千足
大尉	竹下一三

階級	氏名
大尉	福井文俊
中尉	志村正三

昭和十六年十二月八日以降委託学生又は委託生徒に採用された將校であつた者

階級	氏名
大尉	佐藤圭
中尉	窪田豊
大尉	佐々木亀之衛
大尉	五味敏高
中尉	佐藤仙治
中尉	青澤勉
中尉	上野勳
中尉	田井澄雄
中尉	中山堅一
中尉	金子欣一
中尉	植田憲之
中尉	吉田長夫
中尉	眞田保夫
中尉	本庄久夫
中尉	永井仁
中尉	西山実
中尉	臼井克已
大尉	日高正夫
中尉	宗像元介
中尉	赤岡純
大尉	佐々木德一
大尉	野村義夫
中尉	近藤延雄
中尉	南和助
中尉	加藤弘
中尉	千千和優雄
中尉	鈴木兵一
中尉	宮里善一
少尉	山村良明
中尉	村瀬增弥
少尉	永山盛敏
中尉	高見嘉一
中尉	坪内保典
中尉	畑中勝衛
中尉	味村四郎
中尉	國武道昭
中尉	櫻井博之
大尉	須之内楯三
少尉	鈴木茂
中尉	大津惇
中尉	西脇六郎
大尉	鷹木清
中尉	森作二郎
中尉	野原正久
大尉	伊田一善
大尉	川田泰雄
中尉	三輪隆
中尉	野村諦太郎
少尉	武田哲
中尉	中尾主一
中尉	佐藤文一
中尉	小暮尚太郎

階級	氏名
少尉	原聖
少尉	齋藤幹夫
大尉	金丸清彥
大尉	守屋高德
中尉	都淳一
大尉	石橋孝夫
中尉	花輪經男
中尉	小林昌樹
中尉	松野清
中尉	光永正夫
中尉	斎藤英二
中尉	市川和夫
中尉	小原宛
中尉	木地俊二郎
大尉	川崎晃
中尉	吉田昌平
中尉	片山尚雄
大尉	淺尾質
大尉	栗原明生
中尉	稲木均
大尉	岡村久雄
中尉	眞野清太郎
中尉	南部清
中尉	松原五男
中尉	大久保正道
中尉	花咲博
少尉	黒田宏
大尉	山下芳男
大尉	岡正健
中尉	吉田孝夫
中尉	清水信一
中尉	小林敏郎
少尉	三好徇二
中尉	小島淳三郎
少尉	松浦正隆
大尉	越智隆多
中尉	仁科博
中尉	中江光
中尉	牧野雄
中尉	稗田嘉稔
少尉	奥津重
中尉	榊原一策
中尉	熊谷秋久
中尉	德田力
大尉	島津正
中尉	閑晃
中尉	三浦正
中尉	土居二良
中尉	高瀬愼三
大尉	森昇
大尉	大塚克已
中尉	藤井磐根

中尉	西川光彥
中尉	渡辺正泰
大尉	菅居茂夫
少尉	潮島讓一
中尉	中川安房
中尉	三輪親光
大尉	砂田政治
中尉	石井欣二
中尉	庄田直寛
大尉	森実健夫
大尉	有村忠夫
大尉	雪下新正
大尉	武田実一
中尉	齊藤二郎
中尉	高橋正
大尉	澤田光英
大尉	相良裕一郎
中尉	宮田忠宏
中尉	権藤高春
中尉	久松春水
中尉	井上新二
中尉	宮崎正晴
中尉	板東正
少尉	瀧本幸朗
中尉	田中一雄
中尉	武田功
大尉	吉村克郎
中尉	山下定幸
中尉	小倉正美
中尉	山田岩雄
中尉	西内光夫
大尉	西依司
少尉	寒川貞雄
中尉	永田邦夫
中尉	伊藤健一郎
中尉	内野雄一
大尉	高垣榮之助
中尉	石原三千雄
中尉	牧角一榮
中尉	加藤定
大尉	松本忠
大尉	梶川豐明
大尉	栗原俊文
中尉	中本二郎
中尉	築山嘉三郎
大尉	高田雅陽
中尉	木田武男
大尉	高橋榮一
中尉	渡辺博恭
大尉	関根要藏
中尉	中村正直
中尉	橋本重輔
中尉	茂木久雄

中尉	成清磐城
中尉	德田好道
中尉	常廣芳一
中尉	鈴木新平
大尉	伊藤芳明
中尉	野上祐徹
中尉	古谷潔
中尉	津田秩文
大尉	染野楨
中尉	長谷川嘉雄
中尉	輪千正
中尉	中原道彥
中尉	長澤正夫
中尉	若林健二
大尉	甲斐泰
少尉	渡辺邦彥
大尉	北澤正雄
中尉	大角英男
中尉	明見牛三
大尉	北島善行
少尉	山口文雄
大尉	齊藤晋五郎
中尉	前川滿
少尉	畑五郎
中尉	木下利夫
中尉	岡本武彥
中尉	增井康夫
大尉	屋鋪孝樹
中尉	大場勝
少尉	堀内淳志
中尉	十川覺
中尉	平林仁市
大尉	田頭賴二
少尉	森田寛
中尉	早坂長七
中尉	岸之上安花司
中尉	小原亮一
中尉	南俊美
中尉	水主俊雄
大尉	竹越亨
大尉	山本有三
中尉	小島利明
中尉	渡辺禎二
中尉	戸塚治雄
中尉	北神壽男
中尉	山内緻夫
大尉	川崎茂夫
中尉	郷田雍成
大尉	鈴木喜一
中尉	佐井重三
大尉	田口榮
大尉	山崎隈二郎
大尉	橋本時一

中尉	海部芳男
中尉	森惣三郎
少尉	林超
大尉	外島尚忍
中尉	佛性文道
中尉	依田茂弥
中尉	森山平
中尉	納田康互
大尉	大野哲雄
中尉	塚本應
大尉	竹内巧
大尉	松本博
大尉	篠田幸次
中尉	野間信明
大尉	米山平
中尉	谷村元
大尉	加藤木秀行
中尉	時田文藏
大尉	宮崎惇
中尉	阿部伸
中尉	高木平八郎
中尉	杉浦乾
大尉	小野武朗
大尉	横田忠明
少尉	西森清明
中尉	佐藤信
中尉	都築彥吉
中尉	廣瀬義雄
中尉	汐見福
大尉	村上知久
中尉	峯川三郎
少尉	木村安男
大尉	向井國男
大尉	高橋聰史
大尉	山田幸男
中尉	佐藤猛
大尉	清水史郎
少尉	尾形學
大尉	川上睦水
中尉	柏谷昌一
中尉	酒井平一
中尉	永井弘
少尉	久山清
少尉	井上敏雄
少尉	渡辺高
少尉	田原哲郎
大尉	早川毅
中尉	前田正三
中尉	久村欽一
大尉	磐城計一郎
中尉	鈴木実
中尉	安東敏
少尉	大坪朝雄

中尉	千賀英作
中尉	秀嶋卓
中尉	船越福平
大尉	佐野光男
中尉	大井輝雄
中尉	岸野滿一
中尉	吉川正水
中尉	江崎登
大尉	川辺恒一
少尉	松田博
中尉	黒川乙隆
大尉	上山常孝
大尉	福井孝治
中尉	池田延雄
中尉	齊藤雅男
中尉	太田弘
中尉	井上宇市
中尉	藤原欽也
中尉	諏訪彰
中尉	中野三千代
中尉	鈴木達朗
中尉	坂本武
大尉	小所善次郎
中尉	小根森哲夫
大尉	鈴木敏之
中尉	長谷川参二郎
中尉	八木麿保
中尉	大志毅
大尉	平塚公治
中尉	高瀬榮
中尉	久場重民
大尉	小林正弘
中尉	木間章介
中尉	山本大作
大尉	副島章
少尉	長棟久生
中尉	青山龍一
大尉	桑原登一郎
中尉	二子石廣猛
大尉	戸田光敬
中尉	御所十四郎
中尉	中山孝之
大尉	布川博
中尉	佐藤光男
中尉	一杉鉄三郎
中尉	外山正信
大尉	梅澤裕
中尉	山川米一
大尉	渡辺惣一郎
大尉	本永秀彥
中尉	竹吉靖男
中尉	伊藤邦作
大尉	石井四郎

[illegible]

第6353号　物価号外

中尉 高志勤
中尉 仲嶋正之
大尉 高橋敏郎
中尉 磯田安夫
中尉 錢谷喜四男
中尉 星幸夫
大尉 若林敏夫
中尉 榎本雄二郎
中尉 坂本徹丸
大尉 横田徳郎
少尉 村井守
中尉 小川幸男
中尉 片山卓秀
大尉 平子義夫
大尉 樋上敬一
中尉 中村吉隆
中尉 石山英夫
中尉 原田茂廣
中尉 宮田晴吾
大尉 高田宗雄
中尉 松永光一
中尉 江原秀夫
大尉 坂本學
大尉 肥後正典
中尉 竹田誠
中尉 見崎幸人
中尉 大貫忠兵衛
大尉 鎌田孝雄
大尉 井戸信一
中尉 中原道彦
中尉 小柳茂治
中尉 丸山佐吉
中尉 中島勝二
中尉 久村哼忠
中尉 本庄孝造
大尉 北尾章
中尉 川崎亙
大尉 山本正義
中尉 安藤金俊
中尉 竹田重和
中尉 横山國男
少尉 久富一已
中尉 松井清治
大尉 廣瀬胖
少尉 龍野昭
少尉 藤澤義一
中尉 檜恒二郎
中尉 淺田啓治
大尉 楢瀬靖彦
中尉 黒須五郎
中尉 下川弥吉
大尉 那須愼平
大尉 西村二三

大尉 角田寛
中尉 木村謙三郎
中尉 名村正雄
中尉 米島隆一
少尉 工藤功
中尉 小池壽男
大尉 福田吉明
中尉 笠原剛三
少尉 山崎義夫
中尉 成瀬敬一
中尉 豊田鉱
中尉 松田雄吉
中尉 清野蔀
中尉 近藤正雄
中尉 樋口多喜男
中尉 石原隆三
中尉 榎本彰
中尉 村越憲一
中尉 田市公司
中尉 市川信太郎
中尉 石川忠義
大尉 大崎光雄
少尉 関重博
中尉 荒木壽
大尉 松本誠一
中尉 武田謙
大尉 三井美澄
中尉 加藤常行
中尉 池田憲三
中尉 葛西敏男
中尉 中島保彦
大尉 菊次賢一
中尉 小林謙三
中尉 山田敏夫
大尉 江崎健一郎
大尉 城崎駿一
中尉 米澤大造
中尉 岡野重興
中尉 助川卓雄
大尉 堀政樹
中尉 久村三希夫
大尉 高橋享
少尉 越元実
大尉 堀遠水
中尉 瀬川明
少尉 寺尾和三
中尉 松岡誠郎
大尉 藤田穣
中尉 長尾満
中尉 高橋敏直
中尉 横川次男
中尉 小林康祐
大尉 平手秀夫

中尉 松谷功
中尉 氏原徳男
中尉 高橋勤
少佐 佐々木貞三
中尉 奈良孝
中尉 石川芳二郎
中尉 永井信男
中尉 岸本弘平
大尉 三浦修
大尉 石塚武
中尉 足澤榮
大尉 中原大八郎
中尉 浜谷俊一
中尉 高山光二
大尉 二木道郎
中尉 西山靖夫
中尉 守康則
中尉 前田立身
大尉 高橋光雄
中尉 槙田儀芳
中尉 清水博
少尉 片瀬進
中尉 大川欽男
中尉 青柳喜男
大尉 雨宮春彦
大尉 倉重愼富
中尉 前田鎬
中尉 櫻田浩一
中尉 塚原兵衛
少尉 中田太郎
大尉 行松敏雄
中尉 山田信一
大尉 坂東弘一
大尉 三宅勝
大尉 嶋功

中尉 板倉淳
中尉 川井康男
中尉 平口章
中尉 矢野正
中尉 三浦俊孝
中尉 松村鉄夫
中尉 小林敏郎
大尉 海老原勝
大尉 小山義一
大尉 石原久雄
中尉 澤田直躬
中尉 矢島千晴
少尉 大久榮二郎
少尉 堀田丈夫
中尉 高倉進
大尉 西尾博
中尉 正田弘
中尉 能登昌夫
中尉 野尻秀雄
少尉 岡部泰二郎
中尉 山田鋼平
大尉 三浦忠彦
大尉 柴桃正隆
中尉 高野幸一
中尉 高橋彦三郎
大尉 芹澤佐
少尉 丸尾春雄
中尉 松川守一
大尉 高橋幸一
中尉 豊永武夫
中尉 江間雄二郎
少尉 田守弘司
少尉 高嶋剛
中尉 稗貫博

○海軍予備役将校であった者

階級 氏名
少尉 菅原栄
中尉 工藤清
少佐 佐々木森造
大尉 行木速雄
少尉 森正夫
中尉 清水安次郎
大尉 黒木建夫
中尉 伊藤武夫
大尉 中島忠
中尉 小杉英一
少佐 服部二啓
少尉 野口太持
中尉 我妻秀磨
中尉 清水正信
少尉 川崎一男

階級 氏名
少尉 角重勝
中尉 篠田利通
少尉 増田平八郎
大尉 南坊喜秀
少尉 鈴木茂夫
大尉 濱出大仁
中尉 江口房治郎
少佐 野沢忠雄
大尉 山名正夫
大尉 齋藤一雄
中尉 野沢清吉
少尉 岡田三郎
少尉 森正直
少尉 石田泰蔵
中尉 小川謙二

中尉 小川喜一郎
少尉 大塩亀吉
中尉 高崎信夫
中尉 木谷興作
中尉 船木源三郎
大尉 寺尾忠夫
少佐 大成直爾
中尉 望月正次
少尉 甲斐隆雄
少尉 谷口政治
中尉 関圭司
中尉 成田菊治
中尉 佐久間多喜治
少尉 高野豊
大尉 菰原元一
少尉 長崎秀義
少尉 大坪義男
少尉 増田平八郎
大尉 安藤桐義
中尉 清野興弥
中尉 針原武盛
中尉 稲田進
中尉 谷長太夫
少尉 齋藤節伊
中尉 砂田林太郎
少尉 長平良勲
中尉 杉田七郎
中尉 浜崎芳晴
少尉 村上作太郎
中尉 宮崎清
中尉 北野隆興
少尉 土井一人
中尉 曾我部春義
少尉 田辺康男
中尉 鈴木敏雄
中尉 森正雄
中尉 生見虎吉
大尉 戸沼良輔
中尉 山崎勝三
中尉 金田忠榮
少尉 坂本偉夫
中尉 西岡眞
大尉 梶川大炊助
中尉 景田秀雄
大尉 田丸嵩兒
少尉 高田秀夫
少尉 平田正行
中尉 中山孝一郎
少尉 田中勝雄
中尉 菅原仁助
少尉 土佐済隣
中尉 織田順
少尉 和田忠則

少尉 元山庄助
大尉 河口勘次
大尉 美船陸雄
中尉 南部亮光
大尉 圓山仙之助
中尉 大井篤
中尉 山下槙
中尉 赤坂榮太郎
少尉 篠原宗義
中尉 鈴木象四郎
中尉 佐藤史郎
中尉 宮田勝也
中尉 三浦明夫
中尉 浜山金五郎
中尉 中村丘
中尉 江越春樹
中尉 松江健吉
中尉 川原久吉
少佐 佐藤勳
中尉 山本文吾
大尉 林田政記
中尉 伊藤柳平
中尉 矢井田三郎
大尉 三枝勳平
中尉 鈴木忠賢
大尉 鈴木勳
中尉 阿部正次
中尉 川口光男
少尉 窪津嘉太郎
中尉 鹿島學一
中尉 長島亥十二
少尉 山野一郎
中尉 竹内悦次郎
少佐 木下芳明
少佐 川本源藏
少尉 田辺金一
少尉 遊佐栄
中尉 岩北勇一
少尉 高田義雄
中尉 吉武直明
中尉 平川清
中尉 鈴木慶松
大尉 井崎助右衛門
中尉 清水源造
中尉 藤田万之助
中尉 景田正作
中尉 佐々木伊勢松
少尉 宮高明雄
大尉 白石衛
中尉 白倉徳市
少尉 菅原宏雄
中尉 増田藏一
中尉 草野國松

大尉 中村正三
中尉 東守太郎
中尉 白倉徳市
中尉 高濱司
中尉 佐藤常男
中尉 横山弥之輔
中尉 山口文行
中尉 山木利三
中尉 高濱正之
中尉 江藤守
中尉 中里幸治
中尉 梶島輝夫
中尉 千葉忠一
中尉 横山岩三
大尉 石林文吉
少尉 西村正憲
中尉 井上啄美
大尉 林太郎
中尉 加藤能則
中尉 吉滿正治
大尉 永田伊佐也
大尉 平山幹雄
中尉 福森清
大尉 佐々木譲造
大尉 守谷育介
大尉 田實明
中尉 込宮實
中尉 武藤信也
中尉 梅原一誠
中尉 小西宗二郎
中尉 澤村光造
中尉 湊間寛
中尉 藤崎富三
中尉 福山伊逸郎
中尉 鈴木謙次郎
中尉 林計
中尉 稲住榮三
中尉 七戸恒文
大尉 清水康男
中尉 武田太郎
中尉 蛯子芳信
大尉 井上平保
少尉 蜂裕
中尉 木田清
中尉 佐賀正
大尉 西村文雄
大尉 恒川與平
大尉 佐野祐毅
中尉 鈴木彬造
大尉 安藤精一
中尉 坪沼義之
中尉 工藤哲夫
中尉 瀧澤秀三郎

少尉 早川進
中尉 有馬正男
中尉 山口金藏
中尉 末永甫
少尉 渡辺友二
少佐 山口篤利
中尉 布村篤吉
中尉 志賀政次郎
中尉 利根常敬
中尉 柴田正見
大尉 楠川健一
大尉 櫻井勝
中尉 岡滿男
中尉 松井仲雄
中尉 佐藤繁雄
中尉 小早川洋
中尉 田辺正一
中尉 牧野靖彦
中尉 池田安一
中尉 小野正一
中尉 今西保彦
大尉 岡田茂生
中尉 青木正
中尉 小堀博道
中尉 染谷清
中尉 中村治郎
少尉 寺崎信繼
中尉 鈴木大三郎
中尉 木佐木泰
中尉 井上定雄
中尉 佐藤望
中尉 前田榮一郎
少尉 中野勳
中尉 大堀秀一
中尉 佐藤稔
中尉 小山豊郎
中尉 岸岡秀夫
大尉 仲平田文雄
中尉 水谷弘國
大尉 佐々木八郎
大尉 宮崎定恒
大尉 宮崎定恒
中尉 瀧辺幸彦
中尉 池田安一
中尉 蜂須賀蕭男
中尉 河瀬聖
中尉 竹林哲
中尉 高岡幸彦
中尉 明石善郎
中尉 川井正
中尉 川口務美
中尉 内田忠夫
中尉 阿野榮

中尉 岡部襄
大尉 木村早苗
中尉 鈴木隆
中尉 柴田隆
中尉 羽島忠雄
中尉 酒井保男
中尉 田中章
中尉 門松龍美
中尉 渡部研介
中尉 安藤善之
中尉 岸本直一
大尉 高傘礎春男
大尉 山川重次
中尉 佐々木利夫
中尉 土屋九彦
中尉 立花久幸
中尉 尾形勉
少尉 成田光穂
少尉 佐藤四郎
中尉 長末勝
中尉 遠藤武司
大尉 山口國芳
中尉 吉永正晴
中尉 河野勝
中尉 足立年
中尉 石丸尚幸
中尉 南乾三
中尉 水谷富士夫
中尉 朝比奈督
中尉 相原惣四郎
中尉 木村三郎
少尉 玉木邦夫
中尉 岩木重敏
中尉 柳田修
中尉 大島平二郎
中尉 森三郎
大尉 小川豊
大尉 高部康
大尉 佐藤俊雄
中尉 上杉諭
中尉 伊達修治
少尉 犬飼博始
中尉 植地済
中尉 原田啓三
大尉 杉浦五雄
少尉 石黒文雄
大尉 泉修平
中尉 酒井好道
中尉 増田靜
中尉 木原英二
大尉 上田義則
中尉 大畑達郎
中尉 村田治

中尉 佐藤徳雄
中尉 佐々木俊造
中尉 伊藤仁市
中尉 森安茂
中尉 須藤喜久夫
中尉 佐藤信道
中尉 高田秋夫
中尉 楠川弘
中尉 木山慶三
中尉 清水博
中尉 金高寶司
少尉 川元久
中尉 茗荷滋
中尉 土屋尚信
中尉 小川日出夫
中尉 塩月義尚
中尉 松尾謙三
大尉 原田要
大尉 小野文雄
中尉 西岡見
大尉 間信磨
中尉 吉郷善市
中尉 草階健一
中尉 新田日太郎
中尉 伊藤彦
中尉 水野武道
中尉 近藤正奘
中尉 澤田稔
中尉 佐伯寛
少尉 高橋信男
中尉 内海恒良
中尉 鈴木是壽
大尉 山本幸茂
中尉 仁科駿郎
少尉 藤巻茂
中尉 蟻馬久
中尉 吉田要
中尉 齋藤三雄
中尉 大嶋信次
中尉 亀田兼治
大尉 田中正二
少尉 今田知之
大尉 櫻井重平
大尉 天沼彦一
中尉 中本一雄
中尉 平原久之助
中尉 糸永行雄
中尉 池田克已
中尉 神戸利夫
中尉 古野盛人
中尉 北原篤幸
中尉 田島宗義
中尉 金田智成

大尉 八重樫巖
中尉 須藤久丸
中尉 兒玉実光
中尉 相田喜一郎
少尉 原口健治
中尉 山田靖男
中尉 島田孝助

中尉 久保治雄
大尉 内田太郎
大尉 高嶋壽一郎
中尉 内藤秀朗
大尉 山崎弘
大尉 中安昇
大尉 後藤允

文官より轉官した現役將校であつた者

階級 氏名
中尉 木村與四松
大尉 山本寛親
大尉 吉永寛
中尉 野口孝
大佐 鈴木篤文
中尉 宮澤諮
大尉 村田公三
少佐 三井清
大尉 加藤操
大尉 井川一雄
少佐 合志正夫
少佐 岩下久哉
少佐 小山道雄
少佐 才木靜馬
少佐 高木博二
大尉 平石續
大尉 山本鉱市
大尉 奥田彌五郎
中佐 早川仁
大尉 鈴木伊三郎
大尉 池田精二
大尉 深草末松
中尉 伊藤哲男
大尉 松木賢一
少佐 佐藤理
少佐 服部二助
大尉 白石競
少尉 男澤庸男
中尉 石田襄
少佐 久保純良
大尉 長谷川毅
少佐 田中春男
中佐 深井六郎
大佐 笹井賢二
大尉 町口光夫
大尉 狩山德展
少佐 澤泉重夫
大尉 楠木五郎
中佐 澤勝蔵
少佐 今福達男
少佐 三宅晃夫
大尉 笹川秀男
中佐 奥山忠七

階級 氏名
少尉 橋本裕起
大佐 山口昌三
少佐 平岡廣助
少佐 渡利逸郎
中尉 中村猛雄
少佐 井上淳一
中尉 新家正已
少佐 福田秀夫
中尉 長谷川忠三
中尉 岡崎正雄
大尉 田口浩三
大尉 津田敬一
少佐 杉橋渉
大尉 関鑛二
少佐 肥後盛史
中尉 大熊建市
少佐 大芝邦雄
少佐 神澤桂一
中佐 中田金市
中尉 西村長七
少佐 村上博
大佐 富田川正安
大尉 筑瀬懋
少尉 星宮哲
中佐 高増透
大尉 佐藤四郎
少尉 吉川忠長
中佐 原亥一
少尉 武藤幸男
大佐 堀修一
中尉 上野長三郎
少佐 大箸進
大尉 小澤東源治
大尉 中西洋男
大尉 森川親雄
少佐 赤澤信六
少佐 近藤新吉
中尉 地京正信
少佐 片岡廣二
大佐 三品博甫
大尉 柳瀬珠郎
少佐 松崎敏彦
少佐 江原廸夫

第6353号 物価号外

中尉 野崎道郎
少尉 高原邦彦
少尉 岩崎重治
大尉 小幡正一郎
中尉 林巖
中尉 萩原俊雄
中尉 浦木藤一
中尉 田口春夫
中尉 瀧澤俊夫
中尉 渡辺章
少尉 山崎部順隆
中尉 矢田厚
大尉 松田武彦
中尉 井上清
中尉 金子盛太郎
少尉 前田正
少尉 井上哲治
少尉 木村淳二
大尉 塩崎順行
中尉 木村都威
大尉 加藤士一郎
少尉 辻川二郎
中尉 川島日出男
中尉 中山徳藏
大尉 岩堀英太郎
中尉 板東義治
中尉 相澤健治
中尉 林成周
少尉 佐藤勇
少尉 大澤毅
大尉 白相榮一郎
大尉 金井敬三
中尉 坂上良男
中尉 平岡明
中尉 土田節也
大尉 小倉晋一
少尉 乘杉恂
中尉 田中博昭
中尉 近藤公四良
中尉 久保田保夫
中尉 宮崎尙
中尉 小笠原正義
中尉 塘恒夫
中尉 赤山二郎
少尉 田中正志
中尉 池田永俊
中尉 田淵利尙
中尉 由良宏
中尉 島健二
大尉 前野義昭
少尉 坂木一郎
中尉 大木二郎
少尉 神山晉

中尉 福間誠吾
中尉 山田富
中尉 仲原哲
中尉 神力達夫
中尉 水谷俊雄
大尉 磯村八三郎
中尉 森井可能
大尉 岡仲高義
少尉 高林良光
大尉 薦田包義
中尉 弓削春樹
大尉 平石繁雄
少尉 加藤定一
少尉 伊藤善三郎
中尉 日置兼佐久
大尉 大島磨呂
中尉 篠久壽雄
大尉 河村芳
少尉 吉丸泰夫
中尉 堀博
中尉 小山一郎
中尉 伊藤勝人
大尉 永山良夫
中尉 加藤正三
中尉 川船和儀
中尉 奥野潔
中尉 高橋克爾
中尉 田口悠
中尉 栗原義人
少尉 芹澤良夫
少尉 吉田務
少尉 村上博臣
大尉 中川庄侑
中尉 野島省吾
大尉 田中榮次郎
中尉 渡辺宏
少尉 金子光嘉
中尉 川上斎一
中尉 岡崎順一
中尉 村上宰俊
少尉 中林明助
少尉 宮原昭二郎
大尉 井上力大
少尉 関口祐也
少尉 石井和夫
中尉 奥村和郎
大尉 常木誠太郎
少尉 小林幹夫
大尉 岩見勇之助
中尉 野口邦郎
中尉 篠原頼久
少尉 岩崎俊雄
中尉 柴田吉夫

少尉 岩下賴盛
中尉 吉田貞
中尉 富樫伊佐男
大尉 澤田俊光
大尉 松永嵩
中尉 星山貞男
中尉 天野力之助
大尉 渡辺孝雄
中尉 玉虫隆雄
少尉 村上博臣
大尉 藤田道盛
大尉 大井一郎
大尉 水澤修三
少尉 青澤敏彦
大尉 植山松正
大尉 西数男
中尉 満田久康
中尉 久慈光亮
少尉 浅井湧文
大尉 守屋泰二
中尉 柳原義久
少尉 清水純一
少尉 向井潔
中尉 西岡隆
大尉 古田正起
大尉 関口吉太郎
大尉 近藤武次
大尉 甘糟屋正巳
中尉 加藤勝人
少尉 木下茂
少尉 吉住英五郎
少尉 伊藤信義
大尉 瀬尾聰明
中尉 末吉省一
少尉 尾崎八郎
中尉 生駒鍊郎
中尉 木下四郎
中尉 溝口正英
大尉 原口紀
少尉 松澤義人
中尉 今泉敏迪
少尉 小柴輝彦
大尉 高橋麟五郎
大尉 佐藤武男
中尉 坂本原一
少尉 内田謙吉
少尉 河川吉雄
中尉 飯塚和夫
中尉 兒山正中
中尉 大野隆
少尉 長尾光博
少尉 植田修佐
中尉 堀口喜吉

中尉 大高一
少尉 友田清
中尉 多田亨
大尉 島誠夫
中尉 笹木平藏
中尉 高原八郎
大尉 細井一雄
中尉 江戸太郎
大尉 野澤儀一
大尉 白髭壽男
中尉 山名成雄
中尉 大橋美夫
大尉 岸逸馬
中尉 能見武三郎
大尉 北條司朗
大尉 井野作太郎
大尉 祖父江逸郎
中尉 勝村磐
大尉 宮田茂
中尉 大瀧浩
大尉 大橋一藏
大尉 阿蘇武弘
中尉 高石康
大尉 羽島元章
中尉 渡辺四郎
大尉 香月輝久
中尉 菊池高
少尉 杉山光平
中尉 橋本清
中尉 竹内武
中尉 櫻良治
中尉 斉藤勝
中尉 芦澤達
中尉 柴田榮一
大尉 吉田博保
少尉 村井宇之助
中尉 仁平幸治
中尉 藤間正男
大尉 高橋清之
少尉 （貝華甲子戎郎）
中尉 塚本彌太郎
大尉 田村五男
少尉 今井吉太郎
少尉 横井慶一
中尉 岡田新
大尉 小松原豊
大尉 井出勝彦
中尉 松本勝周
中尉 橋本浩二
大尉 竹内誠一
中尉 佐々木恒郎
中尉 多田清人
少尉 三村英郎

大尉 賀谷茂
中尉 安藤秀一
中尉 多室本貞夫
少尉 瀬戸東洋
中尉 萩野卓司
少尉 田村龍雄
少尉 馬場昌夫
中尉 時松健次
中尉 野中道孝
中尉 石川重維
大尉 辻村勇夫
少尉 山本榮樹
大尉 渡辺正人
少尉 井海健吾
中尉 平部正博
大尉 米村文雄
大尉 大森愼一
大尉 岡村雅樹
中尉 諏訪淳一
中尉 小笠原直幸
中尉 須磨宜之
中尉 降幡武
少尉 宇野仲
大尉 富岡達夫
中尉 濱田久光
大尉 柴田一郎
中尉 木島忠二郎
中尉 亀田隆徳
大尉 岡元北海
中尉 辻正良
大尉 中神凡夫
少尉 谷本正富
少尉 松下祥次
中尉 金丸二郎
中尉 三輪田藏
大尉 大島四郎
中尉 眞室哲雄
中尉 森光雄
少尉 平松一夫
中尉 松本光雄
中尉 庄司正男
中尉 中尾宗直
大尉 村上公夫
少尉 種市鴻二郎
中尉 柳澤徹
大尉 島井健一
中尉 中山良三
大尉 細野寛
中尉 上野景平
少尉 太田保善
中尉 佐々木一郎
中尉 細田喜一
少尉 伊東傲

大尉 山田俊一
少尉 神近繁義
中尉 木村淳二
中尉 長谷川良三
少尉 古本良夫
少尉 吉野孚
中尉 岩崎敏夫
中尉 金澤友一
中尉 古谷敦
少尉 瀬実正弘
中尉 畝萬治
中尉 鷲見洋
中尉 伊藤捻
大尉 羽柴幸進
大尉 眞鍋一郎
少尉 池田博
中尉 前田三郎
中尉 高橋博
中尉 吉原理泰
中尉 橋本正明
中尉 小川八郎
大尉 宇野宏
大尉 古屋久
中尉 栃木二郎
中尉 平山春郎
中尉 高田奎
中尉 谷燕
中尉 高山正一
大尉 竹西貞雄
大尉 須崎映一
少尉 遠藤純一
少尉 土谷長俊
大尉 塩谷清道
中尉 篠田榮寛
中尉 丸山三郎
中尉 後藤謹爾
大尉 東原政道
中尉 角田哲彥
中尉 北弘
大尉 福田榮三
大尉 明石壽
中尉 植竹公寛
中尉 渡辺健一
少尉 山南周二
中尉 鈴木哲郎
大尉 工藤義重
中尉 水澤靖
中尉 西村敏雄
中尉 徳永春雄
大尉 松岡忠正
中尉 片桐鎮夫
中尉 宮坂善喜
少尉 木島努

大尉 藤田勉
少尉 深見吉正
少尉 藤崎勇
中尉 木村英夫
少尉 中西俊三
中尉 長谷川昌
少尉 山下洸二
中尉 樋渡正五
中尉 眞鍋清
大尉 眞竹利男
少尉 水口清
少尉 川上博
大尉 中西久延
中尉 西田邦彥
中尉 長谷川正
中尉 西野孝一
少尉 館野金助
中尉 濱田泰夫
中尉 藪野重一
中尉 寺前嘉三
中尉 市田洋
大尉 石森敏明
少尉 赤星亮一
中尉 松井勝次
中尉 中村行雄
中尉 竹内成一
中尉 安西武二
大尉 間野省吾
大尉 水野映男
少尉 内山富士雄
中尉 入江晃
中尉 小倉晴郎
大尉 富永一郎
中尉 濱中朗
中尉 田代初男
大尉 花嶋重雄
中尉 石渡堯
中尉 西山保一
中尉 多賀谷吉夫
大尉 木本正一
大尉 大塚助
中尉 吉田均
少尉 高橋一夫
中尉 吉田諦二
少尉 関山昇
大尉 末永一郎
中尉 出原正孝
中尉 馬場道雄
大尉 國崎豐
少尉 岡田安民
大尉 森井治彥
少尉 永利裕生

大尉 横浜正男
中尉 安達勝
大尉 大塚達雄
中尉 大西久雄
中尉 神山士
少尉 北上澄雄
中尉 依田敬三郎
中尉 林一郎
中尉 林茂木
中尉 奥井善二郎
少尉 大槻三郎
少尉 早川勝巳
中尉 梅田毅
大尉 野本明
中尉 福本光男
中尉 加藤房之助
中尉 中谷明男
少尉 田中哲次
中尉 神崎利勝
中尉 住友總成
中尉 小嶋誠太郎
少尉 尾上弘若
中尉 松村隆
少尉 柿本秀男
少尉 高野幸司
大尉 中山榮治郎
中尉 伊藤弥太郎
大尉 五木田常一
中尉 忽那守夫
大尉 小柳勝
大尉 宮城和彥
中尉 芳賀敏郎
中尉 江橋節郎
中尉 花嶋重雄
中尉 高田健
中尉 不二門章
少尉 永田進
大尉 北野常夫
大尉 濱田德一
中尉 上田正久
中尉 奥井誠一
大尉 小泉光夫
中尉 荒哲也
少尉 佐藤隆
中尉 渡辺章
中尉 加藤宜久
大尉 小谷孚
中尉 沢村邦彥
中尉 石川學
中尉 杉本精二
少尉 河本一彥

大尉 濱善夫
中尉 中川眞孝
中尉 盛田昭夫
中尉 田木希夫
大尉 濱崎幸吉
中尉 石山祥一
中尉 今村三郎
大尉 池上務
中尉 芦原義信
中尉 佐藤陽一郎
少尉 津端修一
中尉 國元新
中尉 福永昇
少尉 小森弘
中尉 細越赫一郎
中尉 山本安一
中尉 林鋼太郎
中尉 島田幸雄
大尉 三崎國夫
少尉 桐山直樹
少尉 森泉國男
大尉 岡本一郎
中尉 飯島信宏
大尉 中村廣一
中尉 瀬川正雄
大尉 山形聰
大尉 長島五郎
大尉 梅島重正
中尉 天野章
中尉 神谷正巳
中尉 玉田茂芳
中尉 松下浩二
中尉 中島行一
少尉 福永富雄
大尉 桑原朝彥
大尉 山形操六
中尉 佐久間彰
中尉 加賀山正
中尉 吉岡守正
大尉 石川源光
中尉 塩田勸
少尉 山田春彥
中尉 小澤武夫
大尉 鈴木八郎
中尉 塚本哲男
中尉 菊地忠
少尉 椎名宮男
中尉 松井哲
少尉 柳澤一夫
中尉 深田瑞穗
少尉 石原照夫
中尉 森芳太郎
少尉 上妻正敏

中尉 山本晴二
中尉 石渡進
少尉 今井武成
中尉 高橋英雄
大尉 石田隆
中尉 内田淳美
中尉 早川治男
中尉 小口平治
少尉 木村啓造
中尉 江崎磐
中尉 木村潤三
中尉 宮地一郎
中尉 伊藤德夫
少尉 村田秀男
中尉 檜引晉三郎
大尉 倉本爲秋
中尉 本山良三
中尉 市村緻行
中尉 藤井繁一
少尉 唐幡亨
中尉 松永省吾
少尉 中筱良平
中尉 山本嘉一
少尉 森昭
中尉 小泉文夫
中尉 設樂繁男
大尉 塚本正文
中尉 池田中次
中尉 林春樹
大尉 小田博俊
少尉 須田蔣
中尉 佐藤忠三郎
中尉 井上彥八郎
中尉 小鷹義彥
中尉 鈴木重和
大尉 横山信玄
少尉 三神孝
大尉 内田彰
大尉 矢澤鷁三郎
中尉 関卓爾
中尉 井垣謙三
大尉 濱田一男
少尉 原田俊六
中尉 指宿陽勇
中尉 清水浩
大尉 萩原晃
中尉 松嶋憲吉
中尉 中村松夫
中尉 田村忠與
中尉 目黒晉
中尉 横山信夫
少尉 大宮利通

大尉 堀譽
中尉 日下部正美
少尉 古川徹
中尉 北後良男
中尉 横淳健
中尉 有田一郎
大尉 丸茂達夫
中尉 田中正美
中尉 藤原山平
中尉 永野正齊
中尉 廣瀬英二
大尉 三上芳一
少尉 兒島幹雄
中尉 森田甚三郎
中尉 酒井友治
少尉 中村邦吉
中尉 杉山繁
中尉 谷口良一
中尉 内田吏郎
中尉 福永定大
中尉 加藤信幸
少尉 久保正義
中尉 守屋謙吉
中尉 本田肇
中尉 紺木源一
中尉 芳木康三
中尉 幸田惠一郎
中尉 越智和夫
大尉 濱田一男
中尉 鈴木宏
大尉 岡田濤太郎
中尉 重松俊宏
中尉 脇本賢次
中尉 川崎清
少尉 岩崎秀大
中尉 榎本英男
少尉 小川一郎
中尉 田中敦郎
少尉 前川智
中尉 古川孝弘
少尉 小林正一
大尉 谷一郎
大尉 山内高調
中尉 篠塚惠
少尉 小原昂二
中尉 肥田金三
少尉 荒川七郎
大尉 三宅壽夫
中尉 長宗寛
中尉 小林正毅
中尉 小野博利
中尉 荒木嘉際
中尉 伊藤五三郎

中尉 渡辺潤
少尉 井田協
少尉 櫻林敏雄
中尉 小野美彌
少尉 足立凡夫
少尉 蕭立恭
中尉 細野廣洋
少尉 小田博俊
中尉 片岡謙三
中尉 今野義一
中尉 手島仲
少尉 安藤剛二
中尉 清水良熊
少尉 山崎茂
中尉 宮沼義賀
中尉 小原三也
少尉 二宮三郎
大尉 田村眞一
大尉 大野孝
中尉 虎岩秀郎
少尉 大蝶堅
少尉 岩宮絲
中尉 吉渡部泰雄
中尉 山成毅
中尉 濱木卓
大尉 内田久吉
中尉 田中具治
中尉 岡部粲
中尉 早川庄三
中尉 東原毅一
少尉 村山圭一
中尉 西川弘
中尉 南昌平
大尉 仲佐洋三
中尉 平形義人
少尉 村田信雄
大尉 伊藤公夫
中尉 谷幸信
大尉 竹内絹夫
中尉 網島博文
少尉 道工久
少尉 坂尾重光
中尉 渡辺卓也
中尉 山口信彥
中尉 齋藤弘夫
大尉 柴田信夫
大尉 藤井慶一
大尉 櫻井節二
中尉 愛知儀一
中尉 五十嵐俊夫
大尉 虻川宏
少尉 渡辺英敏
中尉 藤森眞明

中尉 三上一郎
中尉 尾谷澂郎
大尉 安達一郎
大尉 早川武
中尉 渡邊定五
中尉 大江康夫
少尉 長尾政明
中尉 川内拓郎
大尉 星野芳彥
少尉 瀧澤芳雄
中尉 山下良幸
少尉 松山茂郎
中尉 須藤弘次
少尉 湯田鹿松
中尉 養下正夫
少尉 樹下信德
大尉 小島誠太郎
大尉 久保田勝
大尉 廣中明
少尉 芥川勝
少尉 山本末吉
少尉 佐藤賢吉
大尉 室井新一郎
中尉 宮本和男
中尉 梅原弘一
中尉 高橋幸三
中尉 伊勢榮一
中尉 宮山春光
中尉 荒川義雄
少尉 須崎暎一
中尉 中村弘道
中尉 井上哲男
大尉 貴島隆
少尉 夜久孝
中尉 岡田一喜
中尉 勝連木盛康
少尉 瀬戸東洋
大尉 神津勝時
少尉 小山繁
中尉 阿部純英
中尉 松尾秦門
中尉 石神東洋

○任命又は昇任予定者

判事
河田榮左右
增村文雄
柳原茂
岡野季造
清水齋平
大竹功
渡邊久
判事補
鎌田巨
西山要
島川亨
佐藤林四郎
橋本直助
塚本一夫
齋藤三郎
内丸廉
安藤隆雄
米田太市
瀧浪龍太郎
岡崎興六
有水常次郎
田村寛
竹田晋治郎
入江啓七郎

中尉 堀内貞
中尉 武司秀夫
大尉 秋間哲夫
中尉 木村鎮
中尉 小畑繁雄
中尉 長田昭一
大尉 時田薫
中尉 藤田一郎
少尉 柳澤一誠
中尉 久米豊
大尉 大石雄二
中尉 平松一夫
中尉 田沼邦義
中尉 尾高昌
中尉 岡野幸郎
中尉 大草一夫
少尉 土屋正
少尉 加藤孝
大尉 星加幸大
中尉 森健郎
中尉 鈴木四男
少尉 愛澤秋實
大尉 中島博
大尉 村井榮太郎
大尉 中澤章
中尉 杉本義夫
中尉 河野通正
少尉 川瀬昌郎
少尉 中村勝郎
大尉 兼坂武比吉
大尉 渡辺忠雄
少尉 小沼新吉
中尉 西尾健
少尉 島津邦造
中尉 堀越知之
中尉 栗原友衛
中尉 利重五郎
少尉 久保忠
中尉 大坪勝彥
中尉 行德康一
少尉 稻葉三郎

裁判所事務官
佐久間仙司
西川筆義
佐藤勝二
齊藤英一
平木東平
宮崎辰彥
高柳英夫
青木竹次郎
蜂谷明
瀧谷清三
鈴野守保
金子末吉
三上一郎
小林四郎
磯部静作悦
奥村啓司
寺沼富三
海老澤榮
中郡正
川島充衛
橋木元
蔦勝己
阿佐見武雄
宮本千代作
山口勝次
加藤八代浩
小笠原茂
宮入義雄
山本吾作
若林富藏
熊倉又藏
木付四郎
立石正雄
古川嘉七
山田伊三松
樋口次郎
後藤庄一
正田金義
鈴木健夫
大野菊藏
山本光男
川俣長十郎
山口軍司
福岡光次
内田清
松原理一
渡邊榮太郎
佐々木太一
竹貫重勝
齊藤進
立崎正一
山田荘次郎

島田一郎
東原三郎
黒部總之助
藤井武雄
伊藤義郎
鳥飼英穗
相川嘉太郎
津島源祀
大木榮貞一
淺原政雄
藤間太郎
田中利正
野木正克
淺田進
櫻井正雄
小高高四
丹藤要
岡野正
小林誠一郎
駒田武之敵
齋藤近衛
須田隆次郎
杉田直作
小泉新
高橋武雄
岡信之
池上友秋
赤羽隆乙
菅原勇恕
上野太郎
前田八郎
江藤正治
石橋榮一
小坂伊作
林重
高橋正已
竹内幾松
中村竹久治
松木顯一
府葉三郎
池田鹿男
小濱武三
野木一郎
西田利都
村上道義
木隆雄
平野益之
松本又藏
佐藤武夫
小出吉助
高谷太郎
根田豊一郎

伏見忠靜
深海五郎
内村寅吉
田中秀雄
天野德重
和田俊義雄
小山志太郎
沼有哉
深谷兵馬
菅柳榮義光
水谷壽之助
眞杉次郎
坂本吝
大井好仁
三木廣一
清水豊志
久米才三
大高常雄
本田武彥
秋元正一
天笠正藏
木部三老
澤瀬義雄
山田利治
河西晃
長田政一
田畑精實
中澤隆
吉田正男
竹内稲藏
田上重俺
上野茂
西田啓一
立浪重治
橫山義郷
杉浦久雄
岩井憲三
田村久員
玉田逸司
大和恒治
伊藤文雄
飯島柳三
梅田勝平
中澤千里
秋友歳春
渡邊慶三郎
岡田俊彥
野中三郎
柳渡一郎
金井清一
片倉松四郎
佐藤千代治

大島秀之助
岸勇吉
小日山政義
阿部啓輔
木村勇
總理廳事務官
横田行雄
市川朝彦
大森淳正
大藏事務官
須藤重治郎
瀧井幸世
吉田茂夫
仁木章夫
藤木一馬
塩谷敬治
森野伸吾
伯三省
久保馬之助
平田器
三猪孝策
谷木喜之助
早川清
大嶋俊男
中西洋吉
田向靜一郎
矢崎秀總
五味操
石澤燕
川崎淺吉
笠原重男
勝田定雄
松木武大
高岡周二
鍵井友吉
高橋衡平
野尻隆太郎
堀田利和

田中三郎
兒玉英一
古川清次郎
犬飼廣
渡邊文男
内閣総理大臣秘書官
柏木侃
西方讓
總理廳技官
同
宮内府事務官
同
地方事務官
經濟安定本部部員
名古屋地方經濟局
[illegible]整備委員会委員
同
財閥[illegible]委員会委員
外交官補
朝鮮總督府道警視
朝鮮總督府遞信事務官
樺太廳事務官
淺藤信雄
石井清幸
宮木八郎
大谷豊次
竹屯信衛
佐藤雄次郎
梶繊
鎌山四郎
町田翠治
三國恒一郎
佐藤仁
加藤太郎
大谷正男
森田熊一
柴田孝一
小倉正雄
要藤務
中島茂知
倉持貞吉
黒田義度
大越一男
石橋初太郎
木村松江
鎌田幸兒
澤栗四郎治
橋幸平
綿貫孝
召田郁三

佐藤豊吉
水野榮
村田三良
島山今朝松
梅村日露二
漆野際三郎
早坂邦雄
吉原春身
黒澤俊一
酒井忠二三
小野木親吉
菊地七郎
川合壽人
和田一雄
淺井周策
渡邊珍泰
瀧口義敏
山中駿一
石川淸
德本磯次
菅井正雄
兒玉圓治
中島進
鈴木直匠
余村武
岡田猛
笠木英武
中村山藏
栗田直彥
須藤正雄
島谷寅次
坂木吉雄
生川武大
戸川篤二
長島榮雄
藤掛寛次郎
大岩治
山口政舜
山川永浩
渡辺尙夫
關部春吉
平山存次郎
矢口秀雄
大橋福彌
加藤正治
山本正吉
山田秀雄
高木德太郎
三好宗次

齋正俊
南方木二
内田安衞
持田邦嘉
飯田耕三
松木正雄
村上隆
藤原三男
阿久津三郎
柴田謙吉
高橋友四郎
宮崎重雄
加藤良光
清水治澄
副檢事
青木德太郎
牛島純一
齋藤[illegible]
佐藤[illegible]
檢察事務官
榊原[illegible]
一丸[illegible]
杉浦榮一
福島正夫
大学設置委員会委員
宮山保
武田憲治
武内貞義
大泉孝
職業教育及び職業指導委員会委員
川野溫興
野口彰
厚生技官
坂田外吉

米澤千万人
高橋一男
中島隆治
高橋正男
大谷富次
堀百助
大八木七郎
早川正幸
坂木利信
佐々木哲
鈴木輝
山澤正治
大澤邦雄
大藏技官
高松財務局行政監察委員会委員
同
同
[illegible]財務局行政監察委員会委員
同
同
檢事
山本靜之助
太田[illegible]
山元一雄
[illegible]新太郎
磯田進
少年保護司
文部教官
同
同
上原專祿
木下一雄
野上豊一郎
近藤民雄
山崎博
学士院会員
國立博物館評議員
厚生事務官
親里齋雄

内藤喜代美
荒川綱雄
上村龍男
笹沼芳郎
高橋新八
伊藤鐵之
片野進
八木秋德
内藤近義
大澤照司
仲田泰太郎
家木丈男
松藤宗一
田村清一
住田始男
三宅貞夫
大西美中
佐々木正雄
柏木純一
新川吹雄
山浦重三
竹中知之
藤田享教
桑名小新吉
井藤正德
松山貞夫
駒澤外治
今田敬一
伊藤辰治
吉田久
鈴木桃太郎
奥田謙
遠田直三郎
佐藤孝次
金田一京助
脇本十九郎
藪崎寅雄
村松常雄

荻田淳雄　大出良平　岩井英男
地方事務官　伊藤慶次郎
同　木下得三

歯科医師國家試験予備試験委員

金森虎男　緩貞教　檜垣麟三
中村平藏　河野庸雄　檜山健兒
宮崎吉夫　清水文彦　岡田正彦
榎惠　新島廸夫　後藤京平
山極一三

農林事務官

林八郎　重村安隆　北島重男
丸山隆三　古市正雄　兒玉重方
後藤正

農林技官

野口齋　柳瀬誠之助　半田守邦
上杉勇　勝倉八郎　紙屋義孝
竹内法連太郎　小野寺卯　大友榮松
牧野重利　山上茂樹　植松芳雄
平野哲也　松山定中　高橋豊太郎
川原誠三郎　島中幸平　佐伯重行
中田正一　石崎厚美　加藤静夫
宮田定信　秦義正　川原仁左エ門

商工事務官

山田秀智　鈴木亥之助　福澤勇
奥岡忻一　向山芳郎　細川智教
鹿瀬秀雄　蚊谷伸次　島路勉造
大西勝　中村喜廣　遠藤四郎
細澤宮次郎　鎌田修自　矢萩修一
岩崎浚吉　田中治平　黒瀬勇
後藤一猪　森光雄　春名利雄
内山俊　川口正男　小笹力
白石始　明石昊　瀬川一郎
飯塚重富　弘中英男　三浦貞藏
益田環　山本正男　石橋昌直
織田信次郎

商工技官

澁谷元雄　和田貞政　木曾信雄
赤林枸

商品標準化委員会、輸出繊維部会臨時委員　稲延清

運輸事務官　高橋忠藏

運輸技官

宮崎作　久野勳　大芝獅郎
神野稔
平井幸雄　松井米吉　蒲原繁男

運輸教官

船員中央労働委員会委員

大内義雄　中地熊造　中島太郎
和田春生　高橋熊太郎

遞信事務官

渡邊清藏　唐木澤八十雄　赤塚新三郎
中川純興　守屋勇一　船野四五六
吉田修二　荻原漸　佐藤淳一
高山孝治　加藤省吾　半田東一

伊藤静雄　伊藤仁三郎　井本博紹
加藤覺治　三橋文武　庄司文七
佐々木耕次郎　成田末治　相馬鐵士
最所一雄　川上政人　姫野時馬
小倉正喜　山崎利治　今泉啓一
滿永鐵雄　山口義直　皆山靜人
伊東静雄　渡邊政治　古川千里
大坪秀藏　迫田勇吉　関田寛一郎
佐藤藤太郎　佐藤裕　志茂忠作
内海盛一　鈴木照家　山方泰亭
関谷主税　窪田彦太郎　本郷大助
津嶋第次郎　鹿間徳一郎　安田堅造
黒田守雄　河合韓　岸本久吉
加藤玄房　林久次郎　松浦由一
宮武茂隆　白波瀬孝道　熊谷好
伊藤虎臣　森田錦喜知　高橋勝巳
江指幸四郎　宇野彌吉　小林富三郎
笠井辰次郎　鎌田貞治郎　植田榮二
齋藤正義　徳井巳春　高瀬修
村井吉三郎　塚由辰治　植松留藏
山本久　中野豊　山崎忠次
佐和榮一　山口秀治　仁志重雄
高平繁一　木下義松　川口恒吉
杉山正　藤原嘉七　寺島平造
寺井豊藏

勞働事務官　近谷英二
同　野尻次夫
同　川崎孝一
勞働技官　藤井謙吾
地方事務官　中島信幸
同　木庄竹雄
同　英弘之
勞働基準監督官　中田定士
同　植村稔
同　村上健兒

勞働省技能者養成専門委員会委員

大久保豊作　中村幸雄　山本榮治
内山政晴　名古屋碇治　青柳長次郎
山中武夫　熊澤尚文　口羽玉人
磯清　廣瀬敬一　前田七之進
笠井辰雄　香取正彦　菊野正隆
六角穎雄　西川友武　久保田重孝
野田俊郎　岸義夫　永井達治
鈴木幾太郎

中央勞働基準委員会委員　吾妻光俊
同　古賀專

食糧配給公團參事

川田辰稔　御村長太郎　村上元治郎
齋藤辰猪　福島豊　伊藤恒一
畑田静衞　古田榮　佐久間亀廣
藤田重次　七野幸男

食糧配給公團理事　渡邊五六

油糧配給公團參事

門田盛貫　西川熊吉　舟橋彌
井関廣勝　藤林清一　和田元
小澤清次　佐々木欽彌　和泉丙午郎
西村一海　杉本勇藏

油糧配給公團監事　片桐慎八
秋田木工（株）監査役　永井芳正
福知山自動車工業（株）監査役　森上三郎
福島自動車工業（株）取締役　後藤畾衞
同監査役　戸塚茂
（株）後藤同漕店取締役　宮浦壽一
同　田中常治
同監査役　加納直隆
兵庫貨物運輸作業（株）監査役　田中清武
関西荷造工業（株）取締役　岡島省三
同　香匠又朗
苅田港海陸運送（株）常務取締役　木村順平
同監査役　萩尾作
京都自動車工業有限会社取締役　岩井好美
同　加藤二郎
同　中山東造
同　山本重造
同監査役　村山佐太郎
（株）丸京組監査役　松永幸男
同取締役　矢野喜一
名古屋貨物自動車運輸（株）取締役　太田政光
同　小川清一
日本銀行主要公職者　大久保太三郎
日本紡績（株）監査役　三浦六郎
日盛自動車興業（株）取締役　磯谷與平
同　荒井正三
同　菊地酉松
日通海運（株）取締役　宮崎爲吉
同　井上福市
同監査役　岩崎正太郎
大船渡港湾運送（株）監査役　萩原健佑
（株）大森組取締役社長　小西清春
同專務取締役　竹原庄次郎
（株）大森同漕店常務取締役　久山正明
同取締役　村山杜
大阪港作業（株）取締役　松宮辰男
同　清水卯之助
同　竹昇佐市
同監査役　藤井正市

大阪港通関荷役（株）取締役　橋本萬平
同　石川利平
大阪港運整備工業（株）取締役　奥芝金壽
同監査役　田邊敬次
大阪鉄道作業（株）監査役　江口太郎
三和自動車運送（株）監査役　前田四郎
東豊車輛（株）取締役　土本繁治
島根縣貨物自動車運送（株）取締役　長瀬鉄造
同監査役　豊島成宜
住吉川荷役（株）取締役　前田久吉
同　上野保
鈴鹿運輸（株）取締役　谷岡泰
同　西野嘉藏
同　木岡折平
同監査役　鈴木敬三郎
大新自動車（株）監査役　木下秀雄
大洋自動車（株）取締役　岡田鎭太郎
帝國石油（株）理事　内藤雄二郎
同　西澤平治
同　山内肇
同　新島良三
東亜鉱業有限会社監査役　佐藤一男
豊國自動車工業（株）監査役　西田一道
同取締役　芳賀政夫
敦賀港海陸運送（株）監査役　吉田忠吉
和歌山車輛工業（株）取締役　山口喜美男
同　森口政雄
山中運輸（株）取締役　竹田米松
日本自動車会議所理事　田所隱一
日本工業倶楽部評議員理事　正田英三郎
福井新聞社取締役　武田和夫
同　紙山與
神奈川新聞社監査役　前田滋
同編集局長　川崎萬博
同編集局総務　深澤明吉
毎日新聞社東京支店総務局長　上田常隆
育生社社長　服部成一

東宝（株）取締役　三橋哲夫
同　濱崎二郎
同　岩垣保章
日立造船（株）営業部長　伊達良一
石川島重工業（株）監査役　西酉乙
大倉鉱業（株）取締役　木下章
同　川島精一
同監査役　中屋則正
昭和鉱業（株）取締役　吉見泰二
同　田丸久竹
同監査役　安藤直
朝日軽金属（株）監査役　田上藏三
千代田生命保険相互会社取締役　里見純吉

該当決定人員数　八七名

審査を受けた公職及びその氏名

衆議院議員（立候補）（東京都）　難波英夫
滿州石油（株）理事　永松並木

仮指定に対する異議申立の認められない者の該当事由及びその氏名

大日本武徳会千葉縣支部大多喜支所長、多古支所長（元）　志津嘉七
同群馬縣支部藤岡支所長、澁川支所長、沼田支所長（元）　関口孫市
同北海道支部標津支所長（元）　皆川武雄
同山梨縣支部日野原支所長、小笠原支所長（元）　三枝一止
昭和十七年の衆議院議員総選挙において所謂推薦を受けた　松浦周太郎
大政翼賛会本部企画局経済組織部副部長（元）　田中精一
軍令部嘱託（元）　三島和介
海軍政務次官（元）長崎民友新聞社社長（元）　西岡竹次郎
山陽新聞社取締役社長、副社長（元）　淺井茂猪
同常務取締役（元）　中川恒之
岐阜新聞社編集局長（元）　高橋義正
北陸毎日新聞社常務取締役（元）　市川潔
関門日日新聞社総務（元）　村尾亀一
滿州日日新聞社取締役編集局長（元）　米野豊實
日刊工業新聞社常務取締役（元）　坂井初美

下野新聞社取締役社長（元）　川村直成
科学主義工業社編集部長、出版部長（元）　田中勇
今日の問題社社主（元）　伊藤榮
明治図書（株）取締役社長（元）　藤原惣太郎
新日本同志会理事長（元）　高廣三郎
主婦之友社取締役社長（元）、日本出版会会長（元）　石川武美
松竹（株）常務取締役（元）　三嶋良藏
同　多田福太郎

仮指定に対する異議申立期間の満了せる者の該当事由及びその氏名

大日本武徳会秋田縣副支部長（元）　畠山利雄
同京都府副支部長（元）　村井権四郎
同福岡縣副支部長（元）　大隈貞雄
同長野縣副支部長（元）　坂本榮太郎
同東京都支所長（元）　高橋寛
同　天利眞次郎
同　吉田憲二
同　平野亀吉
同北海道支所長（元）　上村眞策
同　日野間文雄
同京都府支所長（元）　片岡敬一
同大阪府支所長（元）　時松協
同岡山縣支所長（元）　山根譽
同　吉谷幸平
同廣島縣支所長（元）　長行事重吉
同山口縣支所長（元）　村田健輔
同岐阜縣支所長（元）　鈴木正一郎
同　藤井里一
同　水間守一
同長野縣支所長（元）　小谷六助
同　福澤正一
同福岡縣支所長（元）　矢野春雄
同長崎縣支所長（元）　大山吉喜
同大分縣支所長（元）　小野源平
同鹿兒島縣支所長（元）　兒玉一正
同廣島縣部会長（元）　倉山太一
同徳島縣部会長（元）　曾木嘉五郎
同　鈴木良員
福岡日日新聞社社長（元）　永江眞郷
大阪時事新報専務取締役（元）　塩澤元次

大阪今日新聞社社主兼社長（元）　笹川春二
松陽新聞社社主（元）　岡崎正臣
松陽新聞社支配人、総務（元）　勝部博
毎日新聞社編集局総務（元）　平野岑一
大阪新報社編集局長（元）　森山喬
同盟通信社常務理事内信局長（元）　上田碩三
中外商業新報社取締役社長兼主筆（元）、日本新聞会会長（元）　田中都吉
下野新聞編集部長（元）　武井四郎
ダイヤモンド社「経済マガジン」編集長（元）　川島篤
日本評論社「日本評論」編集長（元）、第一公論社「第一公論」編集長（元）　下村亮一
高陽書院專務取締役編集出版営業主任（元）　荒木宏之
農山漁村文化教会編集責任者（元）　宮沢千秋
大日本青年團本部編集部長（元）　熊谷辰治郎
一心塾編集者（元）　雲井武
創造社編集部長（元）　生田章美
大昭組建設社代表者（元）　笠木良明
博文館「新青年」主筆雑誌部長（元）　納谷三千男
朝鮮金融組合連合会会長（元）　松本誠
同庶務部長（元）　岡田豊次郎
大日本勤皇会会長（元）　田辺宗英
國民精神文化研究所編集主任（元）　志田延義
日本出版文化協会会長（元）　鷹司信輔
日本出版会会長兼理事長（元）　狹間茂
日本出版会事務局長（元）　清水重夫
日本出版会理事雜誌部長（元）　今井時郎
日本新聞会理事（元）　浦忠倫
同　塚村敏夫
同　森田久
日本出版会理事書籍部長（元）　齋藤晌
朝鮮金融組合聯合会庶務部長（元）　松本節郎
京城日報社理事兼編集局長経済部長（元）　島元勸
國民政治経済研究所主事（元）　梅田竹一

解職すべき者の数　一名

解職すべき者の公職及びその氏名

（審査を受けた公職又は現に保有する主な公職のみを掲ぐ。）

滿洲石油（株）理事　永松並木

非該当決定取消

左の者の先の非該当決定を取消す。

軍令部嘱託（元）　三島和介

該当決定取消

左の者の先の該当決定を取消す。

厚生技官　鯛瀬國一
厚生省嘱託　栗原諦太郎
同　高尾宗雄
同　福田靖
同　嶋田孝
同　杉本英樹

正　誤

一、昭和二十三年三月七日附官報号外資格審査結果公告第二十六号一頁五段「著作権審査委員会委員」を「著作権審査会委員」に訂正する。

二、昭和二十三年三月二十二日附官報号外資格審査結果公告第二十五ノ二号の中左記の者は異議申立中に付取消す。

六頁　五段　大日本生産党新潟縣中越支部副支部長　髙橋陽藏

一一頁　一段　新潟縣北蒲原郡安田分會（元郡支部安田分会）分会長　長谷川仁一

◎公職資格訴願審査公告

（自昭和二十三年三月一日　至同　三月十五日）

第十六号

昭和二十三年三月二十二日　内閣官房長官　苫米地義三

この表は、内閣総理大臣が昭和二十二年勅令第六十五号による公職資格訴願審査委員会の審査の報告に基いて執つた措置である。

○覚書該当者としての指定を解除した者の氏名及び解除の月日

大矢半次郎（元農林中央金庫副理事長）　三月一日

○覚書該当者としての指定を解除しないと決定した者の氏名及び決定年月日

後藤正身（埼玉縣本庄町町会議員立候補者）　三月二日
磯田正則（元埼玉縣大瀧村村長）　三月九日
大西泰助（名古屋市会議員立候補者）　同
宮崎喜知藏（農業会理事並会長立候補者）　同

◎除權判決

熊本市下通町一八　株式会社宇都宮商会

申立人　怡土良水

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日　福岡地方裁判所

一九州配電株式会社株式十株
株券の種類及記号番号　十株券丙第六九一八三号一枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　怡土良水

福岡縣戸畑市小芝町三丁目二五

申立人　久松朝男

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日　福岡地方裁判所

一九州配電株式会社株式七十株
株券の種類及記号番号　不詳
五十株券一枚、十株券二枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　久松朝男

長崎市櫻町二五　陸内惣三郎方

申立人　伊藤ツル

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日　福岡地方裁判所

一九州配電株式会社株式六十株
株券の種類及記号番号　十株券丙第四〇八五七号至第四〇八六〇号四枚、丙第一一六九九号、第一一七〇六号二枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　伊藤ツル

大阪府北河内郡星田村西中小路四〇九三

申立人　三木庄左衞門

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日　福岡地方裁判所

一九州配電株式会社株式百四十五株
株券の種類及記号番号　一株券甲自第六〇八五五号至第六〇八五九号五枚、十株券丙自第一二八〇九一号至第一二八一〇四号十四枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　三木庄左衞門

熊本縣下益城郡松橋町畝尾

申立人　元田幸吉

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日　福岡地方裁判所

一九州配電株式会社株式五株
株券の種類及記号番号　一株券甲自第三〇八五七号至第三〇八六一号
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済

第6353号　物価号外

第6353号　物価号外

株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　元田幸吉
佐賀縣佐賀郡東川副村字橋津　中村幸一方　　申立人　谷口　良雄
佐賀縣佐賀郡東川副村字橋津
　　右代理人　中村　幸一

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月九日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式五十株
一株券の額面　金二千五百円
一株の拂込金額　金五十円也
記号番号　丁第一〇六五三号
当初の株主　福村泰三
取得年月日　昭和十九年六月一日
発行者　九州配電株式会社
発行日　昭和十七年八月一日
最終株主　谷口良雄

鹿兒島縣川内市國分寺町下台四一六四
　　申立人　松山　幸成

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月五日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式五十株
株券の種類及記号番号　五十株券丁第二二六三七号
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株式発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　日興証券株式会社
株式所持人　松山幸成

鹿兒島縣伊佐郡羽月村下殿
　　申立人　阿蘇谷通藏

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月五日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式五十株
株券の種類及記号番号　十株券丙自第八二六一八号至第八二六二二号五枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株式発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　阿蘇谷侃
株式所持人　阿蘇谷侃家督相続人阿蘇谷通藏

鹿兒島縣川内市百和町二五七九
　　申立人　慶田　キエ

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式百七十八株
株券の種類及記号番号不詳
百株券一枚、十株券二枚、一株券三枚、五十株券一枚、五株券一枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　慶田キエ

熊本市新屋敷町三九三
　　申立人　中島　寶好

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式五百株
株式の種類及記号番号　百株券戊自第一二五一三号至第一二五一七号五枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　中島寶好

都城市早鈴町四一五〇
　　申立人　池袋　時

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式七十株
株券の種類及記号番号　十株券丙自第五〇三七七号至第五〇三八一号五枚、丙第七一三九六号一枚、五株券乙第三七六八号、第七六三二号二枚
一枚の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　池袋時

福岡縣山門郡柳川町大字隈町三二
　　申立人　島村　卓男

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式五十株
株券の種類及記号番号　五十株券丁第八二七六号一枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　島村卓男

大分縣中津市諸町三丁目菊地久一郎方　　申立人　旭　諄子

前記申立人の申立により左記証券について公示催告を爲した処昭和二十二年六月十六日午前九時の期日迄に権利を届出且つ証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて左記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月一日
　福岡地方裁判所

一　九州配電株式会社株式百六十三株
株券の種類及記号番号　一株券甲自第五一六三一号至第五一六三三号三枚、十株券丙自第一〇七四三八号至第一〇七四五三号十六枚
一株の金額及拂込金額　金五十円全額拂込済
株券発行者　九州配電株式会社
株券発行年月日　昭和十七年八月一日
株式名義人　旭諄子

昭和二十一年（ヘ）第一五四号
富山縣富山市東中野町二二五番地
　　申立人　立野平次郎
　　同　　　立野　平治

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十一月十九日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十一月十九日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

一、北陸配電株式会社株券
枚数　十株券二十枚（但し一枚額面五百円にして全額拂込済）
記号　い丙自三一八三四至三一八五三号
五株券一枚（但し額面二百五十円にして全額拂込済）い乙三四〇五
十株券八枚（但し一枚額面五百円にして各株十二円五十銭拂込済）ろ丙自八一八三至八一九〇号
一株券四枚（但し額面一枚に付き五十円にして一株に付十二円五十銭拂込済）ろ甲自七九二四至七九二七
以上名義人　立野平次郎
十株券十四枚（但し一枚額面五百円全額拂込済）い丙自三一八〇三至三一八一六号
五株券一枚（額面二百五十円全額拂込済）い乙三四〇一号
一株券四枚（但し一枚額面五十円全額拂込済）い甲一六八五六号、一六八五七号、四四一一四号、四四一一五号
十株券七枚（但し一枚額面五百円一株十二円五十銭拂込済）ろ丙自八一七二至八一七八号
以上名義人　立野平治

二、富山地方鉄道株式会社株券
十株券一枚（但し額面五百円全額拂込済）普い丙一六一九号
以上名義人　立野平次郎

昭和二十二年（ヘ）第二一二号
富山縣富山市総曲輪二〇四番地久郷正太郎方
　　申立人　大塚　久雄
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十一月二十八日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十一月二十八日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券十三枚此株式数七十五株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇・〇〇	い甲	自三三二八 至三三三二
五株券	二百五十円	二五〇・〇〇	い乙	一四八二
十株券	五百円	五〇〇・〇〇	い丙	自一四七九六 至一四七九八
五株券	二百五十円	六二・五〇	ろ乙	七八六
十株券	五百円	一二五・〇〇	ろ丙	三六〇七

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　大塚久雄

昭和二十一年（ヘ）第二三二九号
富山縣富山市相生町十九番地
　　申立人　横井　徳三
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月一日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月一日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券七枚此株式数三十四株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇・〇〇	い甲	自一三六七七 至一三六八〇
十株券	五百円	五〇〇・〇〇	い丙	三六七八四 三六七九五
同	同	一二五・〇〇	ろ丙	六七三

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　横井安次郎

昭和二十一年（ヘ）第二三三九号
富山縣富山市東田地方町一八番地
　　申立人　竹越　兵吉
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月一日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月一日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券二十三枚此株式数一百二十六株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	一六一五五 四二一五九 四一一六〇 四二三七一 四二三七二 自四一七〇〇 至四一七〇二 自五二二六五 至五二二六七
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	自三〇八三六 至三〇八四一 七六三七〇 八六九二八 八六九二九
五株券	二百五十円	六二円五〇銭	ろ乙	三五二〇
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	七八八三 七八八四

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　竹越兵吉

昭和二十一年（ヘ）第二五三号
富山縣富山市北居原町二十五番地
　　申立人　永守　重正
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月一日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月一日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券四枚此株式数十七株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	一九八一七 一九八一八
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	三六六六六
五株券	二百五十円	六二円五〇銭	ろ乙	五七四七

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　永守重正

昭和二十一年（ヘ）第二七〇号
富山縣富山市小泉町五百五十九番地　　申立人　安村清太郎
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月一日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月一日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券七枚此株式数五十一株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	一三八二六
五株券	二百五十円	二五〇円	い乙	五〇六一
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	自四三三六七 至四三三六九
五株券	二百五十円	六二円五〇銭	ろ乙	四四九五
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	一一七〇一

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　安村清太郎

昭和二十一年（ヘ）第二七八号
富山縣富山市愛宕元町五百七十一番地　　申立人　福村　常信
　　右代理人　北村兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月一日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月一日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券七枚此株式数三十八株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	自一六二八二 至一六二八四
五株券	二百五十円	二五〇円	い乙	五七〇八
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	自四三五七八 至四三五八〇

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　福村常信

昭和二十一年（ヘ）第二八〇号
富山縣富山市五福三五一二番地
　　申立人　藤井定次郎
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の株券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月一日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記株券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月一日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券十三枚此株式数五十八株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	自一五八一五 至一五八一七 三一〇五三 自三七一九八 至三七二〇一
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	四七四八〇
同	同	一二五円	ろ丙	一二九七三 一二九七四 一六五九六 一六五九七

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　藤井定次郎

昭和二十一年（ヘ）第二九〇号
富山縣富山市稲荷八五番地
　　申立人　青木善四郎
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月五日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月五日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券三十枚此株式数八百一株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	二八四三四 二八四三五
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	自五三〇七一 至五三〇七六
五十株券	二千五百円	二、五〇〇円	い丁	自六七二一 至六七三〇
一株券	五十円	一二円五〇銭	ろ甲	自一〇六〇三 至一〇六〇六
五株券	二百五十円	六二円五〇銭	ろ乙	五一一七
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	自一四四九八 至一四五〇〇
五十株券	二千五百円	六二五円	ろ丁	自一二一六 至一二一九

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　青木善四郎

昭和二十一年（ヘ）第二九一号
富山縣富山市稲荷八五番地
　　申立人　青木　善治
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月五日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月五日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券四十一枚此株式数六百五十二株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	一八三五〇 一八三五一 自三九六一九 至三九六二二 自三九五九八 至三九六〇一
五株券	二百五十円	二五〇円	い乙	九二七三
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	自五二九八四 至五二九九一 七〇三六九 七〇三七〇
一株券	五十円	一二円五〇銭	ろ甲	自一〇五八六 至一〇五八八 自一二一九五 至一二一九八
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	自一四七四 至一四七六
五十株券	二千五百円	六二五円	ろ丁	自一七四五 至一七五四

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　青木善治

昭和二十一年（ヘ）第三〇四号
富山縣富山市安野屋町四六六番地
大沼安造方
　　申立人　水上幸次郎
　　右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を爲したるところ昭和二十二年十二月五日午前十時迄に権利の届出を爲し且証券の提出を爲す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月五日
　富山地方裁判所

（別紙）　目　録

北陸配電株式会社株券三枚此株式数二十株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
五株券	二百五十円	六二円五〇銭	ろ乙	一四三六 四八九〇
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	一三五七四

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　水上幸次郎

昭和二十一年（へ）第三一五号
富山県富山市東長江町北陸配電株式会社々宅
申立人　諸田龍雄
右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を為したるところ昭和二十二年十二月五日午前十時迄に権利の届出を為し且証券の提出を為す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月五日
富山地方裁判所

（別紙）　目録

北陸配電株式会社株券十八枚此株式数八十一株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
一株券	五十円	五〇円	い甲	自四〇五一九 至四〇五二一
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	七二二一〇 七二二一一
一株券	五十円	十二円五〇銭	ろ甲	自一二三八八 至一二三九一 自三五二六 至三五二九
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	一八九一二 自二四四〇一 至二四四〇四

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　諸田龍雄

昭和二十一年（へ）第三一六号
富山県富山市南新町六七番地
申立人　砂田幸次郎
右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を為したるところ昭和二十二年十二月五日午前十時迄に権利の届出を為し且証券の提出を為す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月五日
富山地方裁判所

（別紙）　目録

北陸配電株式会社株券十二枚此株式数七十五株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
十株券	五百円	五〇〇円	い丙	一〇四二八
一株券	五十円	一二円五〇銭	ろ甲	六九五九 自一二五四四 至一二五四七
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	一九八七一 自二四四九一 至二四四九五

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　砂田幸次郎

昭和二十一年（へ）第三二二号
富山県富山市安野屋町四六六番地
申立人　大沼くに
右代理人　北川兵三郎

別紙目録表示の証券に付当裁判所は公示催告を為したるところ昭和二十二年十二月五日午前十時迄に権利の届出を為し且証券の提出を為す者なきを以て申立人の申立に基き前記証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十二月五日
富山地方裁判所

（別紙）　目録

北陸配電株式会社株券三枚此株式数二十株

株券内訳

種類	株券額面	拂込金額	記号	番号
五株券	二百五十円	六二円五〇銭	ろ乙	一六〇二 二〇六九
十株券	五百円	一二五円	ろ丙	三八八〇

発行年月日　昭和十七年七月一日
最終名義人　大沼くに

昭和二十二年（へ）第四号
京都市中京区神泉苑町御池上ル門前町五百三十九番地
申立人　香川朝太郎
右代理人弁護士　阿部義次

左記証券に付申立人より公示催告の申立ありたるにより公示催告を為したる処昭和二十二年十一月二十八日午前九時迄に当裁判所に権利を届出て且其の証券を提出するもののなきを以て申立人の申立に基き該証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十一月二十八日
福島地方裁判所
判事　梨岡時之助

株式会社安田銀行小切手一枚
一種類　送金小切手
一金額　金三萬円也（自由支拂）
一番号　第三九八〇号
一取組日　昭和二十二年三月十四日
一取組人　香川朝太郎
一受取人　持参人拂
一支拂銀行　株式会社安田銀行福島支店
一振出銀行　株式会社安田銀行京都支店
一最後の所持人　京都市中京区神泉苑町御池上ル門前町五百三十九番地香川朝太郎

昭和二十二年（へ）第一号
新潟県長岡市柳原町二百七十三番地
申立人　小林権松
右代理人弁護士　阿部義次

左記株券に付申立人より公示催告の申立ありたるにより公示催告を為したる処昭和二十二年十月十四日午前九時迄に当裁判所に権利を届出て且其の株券を提出するもののなきを以て申立人の申立に基き該証券の無効を宣言す。

昭和二十二年十一月二十八日
福島地方裁判所
判事　梨岡時之助

商号　日東紡績株式会社
旧商号　日東工礦業株式会社
株券の種類枚数　十株券六枚、一株券四枚
額面　十株券五百円、一株券五十円
記号番号　十株券自い乙第一四九九号至い乙第一五〇二号、自ち乙第三七一八号至ち乙第三七一九号、一株券自ち丙第九九三九号至ち丙第九九四二号
拂込額　十株券自い乙第一四九九号至い乙第一五〇二号は五百円拂込、十株券自ち乙第三七一八号至ち乙第三七一九号は二百五十円拂込、一株券自ち丙第九九三九号至ち丙第九九四二号は二十五円拂込
発行者　福島市大字郷野目字東一番地日東紡績株式会社
発行日　十株券自い乙第一四九九号至い乙第一五〇二号は昭和十三年一月十日、十株券自ち乙第三七一八号至ち乙第三七一九号及一株券自ち丙第九九三九号至ち丙第九九四二号は昭和二十年二月十一日
最終株主名義人　新潟県長岡市柳原町二百七十三番地　小林権松

大阪市阿倍野区橋本町四十八　市原正弘方
申立人　市原いろ
右代理人弁護士　山田作之助

右申立人から別紙目録記載の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告をしたところ昭和二十二年十二月九日午前十時の期日迄に権利を届出で且つ右の株券を提出する者がなかつたから申立人の申立によつて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月九日
神戸地方裁判所

（別紙）　目録

一、川崎重工業株式会社株式十株券二枚
1.記号及番号　乙一三〇二一、新乙二三一九七号
2.一株金額　金五十円（全額拂込済）
3.株式名義人　市原いろ
4.発行者　川崎重工業株式会社
二、同会社株式一株券五枚
1.記号及番号　新甲自二〇九八同至二一〇二号
2.3.4は前に同じ
三、同会社株式十株券二枚
1.記号及番号　い乙四三三七六、同四三三七七号
2.一株の金額　金五十円（内金二十五円拂込済）
3.4は前に同じ
四、同会社株式一株券五枚
1.記号及番号　い甲自一〇八六同至一〇九〇号
2.3.4は前に同じ

福岡県三潴郡安武村
申立人　今村筏太郎
右代理人弁護士　山田作之助

右申立人から別紙目録記載の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告をしたところ昭和二十二年十二月九日午前十時の期日迄に権利を届出で且つ右の株券を提出する者がなかつたから申立人の申立によつて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月九日
神戸地方裁判所

（別紙）　目録

一、川崎重工業株式会社株式十株券五枚
1.記号及番号　新乙自四二七九四同至四二七九八号
2.一株の金額　金五十円（全額拂込済）
3.株式名義人　今村筏太郎
4.発行者　川崎重工業株式会社

香川県香川郡円座村山崎五七平松格太郎方
申立人　佐々木禮三
右代理人弁護士　山田作之助

右申立人から別紙目録記載の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告をしたところ昭和二十二年十二月九日午前十時の期日迄に権利を届出で且つ右の株券を提出する者がなかつたから申立人の申立によつて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月九日
神戸地方裁判所

（別紙）　目録

一、川崎重工業株式会社株式一株券十枚
1.記号及番号　甲自四八〇三同至四八一〇号、新甲五二五一一号、同五二五一二号
2.一株の金額　金五十円（全額拂込済）
3.株式名義人　佐々木禮三
4.発行者　川崎重工業株式会社
二、同会社株式十株券十一枚
1.記号及番号　乙自四〇九一八同至四〇九二一号、新乙自六一二七三同至六一二七九号
2.3.4は前に同じ
三、同会社株式十株券二枚
1.記号及番号　い乙自七四〇四〇同至七四〇四一号
2 一株の金額　金五十円（内金二十五円拂込済）
3.4は前に同じ
四、同会社株式五十株券二枚
1.記号及番号　い丙自一〇八九九五同至一〇八九九六号
2.3.4は前に同じ

京都府何鹿郡佐賀村字私市
申立人　畑敬次
右代理人弁護士　山田作之助

右申立人から別紙目録記載の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告をしたところ昭和二十二年十二月九日午前十時の期日迄に権利を届出で且つ右の株券を提出する者がなかつたから申立人の申立によつて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年十二月九日
神戸地方裁判所

（別紙）　目録

一、川崎重工業株式会社株式十株券二枚
1.記号及番号　い乙四五八二三、同四五八二四号
2.一株の金額　金五十円（内金二十五円拂込済）
3.株式名義人　畑敬次
4.発行者　川崎重工業株式会社
二、同会社株式十株券二枚
1.記号及番号　乙三八九〇、同三八九一号
2.一株の金額　金五十円（全額拂込済）
3.4は前に同じ

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可
印刷局

第6353号　物価号外